芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事

設　計　図

五所川原市　建設部　建築住宅課
株式会社　青　和　設　計

図面リスト			
A- 1	建築工事特記仕様書・1	S- 1	杭伏図･基礎伏図
A- 2	建築工事特記仕様書・2	S- 2	基礎詳細図
A- 3	建築工事特記仕様書・3	S- 3	土台パッキン伏図
A- 4	建築工事特記仕様書・4	S- 4	床伏図
A- 5	建築工事特記仕様書・5	S- 5	小屋伏図･部材リスト
A- 6	建築工事特記仕様書・6	S- 6	軸組図・1
A- 7	建築工事特記仕様書・7	S- 7	軸組図・2
A- 8	建築工事特記仕様書・8	S- 8	壁量計算書
A- 9	使用材料表1		
A-10	使用材料表2		
A-11	全体配置図･付近案内図･仮囲い参考図		
A-12	配置図･敷地面積求積図･面積（座標法）計算表		
A-13	建物面積求積図･求積表		
A-14	住宅性能評価仕様書		
A-15	外部・内部仕上表		
A-16	平面図　屋根伏図		
A-17	立面図　張り分け図		
A-18	断面図　界壁詳細図		
A-19	矩計図		
A-20	断面詳細図		
A-21	平面詳細図		
A-22	展開図・1		
A-23	展開図・2		
A-24	展開図・3		
A-25	部分詳細図・1		
A-26	部分詳細図・2		
A-27	天井伏図		
A-28	建具キープラン		
A-29	建具表・1		
A-30	建具表・2		
A-31	採光･排煙･換気検討書		

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設（建築）工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1.工事場所　　五所川原市金木町芦野　地内

2.敷地面積　　455.86㎡

3.工事種目

- 直接仮設工事
- 地盤改良工事
- 土・地業工事
- 鉄筋工事
- コンクリート工事
- 型枠工事
- 防水工事
- 木工事
- 屋根・金属工事
- 左官・タイル工事
- 木製建具工事
- 金属製建具工事
- 塗装工事
- 内外装工事
- ユニット及びその他工事

4.指定部分　　・有　⊙無　　対象部分（　　）
指定部分工期　　年　月　日

5.工事範囲

※「3.工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3.工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記のとおりとする。

- 6号棟
- 木造平家建
- 建築面積　165.62㎡
- 延床面積　129.18㎡

Ⅱ.建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○をけけたものを適用する。

⊙建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年度版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（E-01、E-02）図、機械設備工事の特記仕様書は（M-01、M-02）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
① 各章共通事項	⊙ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo= 34 m/s） 地表面粗度区分 （・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ） ⊙積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（十二）
	⊙ 環境への配慮	〈1.4.1〉 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⊙ 材料の品質等	〈1.4.2〉 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル(タイル工事用)、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた
② 仮設工事	⊙ 足場等	〈2.2.4〉 「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの　別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式　又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
3-1 土工事	⊙ 埋戻し及び盛土	(3.2.3) 材料及び工法 ※標準仕様書表3.2.1による 種別 ・A種　適用場所（　　） ⊙B種　適用場所（ 埋戻し、盛土 ） ・C種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　） ・D種　適用場所（　　） （品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） ・材料（　　）　工法（　　）

8-2 地業工事

⊙支持地盤等　(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)

・杭基礎
支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)
・図示による（　　）
⊙直接基礎
支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む)
⊙図示による（　S-02　）
試験掘り(根切り底の状態の確認等)
・行わない
・行う
位置等
・図示による（　　）
・地盤の載荷試験（平板載荷試験）
載荷試験の方法
・地盤工学会基準　JGS 1521による
試験の位置、載荷荷重
・図示による（　　）
報告書の記載事項
・図示による（　　）

・既製コンクリート杭地業　(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)

種類
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分（種別）、寸法、継手の箇所数等

		種類 種別	コンクリート強度(N/mm²)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本　杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状
・開放形　・半開放形　・閉そく形
工法
・セメントミルク工法
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）
掘削深さ
・図示による（　　）
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による（　　）
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　）
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する　・使用しない
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・機械式継手 （継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・
杭施工に伴う発生汚泥の処理
・場内で固化処理した後に搬出　・

・鋼杭地業　(4.2.2)(4.4.3)～(4.4.6)

鋼杭の材料
・
杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本　杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち
α、β、γが以下の値を採用できる工法
α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　）
工法
・
試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）
杭の支持層への根入れ長さ
※評定等の評価内容による
杭の精度
水平方向の位置ずれ
※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
※評定等の評価内容による
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
溶接材料
・JIS A 5525による　・
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・
・機械式継手
工法
※評定等を受けた工法
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

・場所打ちコンクリート杭地業　(4.2.2)(4.5.1)(4.5.4)～(4.5.6)

工法
・アースドリル工法　(安定液　※使用する　・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法　(孔内の水張り　・行う　・行わない)
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管巻き材料
・SKK400　・SKK490
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・
寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭						
本　杭						

試験杭
試験杭の位置
・図示による（　　）
孔壁の保持状況（孔壁測定）
測定箇所
・試験杭（　　）箇所及び本杭（　　）箇所
杭の支持層への根入れ長さ
・図示による（　　）
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・評定等の評価内容による
鉄筋の種類

種類の記号	呼 び 径 (mm)	備　考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋の加工及び組立
・図示による（　　）
鉄筋の最小かぶり厚さ
・100mm
鉄筋かごの補強
・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
※重ね継手
重ね継手の長さ　・図示による（　　）
・
主筋の基礎底盤への定着長さ
・図示による（　　）

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-01
建築工事特記仕様書・1　SCALE

株式会社　青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘 山 良 子

セメントの種類
※高炉セメントB種 G
コンクリートの設計基準強度
・図示による（　　）
コンクリートの種別
・A種　・B種　・評定等の評価内容による
スランプ
・18cm　・21cm
構造体強度補正値
・3N/?　・評定等の評価内容による

⊙ 砂利地業 (4.6.2)(4.6.3)
材料
砂利　⊙再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
範囲
⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・図示による（　　）
厚さ
※60mm　⊙ 150

⊙捨コンクリート地業 (4.6.4)
範囲
・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　⊙図示による（ ベース下 ）
厚さ
※50mm　・
設計基準強度
※18N/mm
スランプ
※15cm又は18cm　・

⊙ 床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)
材料
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
範囲
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
⊙図示による

⊙ 地盤改良工法
種類及び施工方法等
⊙図示による（オーガ併用圧入工法）

・置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）
形状等
・図示による（　　）
支持地盤
・図示による（　　）
型枠使用の有無
・無し
・有り　型枠の使用箇所等は図示による（　　）

3-3 鉄筋工事

⊙ 鉄筋 (5.2.1)
鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
⊙SD295	D10、D13	
・SD345		
・		
・		

⊙ 溶接金網 (5.2.2)
鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
⊙溶接金網		100×100×4	WC・洗面脱衣土間開口部
・鉄筋格子			

⊙ 鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)
鉄筋の継手の方法等

部位	継手の方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	
その他の鉄筋（　　）	⊙重ね継手	

継手位置
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(2)及び表3.1）
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(a)(2)及び表3.1）

⊙ 鉄筋の定着 (5.3.4)
鉄筋の定着長さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）3.1(b)）
⊙40d
機械式定着工法
・適用する
適用箇所
・図示による（　　）
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

⊙鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む） (5.3.5)
最小かぶり厚さ
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）4.1表4.1）
⊙50mm
軽量コンクリートを適用する場合
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm
耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm

⊙ 各部配筋 (5.3.7)
各部配筋
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図））
⊙図示による（S-02）

・ ガス圧接継手 (5.4.10)
圧接完了後の圧接部の試験
※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等　※標準仕様書5.4.10(イ)(b)①～⑥による

・ 機械式継手 (5.5.3)(5.5.5)
適用箇所
・図示による（　　）
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による
試験方法
・評定等の評価内容による
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

・ 溶接継手 (5.6.3)(5.6.5)
適用箇所
・図示による（　　）
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による（　　）
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　　）
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による
試験方法
・評定等の評価内容による
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

3-4 コンクリート工事

⊙ コンクリートの種類 (6.2.1)
コンクリートの類別
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

⊙ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1)～(6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.2)
⊙普通コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/m³）	適用箇所
⊙24	※標準仕様書表6.2.2による	・2.3程度	
・	⊙15	・	

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

・軽量コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/m³）	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・1種　・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

⊙ セメント (6.3.1)
種　類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする）
適用箇所（　　）
・高炉セメントB種 G　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種 G　適用箇所（　　）

⊙ 骨材 (6.3.1)
アルカリシリカ反応性による区分
※A　・B

⊙ 混和材料 (6.3.1)
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による

・ 寒中コンクリート (6.11.1)(6.11.2)
適用期間
・図示による（　　）
構造体強度補正値
・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による
・積算温度による

・ 暑中コンクリート (6.12.2)
構造体強度補正値
※6N/mm

・ マスコンクリート (6.13.1)(6.13.2)
適用箇所
・図示による（　　）
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.13.2(2)(ｱ)による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.13.2(2)(ｲ)による
スランプ
※15cm
構造体強度補正値
※標準仕様書表6.13.1による

⊙ 無筋コンクリート (6.14.1)
コンクリートの種類
※普通コンクリート
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
設計基準強度
※18N/mm
スランプ
※15cm又は18cm
適用箇所
※標準仕様書 6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による

・ 流動化コンクリート (6.15.1)
適用箇所
・図示による（　　）

・ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
打継ぎの位置
※標準仕様書6.6.4(1)による　・図示による（　　）
目地寸法
※ 標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)による　・図示による（　　）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による（　　）

・ 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）

種別	適用箇所
・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り
・b種	仕上塗材塗り
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、胴縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）

種別	適用箇所
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式）
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床

・ 打増し厚さ（打放し仕上げ部） (6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・20mm

⊙ 型枠 (6.8.2)
せき板の材料及び厚さ
⊙合板(※12mm　・　)G　・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（　　）
性能
熱抵抗値を0.73㎡・K/W以上を有するもの
・MCR工法用シート
適用箇所
・図示による（　　）
打増し厚さ　・20mm
打増し範囲　・図示による（　　）
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）

・ 床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理
床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、打増しを行うこと。
コンクリートの打増し厚さ
※10mm
施工範囲
※図示による（　　）

・ コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)
実施要領
※図示による（構造関係共通図（構造関係共通事項））

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR. NO. A-02
建築工事特記仕様書・2　SCALE

舘.築.
株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

④ 木造工事

⊙ ホルムアルデヒド放散量

材料のホルムアルデヒド放散量 〈4.1.4〉
※木造標準仕様書4.1.4(1)による
・ (適用材料：)

⊙ 防腐・防蟻処理

防腐・防蟻処理が不要な材種による製材 〈4.2.1〉

適用部材（部位）	防腐・防蟻処理が不要な材種
・	・
・	・
・	・

工場における薬剤の加圧注入等による防腐・防蟻処理

適用部材（部位）	薬剤の加圧注入等
・	・K2 ・K3 ・K4 ・AQ3 ・AQ2 ・AQ1
・	・
・	・

・木造標準仕様書4.2.1(1)(イ)(b)に基づく加圧式保存処理の場合
保存処理の性能 ( )
インサイジング
・適用する ・適用しない

⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

薬剤の種類	適用部材（部位）
※木造標準仕様書4.2.1(1)(ウ)(a)による	⊙土台,柱,間柱,大引,筋違,床合板受,床ガラリ受,通気胴縁
・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による場合（ ）	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

適用部材（部位）	処理の方法
・	・
・	・
・	・

・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等による防腐・防蟻処理
保存処理の性能区分
・K3 ・AQ2
適用部材（部位）
・図示による

・地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理 〈4.2.2〉
木造標準仕様書4.2.2
・(ア)による ・(イ)による

・土壌の防蟻処理 〈4.2.3〉
使用する薬剤（ ）
処理方法及び使用量
帯状散布（帯状の幅：約 cm）
液剤：処理長さ L/m
粒剤：（ ）
面状散布
液剤：処理長さ L/㎡
粒剤：（ ）

⊙ 防腐措置

基礎外周部の換気孔 〈4.2.4〉
⊙ねこ土台 材質（ ）
※防鼠スクリーン又は防虫網付き
・換気孔
※防鼠スクリーン又は防虫網付き

小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3)
・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e)
換気孔の大きさ
・図示による

・ 防耐火処理等

・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法 〈4.3.1〉
( )

防火被覆の材料および工法 〈4.3.2〉
・防火被覆の材料
・図示による
・防火被覆の厚さ
・図示による
・防火被覆の留付け材の種類
・図示による
・防火被覆の留付け間隔
・図示による
・防火被覆の下地材への留付け長さ
・図示による
・防火被覆の下地材への端あき距離
・図示による
・防火被覆の下地材への接着剤の使用
・使用する ・使用しない
・防火被覆材の目地等の処理方法
・図示による
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理
・図示による
・防火被覆処理部への二次部材の取付け
防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理
・図示による
防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
・図示による

燃えしろ層の工法 〈4.3.3〉
・燃えしろ層の厚さ
・図示による
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理
・図示による
・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理
・図示による
・燃えしろ層への二次部材の取付け
燃えしろ層の配管等貫通部処理
・図示による
燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
・図示による

不燃処理木材等 〈4.3.4〉
・図示による

⑤ 軸組構法(壁構造系)工事

⊙ 木材

軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表１による 〈5.2.2〉

・ 構造用面材

軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表２による 〈5.2.3〉

⊙ 接合金物

Z、C、x、D、Sマーク表示金物 〈5.2.4〉〈5.5.8〉

種類	記号	短期許容耐力(kN)	その他
⊙火打金物			
⊙筋かいプレート			
⊙引き寄せ金物			
・梁受け金物			
・			

Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。

Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合金物

種類	材質	寸法・形状等	備考
・			
・			

表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
・ ・ ・ ・

⊙ 釘、木ねじ等

釘（JIS A 5508） 〈5.2.4〉〈5.5.7〉〈5.5.9〉

種類	材質	その他
⊙鉄丸くぎ	表面処理された鉄又はステンレス製	
⊙太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄又はステンレス製	
⊙ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

木ねじ（JIS B 1112 又は JIS B 1135）

種類	材質	その他
⊙十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
⊙すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
・		

・釘（JIS A 5508）、木ねじ（JIS B 1112 又は JIS B 1135）に規定されているもの以外の接合具、接合金物用接合具等
材質（ ）
寸法及び形状 ・図示による ・

⊙ ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金

Z、C、x、D、Sマーク表示金物 〈5.2.4〉〈5.5.10〉

種類	記号	その他
⊙アンカーボルト		
⊙六角ボルト		
⊙座金		
・		

Z、C、x、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。

Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外の接合具

種類	材質	寸法・形状等	備考
・			
・			

ボルト及びナット及び座金
材料
※木造標準仕様書表5.2.2による
・
寸法
・図示による
座金の種別
・引張り応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表5.2.3（ ）
・せん断応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表5.2.4（ ）
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
・ ・ ・ ・
アンカーボルト、ナット及び座金
材質
・
寸法
・図示による
座金の種別
⊙引張り応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表5.2.3（ B種 ）
⊙せん断応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表5.2.4（ H種 ）
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
・ ・ ・ ・

・ ラグスクリュー

Z、C、x、D、Sマーク表示金物 〈5.2.4〉〈5.5.11〉

種類	記号	その他
・ラグスクリュー		
・		

Z、C、x、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー

種類	材質等	寸法・形状等
・ラグスクリュー	木造標準仕様書表5.2.2のボルトによる	
・		

表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
・ ・ ・ ・

構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリューの取付け方法
・図示による

・ ドリフトピン

〈5.2.4〉〈5.5.12〉

種類	材質等	寸法・形状等
・ドリフトピン	※SS400(JIS G 3101) ・	※丸鋼(JIS G 3191)（径： ） ・
・		

表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
・ ・ ・ ・

構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法
・図示による

・ 木栓及び木だぼ

〈5.2.4〉〈5.5.13〉

種類	樹種名	形状・長さ・木だぼ径等	その他
・木栓			
・木だぼ			
・			

・ 接着剤

・床鳴り防止用接着剤 〈5.2.4〉
床根太用接着剤 JIS A 5550に基づく接着剤の種類（ ）
・接着剤による接合
接着剤の種類（ ）
・接着剤と併用した場合
接着剤の種類（ ）

・ 孔あけ加工

ボルトの径に加える木部のボルト孔の大きさ 〈5.4.3〉
※木造標準仕様書表5.4.2による
・図示による

ドリフトピンの孔径
※ピン径と同径
・図示による

・ 表面の仕上げ

見え掛り面の表面の仕上げの程度 〈5.4.4〉(18.12.2)
・製材
機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 〈表5.4.3〉
手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 〈表5.4.5〉

・構造用集成材
機械加工 ・A種 ※B種 〈表5.4.4〉

・丸太材
機械加工 ・A種 ・B種 〈表5.4.6〉
手加工 ・H-A種 ・H-B種 〈表5.4.7〉

・木材保護塗料塗り (18.12.2)
標準仕様書表18.12.1による
施工箇所 ・図示による
種別 ・A種 ※ B種

⊙ アンカーボルトの設置等

埋込み深さ 〈5.5.3〉
⊙図示による
保持及び埋込み工法
種別・A種 ⊙B種
埋込み位置の許容誤差
※±5mm (JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場](3)による)
・

⊙ 基礎天端均しモルタルの仕上げ

材料 〈5.5.4〉(15.3.2)
・木造標準仕様書5.5.4(イ)による
・無収縮モルタル
モルタルの厚さ
⊙図示による

⊙ 建方精度

建入れ直し後の建方精度の許容値（垂直、水平の誤差の範囲） 〈5.5.6〉
※1/1,000以下

⊙ 接合金物の工法

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法 〈5.5.8〉
・図示による

熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
・埋め木
・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材(JIS A 9526)
・

・ 釘、木ねじ等の工法

釘、木ねじ等の種類及び間隔 〈5.5.9〉
・図示による

構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
・隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

・ 各種ボルトの工法

ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ 〈5.5.10〉
・図示による

構造材を仕上材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法
・図示による

・ 火打土台

・木製の火打土台 〈5.6.2〉
・鋼製火打土台

⊙ 火打梁

小屋組の火打梁 〈5.7.8〉〈5.8.6〉
・木製の火打梁
⊙鋼製の火打梁

床組の火打梁
・木製の火打梁
・鋼製の火打梁

⊙ 床束

・木製床束 〈5.8.2〉
・鋼製床束
仕様及び設置方法
・図示による
⊙樹脂製床束
仕様及び設置方法
⊙図示による

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-03
建築工事特記仕様書・3 SCALE

館.築.
株式会社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子

⑩ 木工事

⊙ 材料

木工事に使用する木材は、使用材料表９による　〈10.2.2〉

木工事に使用する合板は、使用材料表10による　〈10.2.3〉

⊙ 表面の仕上げ

見え掛り面の表面の仕上げの程度　〈10.1.3〉〈表10.1.1、2〉

⊙製材

機械加工　・A種　⊙B種　・C種　〈表10.1.1〉

手加工　※内部造作材、外部造作合いはH-B種、下地材はH-C種　〈表10.1.2〉

・H-A種　⊙H-B種　・H-C種

⊙造作用集成材

機械加工　・A種　⊙B種　・C種　〈表10.1.1〉

⊙ 釘、木ねじ等

⊙釘（JIS A 5508）　〈10.2.4〉

種類	材質	その他
⊙鉄丸くぎ	表面処理された鉄又はステンレス製	
⊙ためし鉄丸くぎ	表面処理された鉄又はステンレス製	
・		

・釘（JIS A 5508）に規定されているもの以外
（材質：　　）

⊙造作材化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し

・木ねじ（JIS B 1112 又は JIS B 1135）

種類	材質	その他
⊙十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
⊙すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
・		

・木ねじ（JIS B 1112 又は JIS B 1135）に規定されているもの以外の木ねじ
（材質：　　）

・ 耐候性処理

屋外に使用する仕上げ木材　〈10.3.1〉〈18.12.2〉
・木材保護塗料塗り
標準仕様書表18.12.1による
施工箇所　・図示による
種別　・A種　※B種

・ 防虫処理

施工箇所　〈10.3.2〉
・図示による
処理方法
・図示による

⊙ 外壁通気構法下地

積雪地域の場合の下地補強　〈10.8.2〉

工法種別	補強方法	補強高さ（mm）
⊙縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ｳ)(h)による ・	GL+1,600
・横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ｳ)(i)による ・	

・ 和室の造作

柱　〈10.10.1〉
・背割不要の処理

⑪ 防水工事

・ FRP系塗膜防水

材料　〈11.2.2〉〈11.2.4〉
・ルーフドレン
・FRP系塗膜防水用ルーフドレン
・鋳鉄製
・オーバーフロー管
※つば付き　製造所の指定する製品

施工
・下地合板の上の防火板
種類（※ケイ酸カルシウム板　・　　）
厚さ（※10mm　・　　）
防水層平場の勾配
※1/100以上
水張り試験
・行う　・行わない

⊙ シーリング

材料　〈11.3.2〉〈表11.3.1〉〈11.3.3〉
下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。ただし、外壁用タイル接着剤張りの場合のシーリングは、標準仕様書11章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具周囲	MS-2
外壁目地	MS-2
換気フード・盤等の周囲	MS-2

シーリング材の目地寸法
※木造標準仕様書11.3.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示による
・

⊙ 透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルトフェルト工事

材料　〈11.4.2〉〈11.4.3〉
両面粘着防水テープの幅
※50mm以上

施工
バルコニー手すりの工法
※木造標準仕様書11.4.3(ｳ)①から⑤までによる固定方法
・

・ ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別及び工程は、標準仕様書表9.6.1による。　〈11.5.1〉(9.6.1、3)（表9.6.1）
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・C-SUI	・図示による　・	・C-SUP	・図示による

⑬ タイル工事

・ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　(11.1.3)（表11.1.1）
※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

・ 見本焼き
試験施工

見本焼き　(11.1.4)
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

⊙ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
玄関床		100	・	⊙	・	・	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

・ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う　・行わない

⑭ 屋根及びひさし工事

⊙ 金属板葺

〈14.3.2、3、7、8〉

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル	AZ150	0.4	・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ⊙立平葺	

下葺材料　〈14.2.2〉
※改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）
⊙アスファルトルーフィング 940

固定釘の材質　〈14.3.2〉
木造標準仕様書表14.3.2による
（材質：　　）

・心木の防腐・防蟻処理方法（　　）

・平葺（一文字葺）の工法　〈14.3.4〉
・はぜの作り方
※図示による

・心木あり瓦棒葺の工法　〈14.3.5〉
・銅板以外の板による屋根一般部分の工法
清板及びキャップの留付け方法
※木造標準仕様書14.3.5(3)(ｱ)(c)による
・
瓦棒の間隔
※図示による
・銅板による屋根一般部分の工法
瓦棒の間隔
※図示による

・心木なし瓦棒葺の工法　〈14.3.6〉
屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
・雨押えを付ける場合
※木造標準仕様書14.3.6(4)(ｵ)(a)による
・
・雨押えを用いない場合
※木造標準仕様書14.3.6(4)(ｵ)(b)による
・
工法
吊子、各部の釘の留付け間隔
・図示による

1章 適用区分による風圧力の（⊙Ⅰ　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

雪止め
⊙設置する（図示による）
・設置しない

・ 折板葺

〈14.4.2〉〈表14.3.1〉

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形			（　）種	※鋼板製 ・		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）

断熱材張り
・行う　（断熱材の種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　　時間）
・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材

材質	形状	寸法

工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法
・適用する　・適用しない

・ 粘土瓦葺

〈14.5.2〉

施工箇所	種類 形状による区分	製法による区分	寸法による区分	役物 軒瓦	その瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦	巴瓦	大きさ	産地等
	・J形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		
	・S形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		
	・F形瓦			・	・	・	・	・	・	・	・		

瓦桟木
材質
※ 杉
寸法
※木造標準仕様書14.5.2(2)(ｱ)による
・図示による
防腐・防蟻処理の種類
・

棟補強用心材
材質
※ 杉
寸法
※木造標準仕様書14.5.2(3)による
・図示による
防腐・防蟻処理の種類
・

瓦緊結用釘又はねじ

種類	材質等	径及び長さ
・瓦緊結用釘	ステンレス製	
・瓦緊結用ねじ	ステンレス製	

棟補強用金物等

種類	材質等	形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物	ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製	

工法　〈14.5.3〉
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

瓦の緊結方法等工法
※図示による
瓦桟木の留付け工法
※図示による
棟の工法
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟
・
面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル
・瓦葺き用しっくい

・ スレート葺

〈14.6.2〉

種類	寸法(mm)（全長さ×全幅）	役物 棟	けらば	着色（色調）	備考
		・	・	・無　・有（　）	
		・	・	・無　・有（　）	

工法　〈14.6.3〉
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

雪止め
・設置する（図示による）
・設置しない

・ アスファルトシングル葺

〈14.7.2〉

品質	形状	色調	寸法(mm)	備考

工法　〈14.7.3〉
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

軒先、けらば等に曲面を設ける場合
※半径500mm以上

雪止め
・設置する（図示による）
・設置しない

・ とい

といの材料　〈14.8.2、3〉〈表14.8.1〉〈表14.8.2〉
・金属板（銅板を除く）
種類
・木造標準仕様書14.8.1（　　）
板厚
・

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR. NO. A-04
建築工事特記仕様書・4　SCALE

館.築.
株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

・谷どい
種類
・木造標準仕様書14.8.1（　　）
板厚
・
・鋼板
板厚
※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm
・
・硬質塩化ビニル樹脂製
種類（　　）
外径（　　）
厚さ（　　）
長さ（　　）

多雪地域
・適用する　・適用しない

硬質塩化ビニル製集水器の形状
・図示による

硬質塩化ビニル製あんこうの形状
・図示による

⑮ 金属工事

・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
・BB-1種		
・BB-2種	・標準色 ・特注色	
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色
・三次電解着色

・鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種	

・軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による
周辺部の端からの間隔　・図示による
野縁の間隔　・図示による
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類　(14.5.3、4)(表 14.5.1)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4.(5)による
・

・金属成形板張り

(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅（mm）	板厚（mm）	表面処理 種別	表面処理 色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス ・	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
		パネル形				

取付け用下地
※標準仕様書14.4による
・図示による
伸縮調整継手
・設ける
（施工箇所　・図示による　・　　）
・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・アルミニウム製笠木

種類　(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
・250形　・300形　・350形
表面処理
種別（　　）種
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑯ 左官工事

⊙ モルタル塗り

モルタル　(15.3.2、5)
Ⓒ現場調合材料
Ⓒ既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2m程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び
下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　・適用しない
防水剤（品質・性能、試験方法は別表による）

・ラス系下地

ラス系下地　(15.2.4)
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置　（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｳ)　・　　）
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地

ラスの材料
種類及び記号　（　　）
単位面積当たりの質量（　　）
ラスシートの材料
ラス目による区分（※M　・　　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・　　）
ステープルの形状及び寸法（　　）
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

・せっこうボード
その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　(15.2.5)
種類（・GB-R　・GB-L　・　　）　厚さ（　　mm）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　　）　厚さ（　　mm）

・こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）　(15.2.6)

・木ずり下地

木ずり用小幅板の種類（※すぎ(心去り材)　・　　）　(15.2.7)

・仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
※F☆☆☆☆
・
仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・適用する	
	・凹凸状	・吹付け		
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 外観 溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 外観 溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 外観 溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・吹付用軽量塗材	・
・こて塗用軽量塗材	・

・マスチック塗材塗り

種別　(15.7.2)
・A種　・B種

・ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　(15.12.2、3)
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
・図示による
・25mm
・

・しっくい塗り

しっくい　(15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上　・パターン仕上げ

・こまい壁塗り

のり　(15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類（　　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・

塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　　）
・
こまい壁の工程
※A種　・B種

・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR. NO. A-05
建築工事特記仕様書・5　SCALE

株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による

⑰ 建具工事

・防火戸
・建具表による (16.1.3)
・

・見本の製作等
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） (16.1.4)
・行わない
建具見本製作の目的等 ・
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

・防犯建物部品
・適用する（・建具表による ・ ） (16.1.6)
・適用しない

⊙アルミニウム製建具
性能値等 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）（表16.2.1、2）
耐風圧性の等級 （⊙S-3 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
気密性の等級 （⊙A-4 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
水密性の等級 （⊙W-2 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
⊙D種（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
・E種（建具符号 ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法（・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（ K2 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
・BB-1 ・BB-2 （標準仕様書表14.2.1）
着色
・標準色 ・特注色
屋内の建具
種別
・BC-1 ・BC-2 （標準仕様書表14.2.1）
着色
・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による
木下地の場合の内付け建具
・適用しない ・適用する

⊙網戸等 (16.2.3)

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

⊙樹脂製建具
性能値等 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1～3）
耐風圧性の等級（ S-3 ）
気密性の等級 （ A-4 ）
水密性の等級 （ W-4 ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・D種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・E種（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（⊙T-1 ・T-2 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（・H-4 ⊙H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
外部 に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法 ⊙建具表による ・

材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面色 ⊙標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示による
木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

・鋼製建具
性能値等 (16.2.2)（16.4.2～4）（16.4.6）（表16.4.2）
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 （・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・ 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による

・鋼製軽量建具
性能値等 (16.2.2) (16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（mm）
※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による

・ステンレス製建具
性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号 ・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 （・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL ・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））
・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））

⊙木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)
※A種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆ ・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(4)(a)による
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木 化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※表16.7.6による
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

枠、くつずりの材料
・建具表による

⊙建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)(表16.8.1～5)
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙鍵
マスターキー (16.8.4)
・製作する ⊙製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き） ⊙玄関戸5本（外部物置戸3本）
鍵箱
※有り ⊙無し

・自動ドア開閉装置
戸の開閉方式 (16.9.2、3)
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.2 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.3 （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4
・建具表による
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ・行わない

・自閉式上吊り引戸装置
性能値等 (16.10.3)（表16.10.1）
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

・重量シャッター
シャッターの種類 (16.11.2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

・軽量シャッター
開閉方式の種類 (16.12.2～4)
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR. NO. A-06
DATE R07.05	建築工事特記仕様書・6 SCALE

館.築.
株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘山良子

・オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

⊙ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)
・建具表による
・

・型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による
・

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
・
断熱性による区分
⊙T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材の種別	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・ガラスブロック積み

(16.14.5)

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
寸法
※径5.5mm
形状
※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製　・アルミニウム製　(17.3.2～6)(表17.3.1、2)
寸法
※図示による
形状
※図示による
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑱ 塗装工事

・材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：　　）

・素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外 ）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外） 及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

・錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種　・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

・塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料 G
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	－	－
	木部屋内	※B種　・A種		－
	鉄鋼面	※B種　・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	－		・適用する
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	－	－
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	－	－
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	－	上塗り塗料の等級（　）級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り塗料の等級（　）級	－
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種	－	－
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	－	－
	屋内の鉄鋼面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種　・A種	－	－
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	－	－
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	－	－
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	－	－
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	－	－

高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤形着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

⑲ 内装工事

⊙接着剤

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.2.2)
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

・下地の工法

標準仕様書19.2.3(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法　(19.2.3)
・図示による

⊙ビニル床シート G

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ⊙CS	・無地 ・マーブル柄 ⊙柄物	※2.0 ⊙1.8	

接合部の処理
※熱溶接工法

・ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

・特殊機能床材

・帯電防止床シート　(19.2.2)
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ(mm)（　　）

・帯電防止床タイル
種類　（　　）
性能　（　　）
寸法(mm)（　　×　　）
厚さ(mm)（　　）

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類　（　　）
形状　（　　）

・耐動荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）

・防滑性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）

・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法(mm)（　　×　　）
厚さ(mm)（　　）

・ビニル幅木

材質の種類　(19.2.2)
・軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上

・ゴム床タイル

種類　(19.2.2)
・単層品　・積層品
色柄（　　）
厚さ(mm)
・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　×　　）

・カーペット敷き G

・織じゅうたん　(19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織り方	パイル形状	備考(参考価格)
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考(参考価格)
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考(参考価格)
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　　）
種類（　　）
形状等
※図示による

・合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-07
建築工事特記仕様書・7　SCALE

館.築.
株式会社　青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘 山 良 子

⊙ フローリング張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 (19.5.2～5)(表19.5.1～6)
※標準仕様書19.5.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法(・根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ(mm)
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

⊙複合フローリング
工法
⊙釘留め工法(・根太張り ⊙直張り)
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・ 畳敷き

種別 (19.6.2)(表 19.6.1)
・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床:・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン G)
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳 (畳表:・C1 ・C2)

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による ・6 ・8
・パルプ繊維混入セメント板	※図示による ⊙12
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による	※図示による
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(無処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC)	※図示による ・10(難燃) ・12(難燃)

吸音材料

・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9 (不燃) ・12(不燃) ・12(不燃) ・15(不燃)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(1号)	※図示による ・25
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(32K)	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	※12.5(不燃) ・15(不燃)
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)	⊙12.5(⊙不燃 ・準不燃)
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F)	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)	・9.5
⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ・化粧無し(下地張り用) ⊙化粧有り(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	・9.5(不燃) ⊙9.5(準不燃)

合板類

・普通合板 G 表板の樹種名: 板面品質: 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名: 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ ・スクェアエッジ

⊙ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2、3)
※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考(参考価格)
	紙	繊維	塩化ビニル	プラスチック	無機質	その他		
壁	・	・	・	・	⊙	・	・不燃 ⊙準不燃	
天井	・	・	・	・	⊙	・	・不燃 ⊙準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

・ 断熱材 G

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.9.2～4)
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 (・)	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) (・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD)	・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1 ・A種1H
吹付け厚さ(mm)
・
施工箇所
・図示による
(品質・性能、試験方法は別表による)

⑳ ユニット及びその他の工事

⊙ 断熱・防露工事

材料 <20.2.2>
断熱材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

⊙ 断熱材 G

断熱材の種類		規格番号	厚さ又は密度等
分類	材料名		
・フェルト状断熱材	・グラスウール		
	・ロックウール		
⊙ボード状断熱材	・グラスウール	⊙JIS A 9521	
	・ロックウール		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	⊙押出法ポリスチレンフォーム		100 密度25以上
	・硬質ウレタンフォーム		
	・ポリエチレンフォーム		
	・フェノールフォーム		
	・インシュレーションファイバー		
⊙ばら状断熱材	⊙グラスウール	⊙JIS A 9523	100 密度16及び24以上
	・ロックウール		
	・セルローズファイバー		
・現場発泡断熱材	・吹付硬質ウレタンフォームA種1又はA種1H(難燃性を有するもの)	・JIS A 9526	

施工箇所
※図示による

⊙断熱材現場発泡工法
断熱の種類
⊙A種1又はA種1H
吹付け厚さ(mm)
・25 ・30 ⊙目地埋め等
施工箇所
⊙図示による

・現場発泡断熱材(品質・性能、試験方法は別表による)

⊙防湿材
種類
木造標準仕様書20.2.2(2)による
・(a) ・(b) ・(c)
厚さ
⊙図示による
施工箇所
⊙図示による

⊙気密材
種類
木造標準仕様書20.2.2(3)による
・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) ・(f) ・(g)
厚さ
⊙図示による
施工箇所
⊙図示による
⊙防風材
種類
※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB
・
厚さ
⊙図示による
施工箇所
⊙図示による

断熱材及び防湿層の施工 <20.2.4>
⊙充填断熱工法
・外張断熱工法
防蟻処理
⊙行う(適用箇所:)(処理の種類:)
・行わない
・防湿層の施工
・省略する

各部位の工法 <20.2.5>
※木造標準仕様書20.2.5(ｱ)から(ｺ)までによる
・

⊙ サイディング工事

⊙窯業系サイディング工事 <20.3.2>
サイディング

種類	形状	働き長さ・働き幅	厚さ(mm)	表面仕上げ	耐凍害性能	防 火 耐火性能
繊維混入セメント珪酸カルシウム板		455	16	シリコンアクリルエマルジョン塗装	10%以下	準不燃

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防腐処理種類( )

施工
張り方
・縦張り工法 ⊙横張り工法
換気口部の防水措置
※木造標準仕様書20.3.2(3)(ｳ)(c)①から④による
・図示による
現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ
・

・複合金属サイディング工事 <20.3.3>
サイディング

種類	形状	有効幅(mm)	長さ(mm)	厚さ(mm)	表面材 しん材の種別	防 火 耐火性能

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防腐処理種類( )
施工
張り方
・縦張り工法 ・横張り工法
換気口部の防水措置
※木造標準仕様書20.3.2(3)(ｳ)(c)①から④による
・図示による

・ ALCパネル(薄形パネル)工事

薄形パネルの区分 <20.4.2><20.4.3>

形状による区分	表面加工の有無による区分	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)
・一般パネル	・平パネル ・意匠パネル	・	・	・
・コーナーパネル	・平パネル ・意匠パネル	・	・	・

通気胴縁
樹種名 ※杉
・防腐処理種類( )

施工
パネルの構法
・通気構法 ・直張り構法
パネルの取付け
・横張り工法 ・縦張り構法

⊙ 手すり

材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
⊙SUS304 表面処理 ※HL程度 ⊙鏡面仕上
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(※標準仕様書表14.2.2による種別( )種)
・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別( )種)
色合い ・標準色( ) ・特注色( )
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
⊙集成材 (材種:)	⊙クリアラッカー ・	⊙35程度 ・45程度 ・	ホール 洗面脱衣 WC	
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

⊙ カーテンレール

材料による区分 (20.2.16)
※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
⊙ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上げ
※アルマイト
形状
※角形

⊙ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
		⊙気密形			

(品質・性能、試験方法は別表による)

⊙ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表による)

⊙ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	⊙1200 ・1500 ・1800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台	・600 ⊙750	⊙550 ・600 ・650	⊙620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	⊙1200 ・900	・450 ⊙350	・500 ⊙700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能
外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状
※図示による

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-08
DATE R07.05	建築工事特記仕様書・8 SCALE
	舘山.㊞.
	株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子

軸組工法　壁構造系）

〈使用材料表１〉　〈5.2.2〉

⊙JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材 G

施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
土台・大引 床合板受 床ガラリ受	ヒバ	・甲種構造材 ・甲種Ⅰ ⊙甲種Ⅱ ・乙種構造材	・1級 ⊙2級 ・3級	90× 45 105×105 120×120	⊙SD15 ・SD20		・
							・
							・

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（曲げ性能）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ・SD20		・
						・
						・

（注）無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4　製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

（参考）JAS 1083-4　製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準（等級と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング係数 （Gpa又は10³ N/?）	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等　・1等　・2等		・D10 ・D13		・
						・
						・

・加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材：　　　　　　）

⊙無等級材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	強度試験	材面の品質	間伐材等の適用
部材リストによる	スプルース杉	部材リストによる	15%		・JAS 1083-4　製材 - 第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験 （対象部材：　　　） ・縦振動ヤング係数測定 （対象部材：　　　）	・JAS 1083-4　製材 - 第4部:機械等級区分構造用製材	・
							・
							・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 G

施工箇所	樹種名	区分	寸法(mm)	等級（材面の品質）	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材 G

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・1級　・2級		・SD15　・SD20		・
						・
						・

⊙「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 G

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	材面の品質	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	保存処理	間伐材等の適用
柱・隅柱	同一等級	E95-F315	・1種⊙2種・3種	・A　・B ⊙C	スプルース	図面リストによる		・
軒桁・母屋・梁	対称異等級	E105-F300	・1種⊙2種・3種	・A　・B ⊙C	スプルース	図面リストによる		・
								・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・1等 ・2等	・ ・
							・
							・

・JAS 0600に基づく甲種枠組材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・特級　・1級　・2級　・3級	・ ・
						・
						・

・JAS 0600に基づく乙種枠組材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
			・未乾燥材 ・乾燥材		・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	・
						・
						・

・JAS 0600に基づくMSR枠組材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式名(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用
	MSR				・未乾燥材 ・乾燥材	・ ・
						・
						・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・JAS 0600に基づくたて枠用たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて枠用たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	たて継ぎ材			・
				・
				・

・JAS 0600に基づくMSRたて継ぎ材 G

施工箇所	品名	樹種名又は樹種群	MSR等級（曲げ強度性能）	寸法型式名(mm)	間伐材等の適用
	MSRたて継ぎ材				・
					・
					・

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 G

施工箇所	樹種名又は樹種群	区分	等級	寸法型式名(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
						・
						・
						・

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材 G

施工箇所	品名	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	曲げ性能（曲げﾔﾝｸﾞ係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
	・A種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（　　） 等級 ・特級・1級・2級			・
	・B種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（　　）			・
								・

・丸太材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	含水率(%)	末口径(mm)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

・加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。
（対象部材：　　　　　　　）

・木質接着成形軸材料 G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質複合軸材料 G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質断熱複合パネル G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・木質接着複合パネル G

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
				・
				・
				・

・JAS 3079に基づく直交集成板 G

施工箇所	品名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
	・異等級構成直交集成材 ・同一等級構成直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・
							・
							・

〈使用材料表２〉　〈5.2.3〉

・構造用パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・
					・

・構造用MDF G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	防虫処理の適用	単板の樹種名	間伐材等の適用
	構造用合板		・1類 ・特類	・2級 ・1級			・適用する （　　） ・適用しない		・ ・
									・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等の適用
	化粧ばり構造用合板		・1類　・特類		・
					・
					・

・JAS 0360に基づく構造用パネル G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
	構造用パネル		・1級　・2級　・3級　・4級	・
				・
				・

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・
					・

・ハードファイバーボード G

施工箇所	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
						・
						・

・パルプセメントボード G

施工箇所	種類		厚さ(mm)	備考
	かさ密度による区分	化粧加工の有無による区分		
	・0.9板　・1.1板	・普通板　・化粧板		

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材 G

施工箇所	品名	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	曲げ性能（曲げﾔﾝｸﾞ係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
	・A種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（　　） 等級 ・特級・1級・2級			・
	・B種構造用単板積層材	・A ・B ・C			係数区分（　　）			・
								・
								・

・国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
					・
					・
					・

No.	24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図	DR.NO. A-09
DATE	R07.05	使用材料表1	SCALE

株式会社　青　和　設　計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘　山　良　子

木工事で使用する材料表

〈使用材料表９〉

〈10.2.2〉

⊙JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 G

施工箇所	樹種名	等級 （材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
下地材	杉	・1級 ※2級	図面リストによる	⊙SD15 ・SD20		・
						・
						・

⊙JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 G

施工箇所	樹種名	等級 （材面の品質）	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
見え掛り面	杉	※上小節		15%		・
見え掛り面以外		※小節以上				・
						・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	間伐材等 の適用
		・特等 ※1等 ・2等		※10以下 ・13以下		・
						・
						・

・JAS 1083（製材）以外の下地用針葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	・
								・
								・

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
								・
								・

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材 G

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	材面の 品質	乾燥処理 の適用	防虫処理 の適用	難燃処理 の適用	含水率	間伐材等 の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
								・
								・

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 G

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 （面数）	寸法(mm)	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用
					※1等 ・2等	・ ・
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	見付け材面 （面数）	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用
	化粧ばり構造 用集成材	芯材： 化粧薄板：				※1等 ・2等	・ ・
							・
							・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 G

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	見付け材面 （面数）	見付け材面の 品質	間伐材等 の適用
	化粧ばり構造 用集成柱	芯材： 化粧薄板：				・1等 ・2等	・ ・
							・
							・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)	間伐材等 の適用
				※15以下	・
					・
					・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	見付け材面の 品質	含水率(%)	間伐材等 の適用
	芯材： 化粧薄板：				※15以下 ・	・ ・
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成柱 G

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	見付け材面の 品質	含水率(%)	間伐材等 の適用
					※15以下 ・	・ ・
						・
						・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 G

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の化粧加工	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
	造作用単板積層材		・無（・1等 ・2等 ・3等） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工）	・適用する （ ） ・適用しない	・
					・
					・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材 G

施工箇所	寸法(mm)	表面の化粧加工	含水率(%)	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
		・無（ ） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工）	※14以下 ・	・適用する （ ） ・適用しない	・
					・
					・

・JAS 3079に基づく直交集成板 G

施工箇所	品名	強度等級 （曲げ性能）	種別	接着性能 （使用環境）	樹種名	寸法(mm)	間伐材等 の適用
	・異等級構成 直交集成材 ・同一等級構成 直交集成材		・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C			・
							・
							・

〈使用材料表10〉

〈10.2.3〉

⊙「合板の日本農林規格」による普通合板 G

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
床・壁下地	普通合板	※5.5 ⊙9 ⊙12	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	ラワン	・適用する （ ） ・適用しない	・
							・
							・

※湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を1類とする。

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 （強度等級）	防虫処理 の適用	単板の 樹種名	間伐材等 の適用
床・屋根下地	構造用合板	※12 ⊙24	※1類以上 ⊙特類	※2級 以上 ・1級	※C-D以上 ・		・適用する （ ） ・適用しない		・

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
	化粧ばり構造用合板			・特類 ・1類	・適用する （ ） ・適用しない	・
						・
						・

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する 単板の樹種名	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
	天然木化粧合板		・1類 ・2類		・適用する （ ） ・適用しない	・
						・
						・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の 程度	表面 性能	単板の 樹種名	化粧加工 の方法	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用
	特殊加工化粧合板		・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW		・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・	・適用する （ ） ・適用しない	・
								・
								・

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態に よる区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	間伐材等 の適用
			・Pタイプ ・Mタイプ	・ 15	・
					・
					・

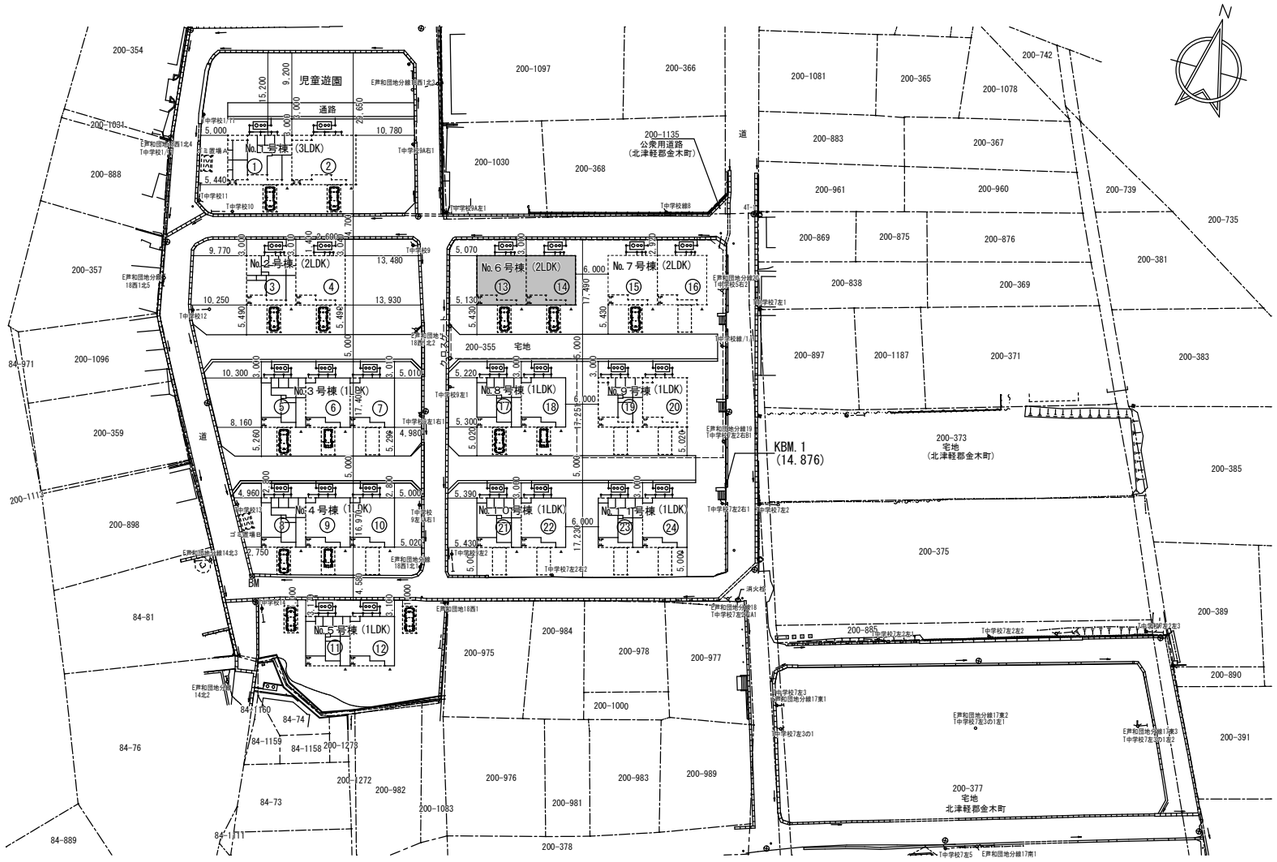
・JAS 0360に基づく構造用パネル G

施工箇所	品名	厚さ(mm)	曲げ性能（等級） （・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	間伐材等 の適用
	構造用パネル		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	・
				・
				・

・MDF G

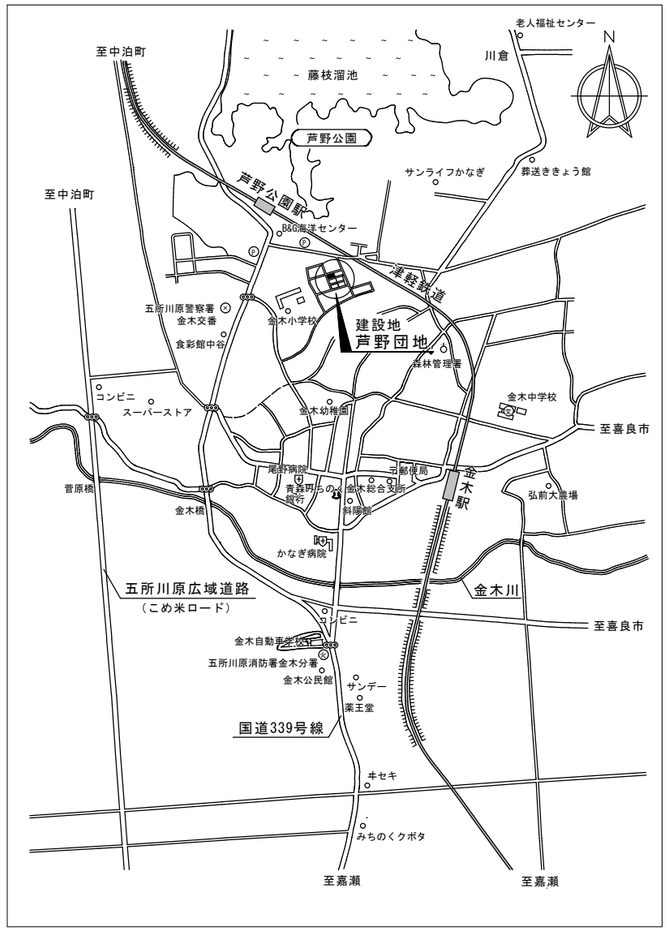
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等 の適用
						・
						・
						・

舘.〔印〕.
株式会社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子

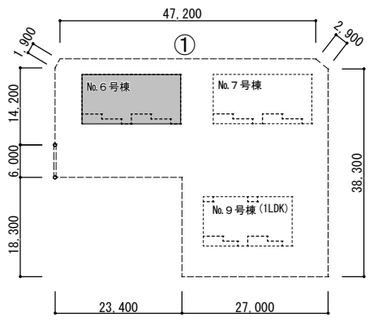


建設地：五所川原市金木町芦野200-355の一部

全体配置図　1/800



付近案内図

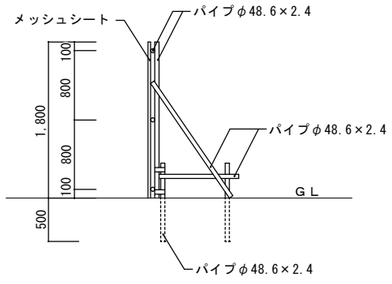


仮囲い長さ

① ー 47.200+2.900+38.300+27.000+23.400+18.300+14.200+1.900

= 173.200m

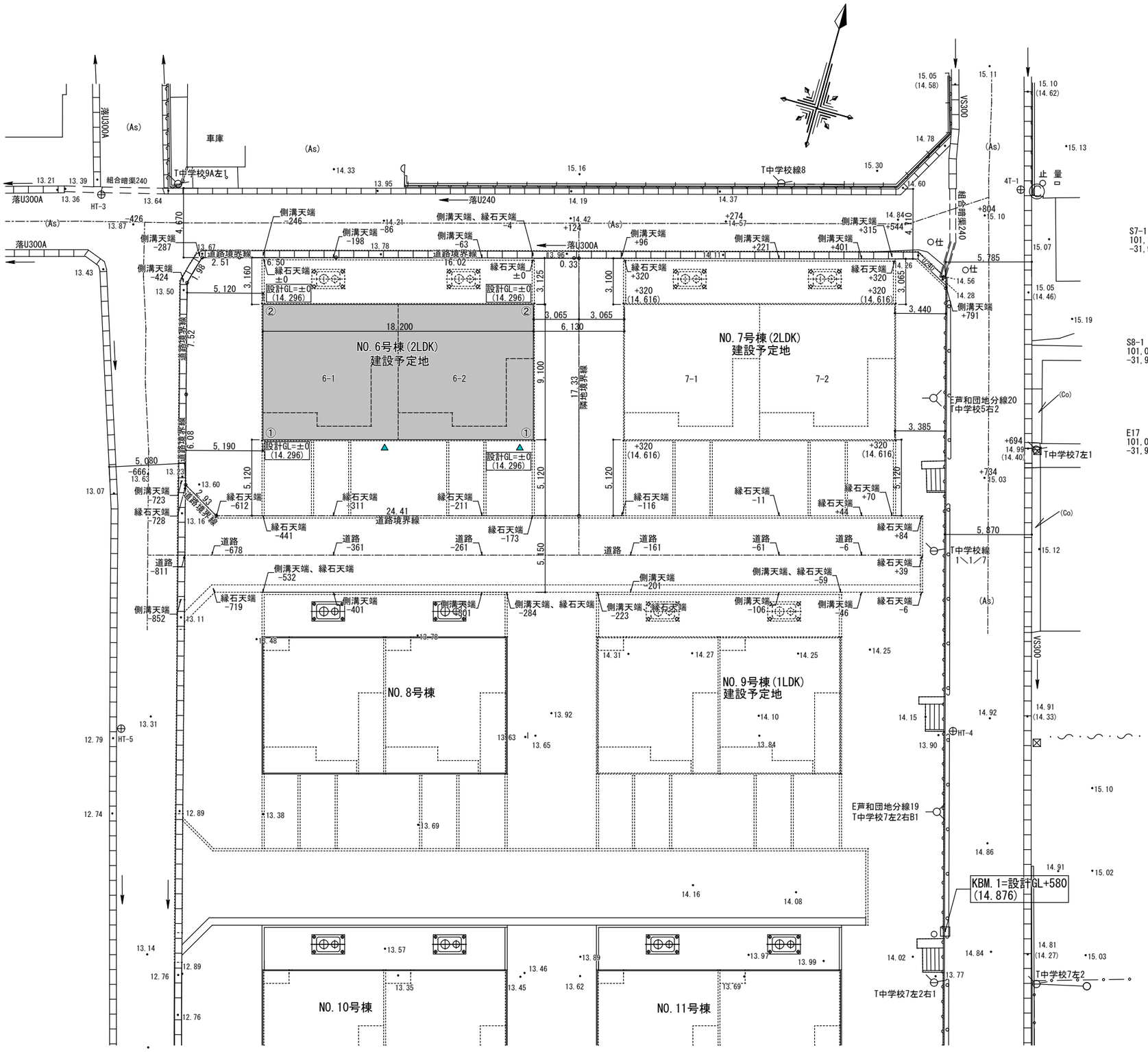
指定仮設（NO.9号棟に含む）	
クロスゲート	W6.0m×H1.80m　1ヶ所
仮囲い	メッシュシート H=1.80m 全長 L= 173.200m



仮囲い参考図　1/50

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図 DR.NO. A-11
DATE R07.05	全体配置図・付近案内図・仮囲い参考図　SCALE (A2)1/800、1/50 (A3)1/1,131.2、1/70.7

株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

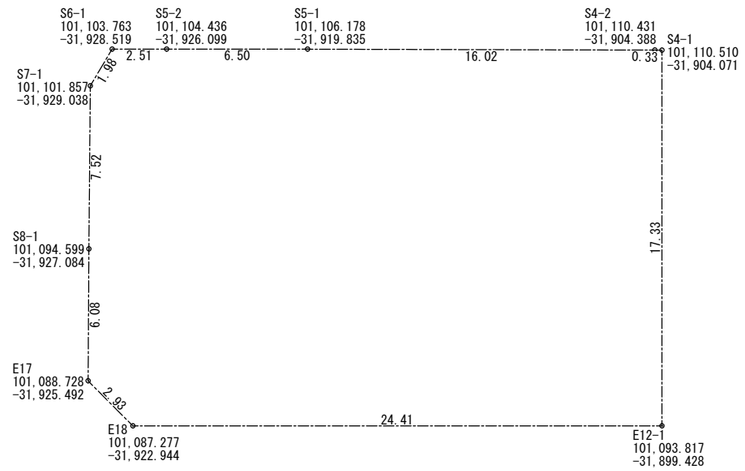


建物の高さ
① 4,585
② 4,090

配　置　図　　S=1/200

設計GL（±0）＝KBM.1-580

NO.6号棟



敷地面積求積図　　S=1/200

面積（ 座標法） 計算表

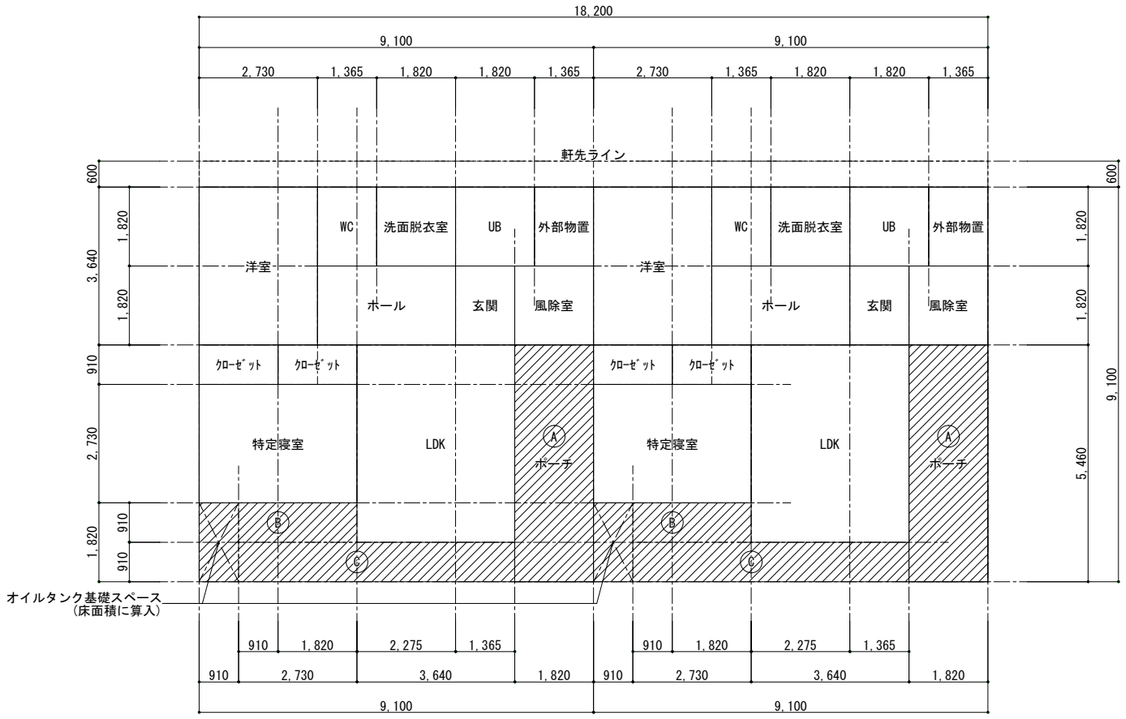
測点名	Ｘｎ	Ｙｎ	距離	Ｘ(ｎ+1)－Ｘ(ｎ-1)	Ｙ(ｎ+1)－Ｙ(ｎ-1)	Ｘｎ・Ｙ(ｎ+1)－Ｙ(ｎ-1)	Ｙｎ・Ｘ(ｎ+1)－Ｘ(ｎ-1)
S4-1	101,110.510	-31,904.071	0.327	16.614000	-4.960000	-501,508.129600	-530,054.235594
S4-2	101,110.431	-31,904.388	16.022	-4.332000	-15.764000	-1,593,904.834284	138,209.808816
S5-1	101,106.178	-31,919.835	6.502	-5.995000	-21.711000	-2,195,116.230558	191,359.410825
S5-2	101,104.436	-31,926.099	2.512	-2.415000	-8.684000	-877,990.922224	77,101.529085
S6-1	101,103.763	-31,928.519	1.975	-2.579000	-2.939000	-297,143.959457	82,343.650501
S7-1	101,101.857	-31,929.038	7.516	-9.164000	1.435000	145,081.164795	292,597.704232
S8-1	101,094.599	-31,927.084	6.083	-13.129000	3.546000	358,481.448054	419,170.685836
E17	101,088.728	-31,925.492	2.932	-7.322000	4.140000	418,507.333920	233,758.452424
E18	101,087.277	-31,922.944	24.408	5.089000	26.064000	2,634,738.787728	-162,455.862016
E12-1	101,093.817	-31,899.428	17.327	23.233000	18.873000	1,907,943.608241	-741,119.410724
					倍面積	-911.733385	911.733385
					面積		455.866693
敷地面積							455.86 ㎡

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-12

配置図・敷地面積求積図・面積（座標法）計算表　SCALE (A2) 1/200 (A3) 1/282.8

株式会社　青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘 山 良 子



2LDK(2戸)　建物面積求積図　1/100

— 建築面積算入部分
※屋内的用途として使用しない

2LDK　床面積求積表			
室名	計算式	建築基準法	
住宅部分床面積求積表		床面積　㎡	
玄関	1.365 × 1.820	2.48430	
ホール	3.185 × 1.820	5.79670	
LDK	3.640 × 4.550	16.56200	
特定寝室	3.640 × 2.730	9.93720	
洋室	2.730 × 3.640	9.93720	
ｸﾛｰｾﾞｯﾄ	1.820 × 0.910 × 2	3.31240	
WC	1.365 × 1.820	2.48430	
洗面脱衣室	1.820 × 1.820	3.31240	
UB	1.820 × 1.820	3.31240	
上記床面積　小計		57.13890	
風除室	1.820 × 1.820	3.31240	
外部物置	1.365 × 1.820	2.48430	
上記床面積　小計		5.79670	
住戸床面積　計		62.93560	

2LDK × 2 戸	62.93560 × 2	125.87120	125.87

2LDK　(2戸)　建築面積求積表			
名称	計算式	面積　㎡	
床面積(1棟)		125.87120	
建築面積(1棟)			
Ⓐ	1.820 × 5.460 × 2	19.87440	
Ⓑ	3.640 × 0.910 × 2	6.62480	
Ⓒ	7.280 × 0.910 × 2	13.24960	
計		39.74880	
合計	125.87120 ＋ 39.74880	165.62000	
建築面積			165.62

オイルタンクスペース　床面積算定			
名称	計算式	面積　㎡	
オイルタンクスペース	0.910 × 1.820	1.65620	
2箇所	1.65620 × 2	3.31240	

棟床面積 合計	125.87120 ＋ 3.31240	129.1836	129.18

No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR.NO. A-13
DATE　R07.05	建物面積求積図・求積表　SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	舘.築.
	株式会社 青 和 設 計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
	青森県五所川原市字鍵谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号　管理建築士 舘 山 良 子

3．劣化の軽減に関すること

3-1 劣化対策等級(構造躯体等) 等級２

項　目		内　容
外壁の軸組等の防腐防蟻	外壁の構造	外壁通気構造（通気層巾18mm）
	柱の樹種、小径	ｽﾌﾟﾙｽ集成材：105mm GL+1,000mm迄、薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
	柱以外の軸材	ｽﾌﾟﾙｽ集成材：薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
木材		木材の品質は、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等による耐力上の欠点がないものとする
土台の防腐防蟻		外壁下端の水切りを設置
		ヒバ(耐久性区分Ｄ1)：薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室ユニット（JIS A 4416　同等試験品）
	脱衣室	防水上有効な仕上（床：ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ(ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ)、壁：ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)）
地盤		地盤の防蟻措置の対象区域外（青森県）
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
基礎断熱材		熱抵抗値(3地域＝0.6㎡･K/W以上)
床下防湿・換気	防湿方法	防湿シート t=0.15（包装用ポリエチレンフィルム） JIS Z 1702 重ね幅300mm以上
		コンクリート t=120
	換気方法	住居内床下換気ガラリ　ねこ土台
小屋裏換気	換気方法	小屋裏換気部材　有効面積 0.0142㎡/m以上
構造部材等		令第37条、令第41条、令第49条及び令第80条の2の規定に適合

4．維持管理・更新への配慮に関すること

4-1 維持管理対策等級(専用配管) 等級２

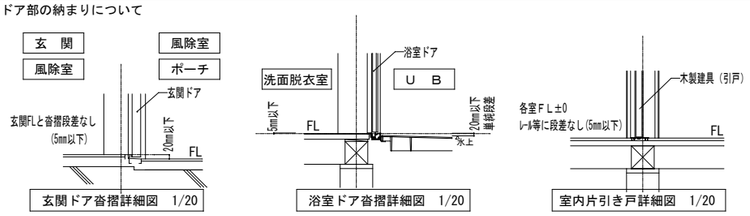
項　目		内　容
専用配管	排水･給水･給湯･ガス管	コンクリート内に埋め込まない
		他住戸専用部に設置しない
		維持管理･更新への配慮 共用しない
地中埋設管	排水･給水･給湯･ガス管	地中埋設管上にコンクリートを打設しない
専用排水管の清掃措置	トイレ	便器取り外し
	その他の水廻り	清掃可能なトラップを設置
排水管の性状等		内面は平滑とする（硬質塩化ビニル管（VP）接着）
		管の中間部、継手廻り等を支持金物にて固定
配管点検口	主要接合部等の点検措置	露出

6．空気環境に関すること

6-1 ホルムアルデヒド対策(内装及天井裏等) 等級３

記　号	特定木質建材		参考メーカー名
	フロア合板	Ｆ☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ
	合板類	Ｆ☆☆☆☆	日本合板工業組合連合会会員(石巻合板工業株式会社他)
	ビニール壁紙	Ｆ☆☆☆☆	株式会社サンゲツ・リリカラ株式会社・東リ株式会社
	キッチン面材	Ｆ☆☆☆☆	株式会社LIXIL･タカラスタンダード株式会社・クリナップ株式会社
	室内ドア	Ｆ☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ
	造作材（窓枠、玄関収納）	Ｆ☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ

（参考）ドア部の納まりについて



5．　温熱環境･ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量に関すること

5-1 断熱等性能等級 等級５

地域の区分	３　地域	断熱工法の種別	充填断熱　工法
外皮平均熱貫流率(UA)　基準値　0.50　W/(㎡･K)　≧　計算書より　0.32　W/(㎡･K)			

○開口部の断熱性能

※詳細は建具表１参照（窓・玄関ドア）

○開口部の日射遮蔽

基準なし

○断熱材の種類と厚さ

部　位	材　料	厚　さ
屋根	不要	
天井	グラスウール断熱材高性能品(HG16-38)（λ=0.038）	100+100
壁	グラスウール断熱材高性能品(HG16-38)（λ=0.038）	100
界壁	グラスウール断熱材通常品(24-38)　（λ=0.038）	100
床（外気に接する部分）	該当なし	
床（その他の部分）	該当なし	
土間床等の外周部（立上り内側）	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A)（λ=0.028）	100
土間床底板敷込み	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A)（λ=0.028）	100 W=600
土間床底板埋込み	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A)（λ=0.028）	30

結露発生防止対策及び熱橋部補強対策(室内側:防湿層)(外壁側:通気層,防風層)	外壁上下端：断熱材充填　　間仕切壁上下端：通気止め木材
	小屋裏・外壁・床下等：換気、通気措置
	断熱材：出隅・入隅・上下の取合い部分及び継ぎ目は隙間なきよう施工する
	必要に応じてテープ等で密着する 室内側:防湿気密シート張り（JIS A 6930 透湿抵抗 140×10⁻³ ㎡･s･Pa/ng以上）
	透湿防風シート：窓廻り及び継ぎ目部分をテープ止めとする

5-2 一次エネルギー消費量等級 等級６

一次エネルギー消費量基準ＢＥＩ　基準値　0.80　≧　計算書より　0.74
冷暖房設備は取付前の先行工事のみ行うものとし、当工事では冷暖房設備は設置しない。設置予定は、居室（LDK・特定寝室・洋室）とする。 主たる居室（LDK）は、小能力時高効率型コンプレッサー搭載品のルームエアコン区分（い）とし、 他の居室（特定寝室・洋室）は、小能力時高効率型コンプレッサー非搭載品のルームエアコン区分（は）とする。

8．音環境に関すること

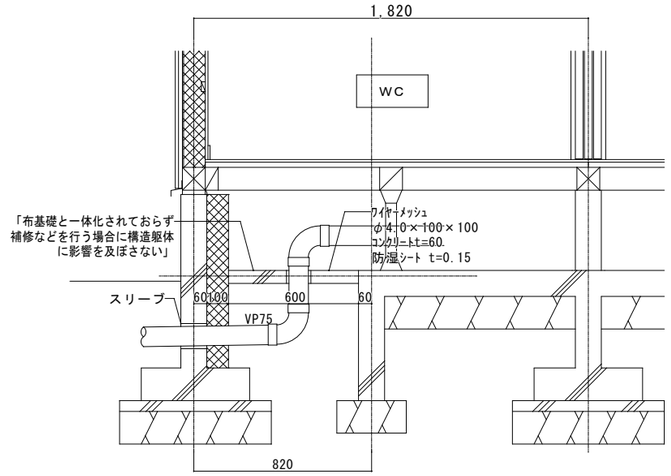
8-4 透過損失等級(外壁開口部) 等級２

居室の外壁開口部	遮音性能	T-１以上のドア、サッシを採用

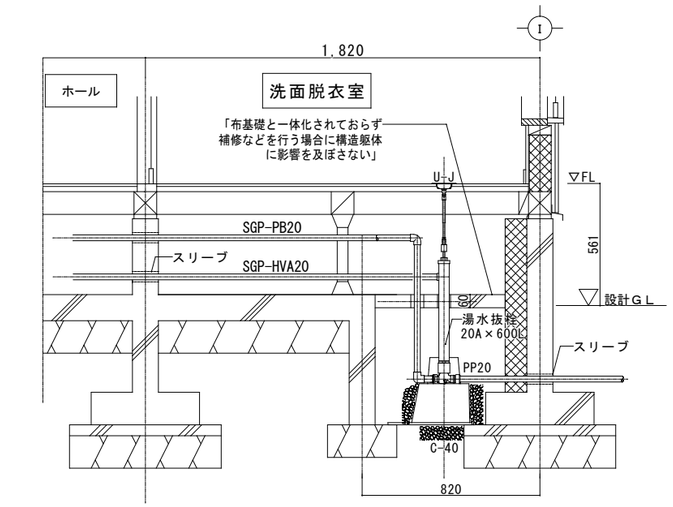
9．高齢者等への配慮に関すること

9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分) 等級３

部屋の配置	平家のため、すべての日常生活空間は特定寝室と同一階	
段差	日常生活空間内(下記以外)	各室：ＦＬ±0、出入口部：ﾚｰﾙ等段差なし(5mm以下)
	玄関の出入口	靴摺と玄関外側20mm以下、靴摺と玄関土間5mm以下
	段差の生じる部分	玄関上がり框（180mm以下）、外部物置入り口
	浴室出入口	洗面側:5mm以下、ＵＢ側：20mm以下(単純段差)
手摺の設置	玄関	Ｉ型手摺設置　（上框の部昇降･靴の着脱用）
	浴室	〃　（浴槽の出入り用等）
	洗面脱衣室	〃　（衣服の着脱用等）
	トイレ	〃　、水平手摺設置　（立ち座り用等）
	日常生活空間	手摺の準備（住戸内、手摺設置可能な箇所にFL+750の位置に手摺下地を入れる）
通路、出入口の幅員	通路幅員	有効780mm以上（柱等の箇所は750mm以上）
（日常生活空間内）	出入口の幅員	玄関ドア　有効≧750mm　　その他の出入口ドア　有効≧750mm
		浴室ドア　有効≧600mm
浴室	ＵＢ 内法寸法等	短辺方向内法長さ1,600mm≧1,200mm、内法面積2.56㎡≧1.8㎡
便所	ＷＣ 内法寸法等	長辺方向内法長さ1,300mm以上、便器前方500mm以上（介護スペース）
		腰掛式便器
特定寝室	特定寝室 内法面積	内法面積9㎡以上



排水管取入れ図(参考) S=1/20



・給湯管の設置位置　土間上ころがし

給水管取入れ図(参考) S=1/20

※用語

特定寝室：高齢者等の利用を想定する一の主たる寝室をいいます

日常生活空間：高齢者等の利用を想定する一の主たる玄関、便所、浴室、脱衣室、洗面所、特定寝室、食事室及び特定寝室の存する階(接地階を除く)にあるバルコニー、特定寝室の存する階にあるすべての居室並びにこれらを結ぶ一の主たる経路をいいます

No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図	DR. NO.　A-14
DATE　R07.05	住宅性能評価仕様書	SCALE　(A2) 1/20　(A3) 1/28.3

株式会社　青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘 山 良 子

外部	屋　根	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.4 立平葺(防水ﾃｰﾌﾟ二重貼) ＋ アスファルトルーフィング940 ＋ 針葉樹構造用合板 t=12 雪止めｱﾝｸﾞﾙ 5×40（溶融亜鉛メッキ仕上）　ｱﾝｸﾞﾙ用金物(溶融亜鉛メッキ仕上)
	軒 天 井	化粧パルプ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板(木目調) t=12.0 、小屋裏換気部材(ｲｰﾌﾞｽﾍﾞﾝﾂ585同等品)
	外　壁	外壁Ａ：窯業系サイディング木目調張 t=16　縦胴縁 18×45@455 透湿防水シート t=0.2（防水テープ貼） 外壁Ｂ：窯業系サイディング張 t=16 縦胴縁 18×45@455 透湿防水シート t=0.2（防水テープ貼）
	基　礎	モルタル薄塗仕上げ
	開 口 部	窓：樹脂断熱サッシ　(熱貫流率 1.27､1.35 W/(㎡K)) 玄関ドア：アルミ断熱玄関親子ドア　(熱貫流率 2.29 W/(㎡K)) 風除室：アルミ製2枚引込戸
	ポーチ・スロープ	床:モルタル刷毛引仕上　壁:窯業系サイディングt=16横張(金具止､塗装品)　天井: 化粧パルプ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板(エンボス調) t=12.0 ｽﾃﾝﾚｽ製手摺 H=800 38φ鏡面仕上(ﾌﾞﾗｹｯﾄ共)、郵便受、住戸番号表示、表札板
	そ の 他	アンテナ取付用バー：ステンレスパイプφ48.6 t=3.0 L=1,300(建築)､(入線ｶﾊﾞｰ(電気))　アルミ製防油堤(機械) アルミ物干金物(壁付アーム型)、ステンレス製ポンペ固定用フック 4ヶ　浄化槽：土留め・土工事、基礎工事は建築工事

断熱仕様	天井ーグラスウール断熱材高性能品(HG16-38)t=200(100+100) (熱抵抗値 2.63×2＝5.26 ㎡･K/W)	
	外壁廻りーグラスウール断熱材高性能品(HG16-38)t=100 (熱抵抗値 2.63 ㎡･K/W)	
	基礎立上り内部ー押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A)t=100 (熱抵抗値 3.57 ㎡･K/W)	
	界壁部分ーグラスウール断熱材通常品(24-38)t=100 (熱抵抗値 2.63 ㎡･K/W)　(かさ比重≧ 0.02)	
室内側の防湿	壁 ー防湿気密シート t=0.1 天井ー防湿気密シート t=0.1	
住棟番号表示	カルプ文字 t=20 表面ﾌｨﾙﾑｼｰﾄ貼 小口部分塗装 600×600(外部用)	
住戸番号表示	カルプ文字 t=20 表面ﾌｨﾙﾑｼｰﾄ貼 小口部分塗装 300×600(外部用)	
表札板	ステンレス製 282×145 住戸番号表示(各戸風除室前)	
郵便受	ステンレス製防滴型H280×W380×D145 ラッチ錠付(南京錠別途)	

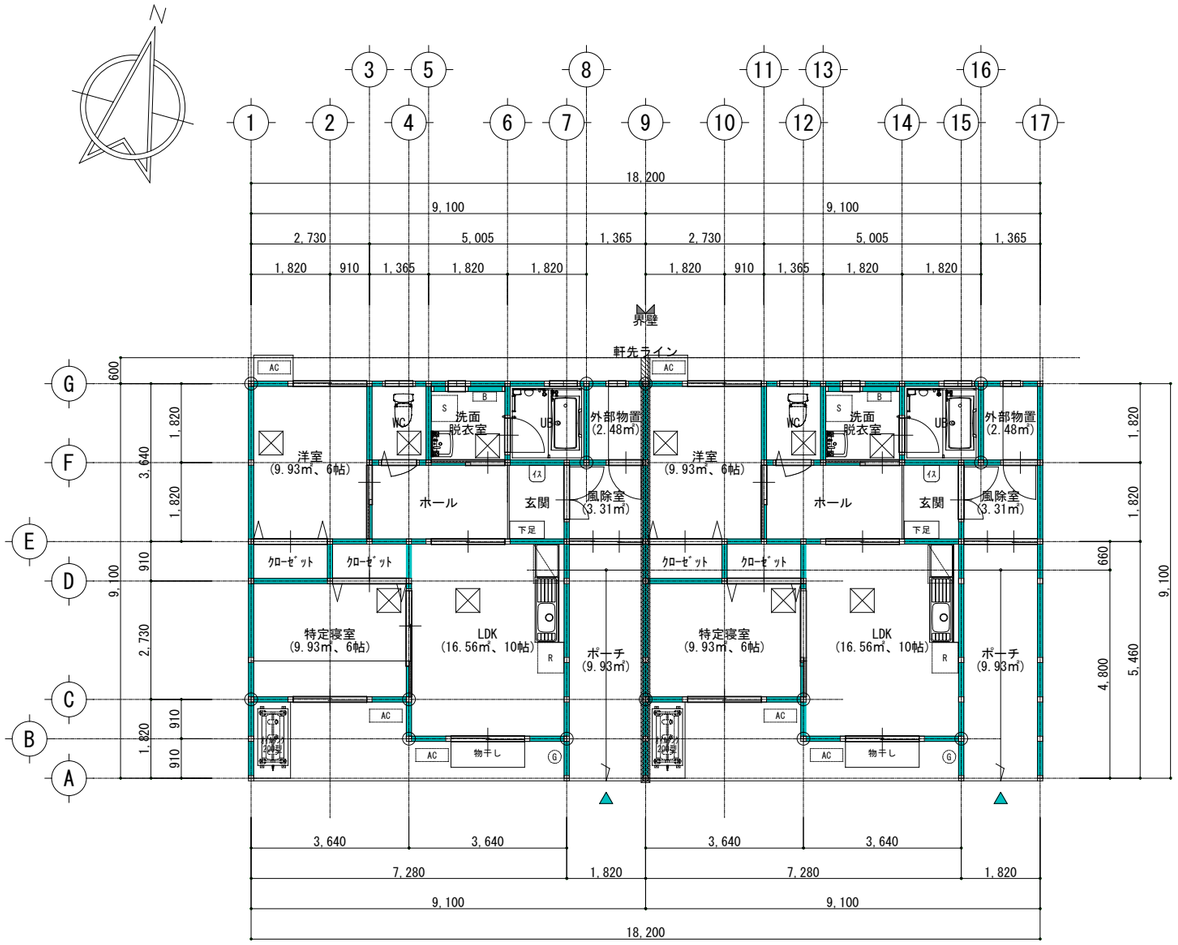
一般事項

使用建築材料(ｼｯｸﾊｳｽ対策)	本工事に使用するすべての建築材料は Ｆ☆☆☆☆（JIS･JAS）及び告示対象外材とする。 天井裏、壁内（外装材･構造材･各下地材･断熱材等） 内部（内装仕上材･建具･家具･造作物･使用接着材等） 天井裏等への措置については、天井裏･床裏･壁･収納 に用いる建築材料はＦ☆☆☆☆を使用する。
ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽの使用禁止	クロルピリホスを添加した材料(内外部、下地仕上共)は使用しない。
接合金物	Ｚマーク表示金物及び日本住宅･木材技術センター認定品を使用する。
ｼｰﾘﾝｸﾞ処理	変成ｼﾘｺﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)10×10ー外壁目地、開口部廻り、金物廻り 外壁ｼｰﾘﾝｸﾞ材は､ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材下地とする。
防腐防蟻処理	木部ーGL+1,000迄 薬剤処理(JIS K 1571適合品を現場塗布) 2回塗布 (土台､柱､間柱､筋違､大引､通気胴縁) (エコボロンＰＲＯ同等品)

階	室 名		床	巾 木	H	塗装	壁	天 井	廻縁	H	天井高	手摺取付下地	備 考
1	風除室	下地材					界壁部:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 ＋ t=12.5(小屋裏まで)＋		塩ﾋﾞ製		2,700		天井点検口450×450ｱﾙﾐ製(一般ﾀｲﾌﾟ)
		仕上材	モルタル刷毛引仕上	(基礎立上り)			窯業系サイディングt=16 横張(金具止､塗装品)	化粧パルプ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 t=12.0 (エンボス調)					
	玄関	下地材	モルタル下地 t=30	タイル張り	150		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,650～2,670	○	木製下駄箱 (既製品)､壁付ﾍﾞﾝﾁ(既製品)、上り框70×120(既製品) ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品)
		仕上材	床用磁器タイル張り 100角	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	ホール	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	Ｉ型木製手摺 L=600×φ32 天井点検口600×600ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	ＬＤＫ	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5 下地ビニールクロス貼（汚れ防止）	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	流し台、ガス台、吊戸棚､ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ　床下ｶﾞﾗﾘ　ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、 AC用･FF用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ、床下点検口600×600ｱﾙﾐ製、 天井点検口600×600ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)
		仕上材	フロア合板 t=12				流し台廻り:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙt=3.0貼	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	特定寝室	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	AC用･FF用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ、床下点検口600×600ｱﾙﾐ製、 ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品)､ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、床下ｶﾞﾗﾘ 天井点検口450×450ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	洋室	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	AC用･FF用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ、床下点検口600×600ｱﾙﾐ製、 ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品)､ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW、床下ｶﾞﾗﾘ 天井点検口450×450ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	クローゼット	下地材	針葉樹構造用合板t=24(本実)特類2級	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5		塩ﾋﾞ製		2,500		枕棚(既製品)､ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ 床下ｶﾞﾗﾘ
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼（汚れ防止）	化粧石膏ボード t=9.5					
	洗面脱衣室	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級 ＋ ラワン合板 t=9 Ｉ類	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		防水石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	洗面化粧台 W=600､給湯ﾎﾞｲﾗｰ(機械設備)、 配管パック Ｉ型木製手摺 L=600×φ32､床下点検口600×600ｱﾙﾐ製 天井点検口450×450ｱﾙﾐ製(一般ﾀｲﾌﾟ)､床下ｶﾞﾗﾘ
		仕上材	＋ ビニル床シート(ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ) t=1.8				ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	ＵＢ	下地材										○	片開戸､補助手摺：Ｉ型600 4ヶ所、 ｼｬﾜｰ付ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓(ﾃﾞｯｷ型)､化粧鏡､照明器具 換気扇用穴加工(開口補強共)(換気扇)
		仕上材	ユニットバス1616				ユニットバス部材	ユニットバス部材					
	ＷＣ	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級 ＋ ラワン合板 t=9 Ｉ類	木製既製品(気密ﾀｲﾌﾟ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	棚付Ｉ型手摺(機械設備)取付用下地 、木製手摺φ35 L=400 棚(既製品)､跳ね上げ式手摺取付用下地 床下ｶﾞﾗﾘ
		仕上材	＋ ビニル床シート(ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ) t=1.8				ビニールクロス貼（汚れ防止）	ビニールクロス貼（汚れ防止）					
	外部物置	下地材							塩ﾋﾞ製		2,700		中段
		仕上材	モルタル金ゴテ仕上	(基礎立上り)			ラワン合板 t=12	化粧石膏ボード t=9.5					
	界壁	下地材					両面石膏ボード t=12.5×2	※天井裏又は小屋裏まで達せしめること					
							内部:グラスウール断熱材通常品(24-38)t=100 充填						

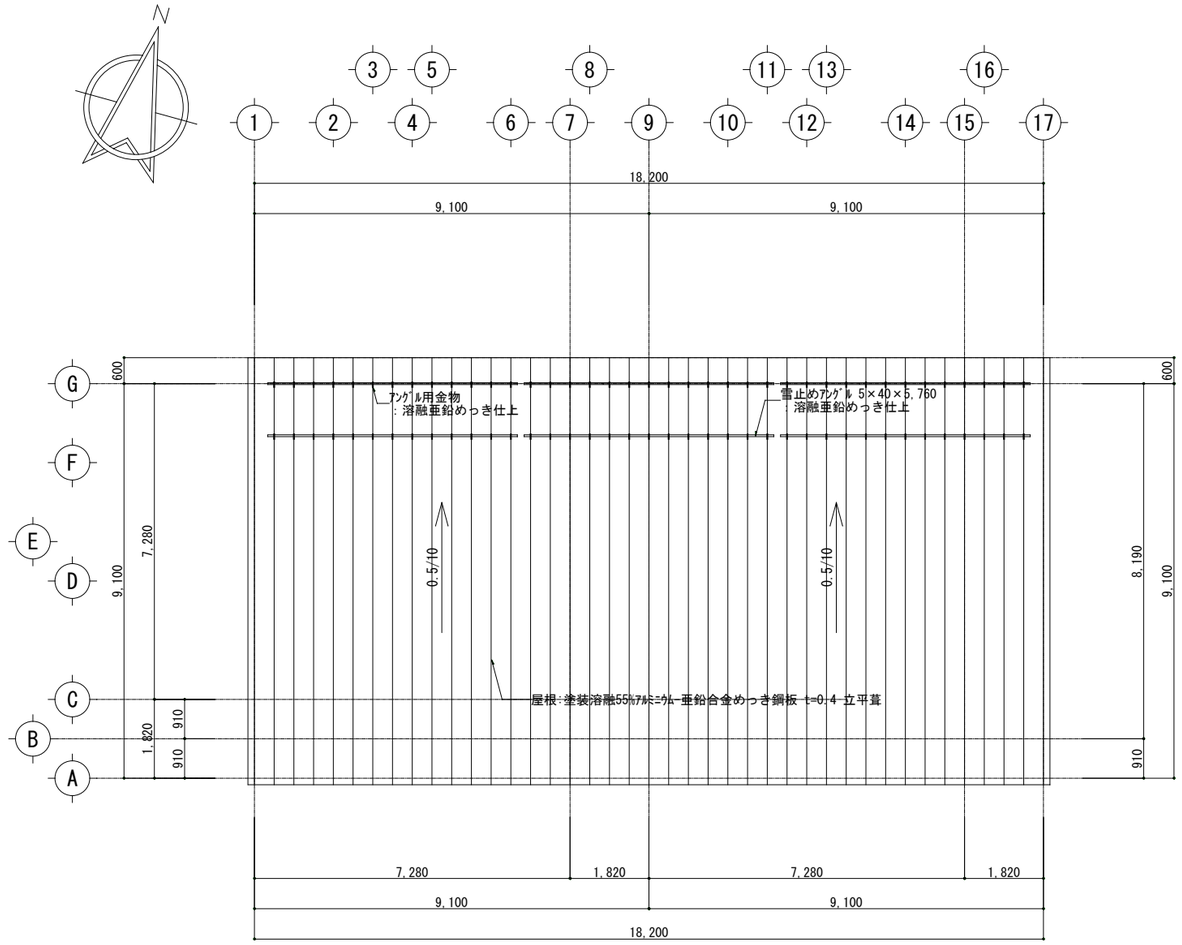
材料認定番号							備 考
石膏ボード t=9.5	QM-9828	キッチンパネル t=3.0	NM-2183 (不燃認定品)	外壁:窯業系サイディングt=16 屋内側:石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5	流し台 ：W1,200×D550×H800(LIXIL GSES120MXTL同等品)	洗面化粧台 ：(LIXIL FTV1N-604N/VP1W(本体),LF-3SF(410)K-MB(水栓･止水栓共),	＊詳細な納まりについては､各社統一する事。
石膏ボード t=12.5	NM-8619	化粧石膏ボード t=9.5	QM-0524		吊戸棚＋不燃吊戸棚 ：W1,200(750+450)×D350×H700(LIXIL GSEAM75Z+GSEM45ZFL同等品)	MFTX1-601XFJU-G(ﾐﾗｰｷｬﾋﾞﾈｯﾄ)同等品)	
防水石膏ボード t=12.5	QM-0898	窯業系サイディングt16	QM-0639 (ﾓｴﾝｽﾀｾﾗｰﾄﾞ16)		ガス台 ：W750×D543×H623(LIXIL GSEK75K同等品)	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ ：(積水ﾎｰﾑﾃｸﾉ ES4B1M-1616UN-4LC2NCHW(本体),KF6004Z(ﾃﾞｯｷ形ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰｼｬﾜｰ水栓)同等品)	
ビニールクロス	準不燃QM認定品				ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ: W750×H700 同時給排気型,電動ｼｬｯﾀｰ付(上方給排ｾｯﾄSU共),壁ｽｲｯﾁ	親子換気扇：(FY-24CPS8＋FY-GKP04同等品)　アルミ物干金物：(ナスタKS-DA553AB同等品)	
化粧パルプ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 t=12.0	NM-3010				(富士工業㈱) ﾄｸBDR-3HL-751VBKﾄ(本体),KSW-03(ｽｲｯﾁ)同等品)	防油堤：(本体、あと施工アンカー　機械設備工事)	

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-15
DATE R07.05	外部・内部仕上表　SCALE
	館.築.
	株式会社 青 和 設 計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)



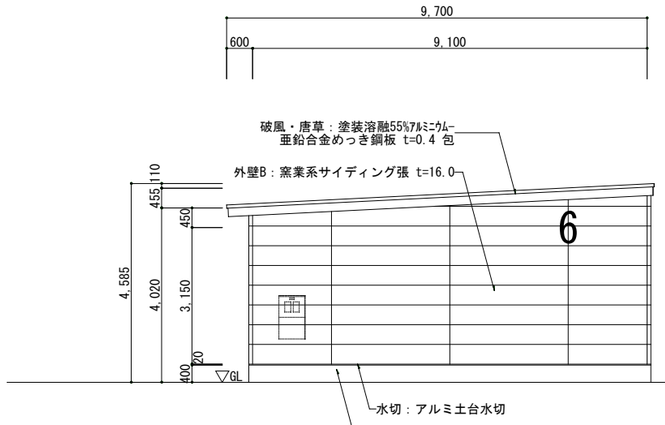
平面図 2LDK(2戸) 1/100

平面図凡例	
◎	柱 120×120
□	柱 105×105
⊠	床下点検口 600角
	界壁
	界壁(軒先部分)

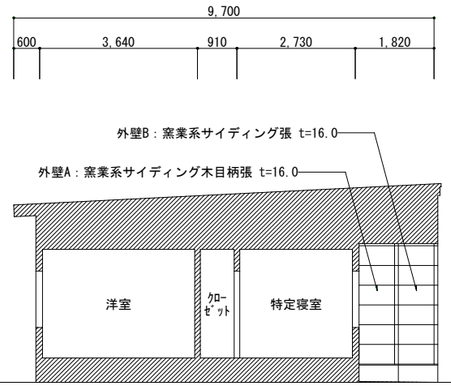


屋根伏図 2LDK(2戸) 1/100

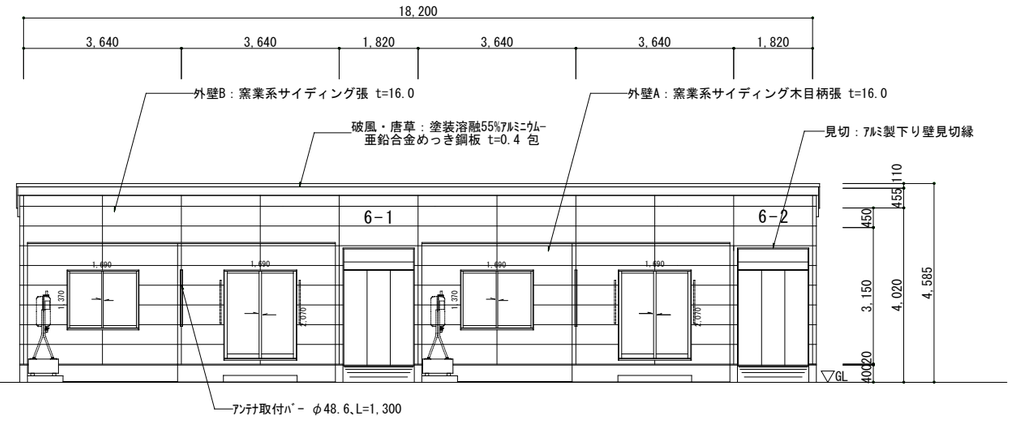
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-16
DATE R07.05	平面図 屋根伏図 SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	舘山良子
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子



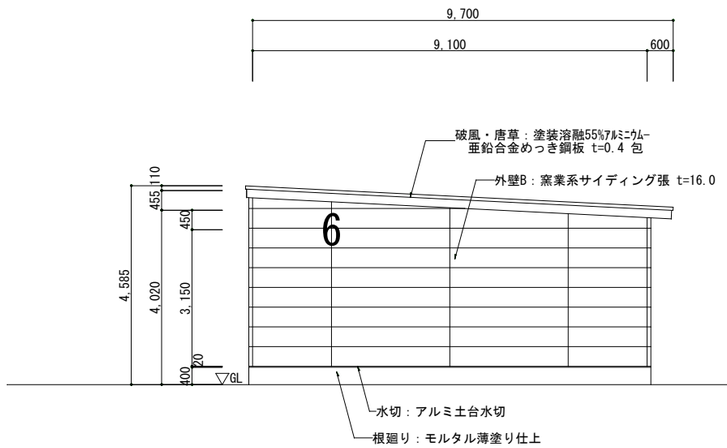
西側立面図 1/100



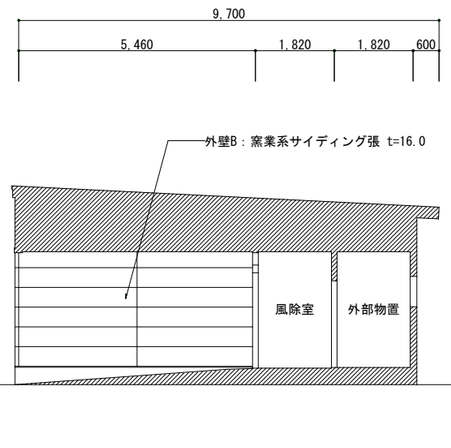
2・10通り立面図 1/100



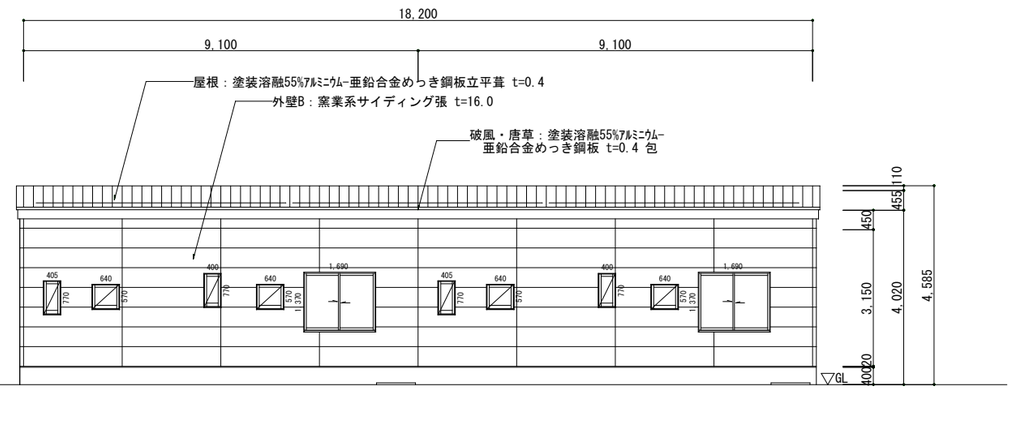
南側立面図 1/100



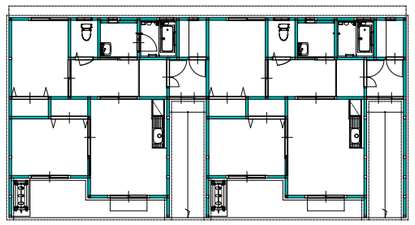
東側立面図 1/100



ポーチ立面図 1/100



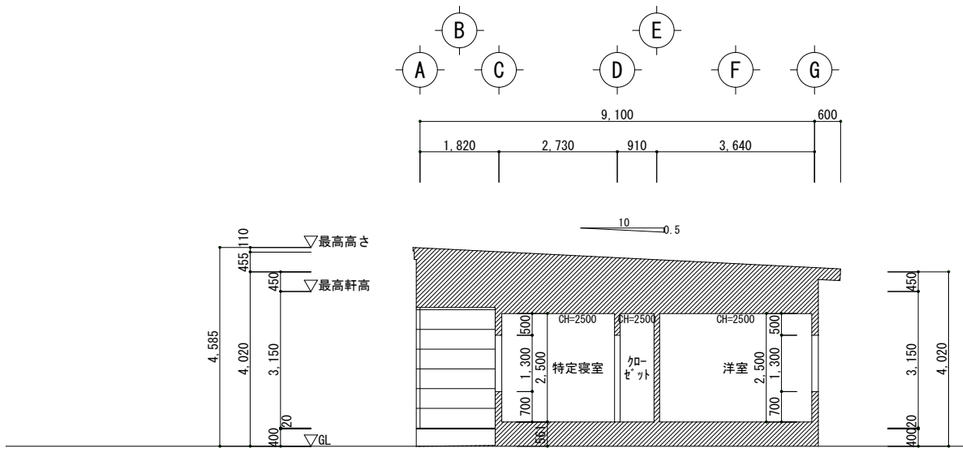
北側立面図 1/100



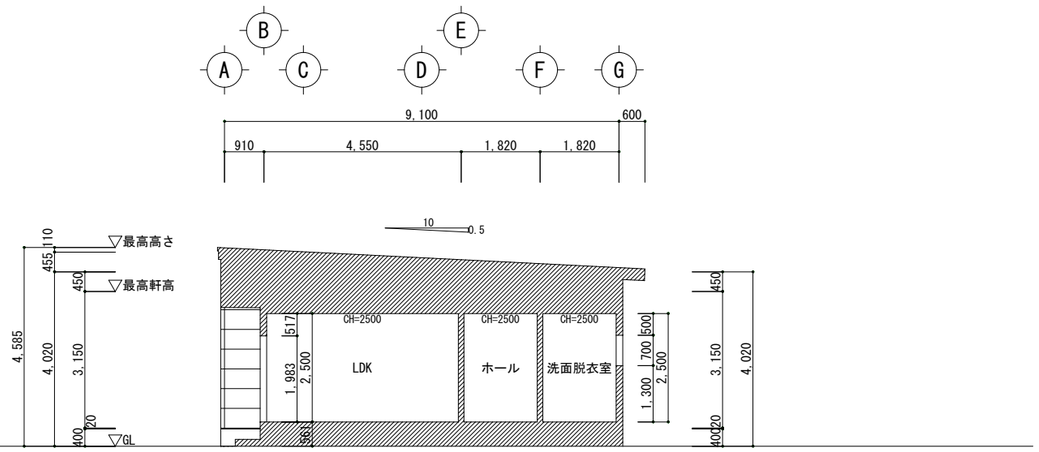
張り分け図 1/200

—— 外壁A 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ木目柄張 t=16.0
------ 外壁B 窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張 t=16.0

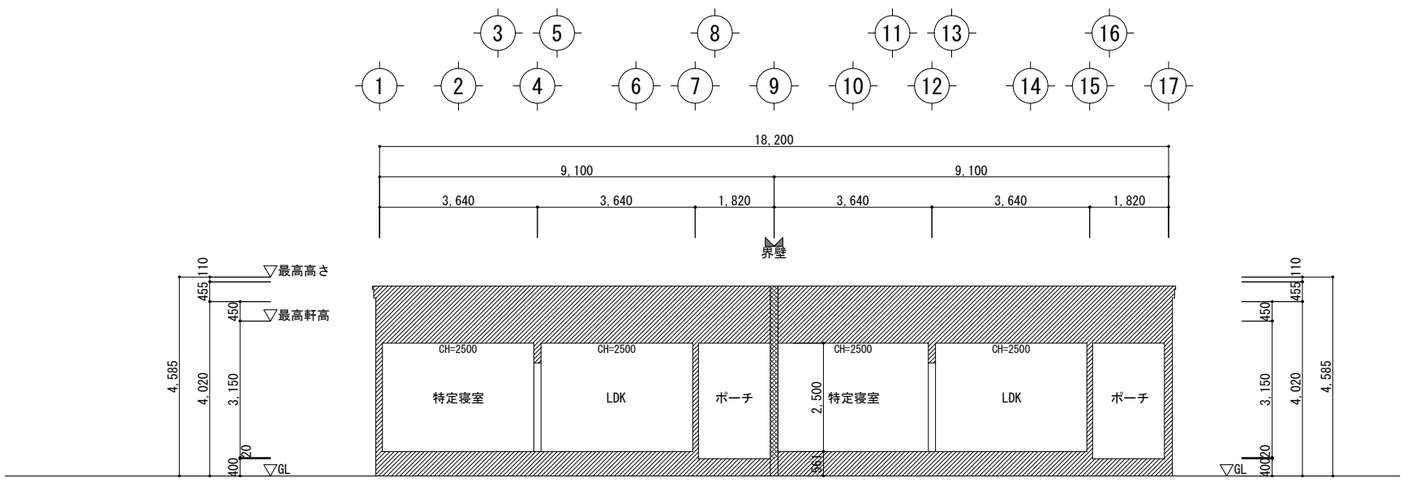
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-17
DATE R07.05	立面図 張り分け図 SCALE (A2) 1/100 1/200 (A3) 1/141.4 1/282.8
	館山
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子



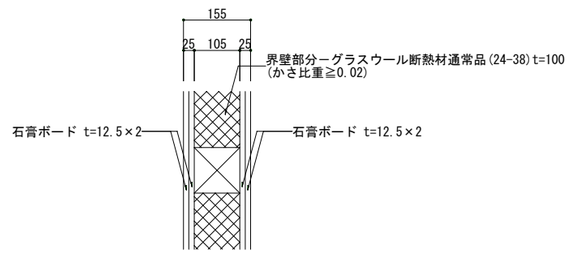
断面図・1　1/100



断面図・2　1/100



断面図・3　1/100



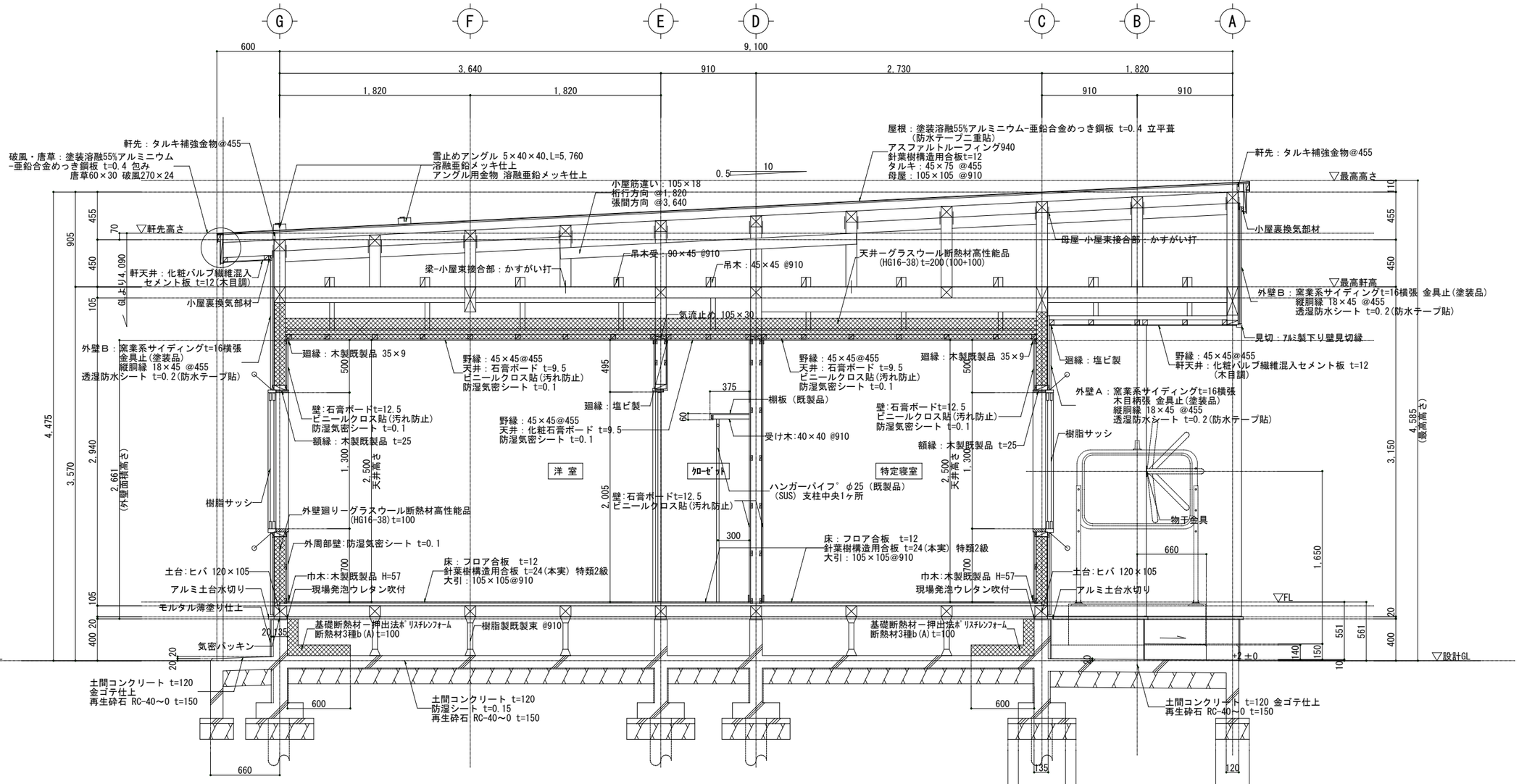
※両面石膏ボードt=12.5+t=12.5は
天井裏又は小屋裏まで達せしめること

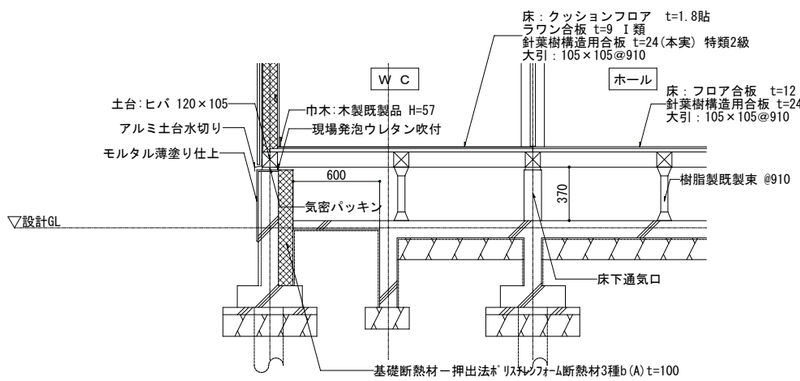
遮音性能(建設省告示第1827号)
準耐火構造(建設省告示第1358号)

※界壁を貫通する配管等
(建築基準法施行令第129条の2の4-7号)

界壁詳細図　1/10

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. A-18
DATE R07.05	断面図　界壁詳細図　SCALE (A2)1/100 1/10 (A3)1/141.4 1/14.1
	館.築.
	株式会社 青和設計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)

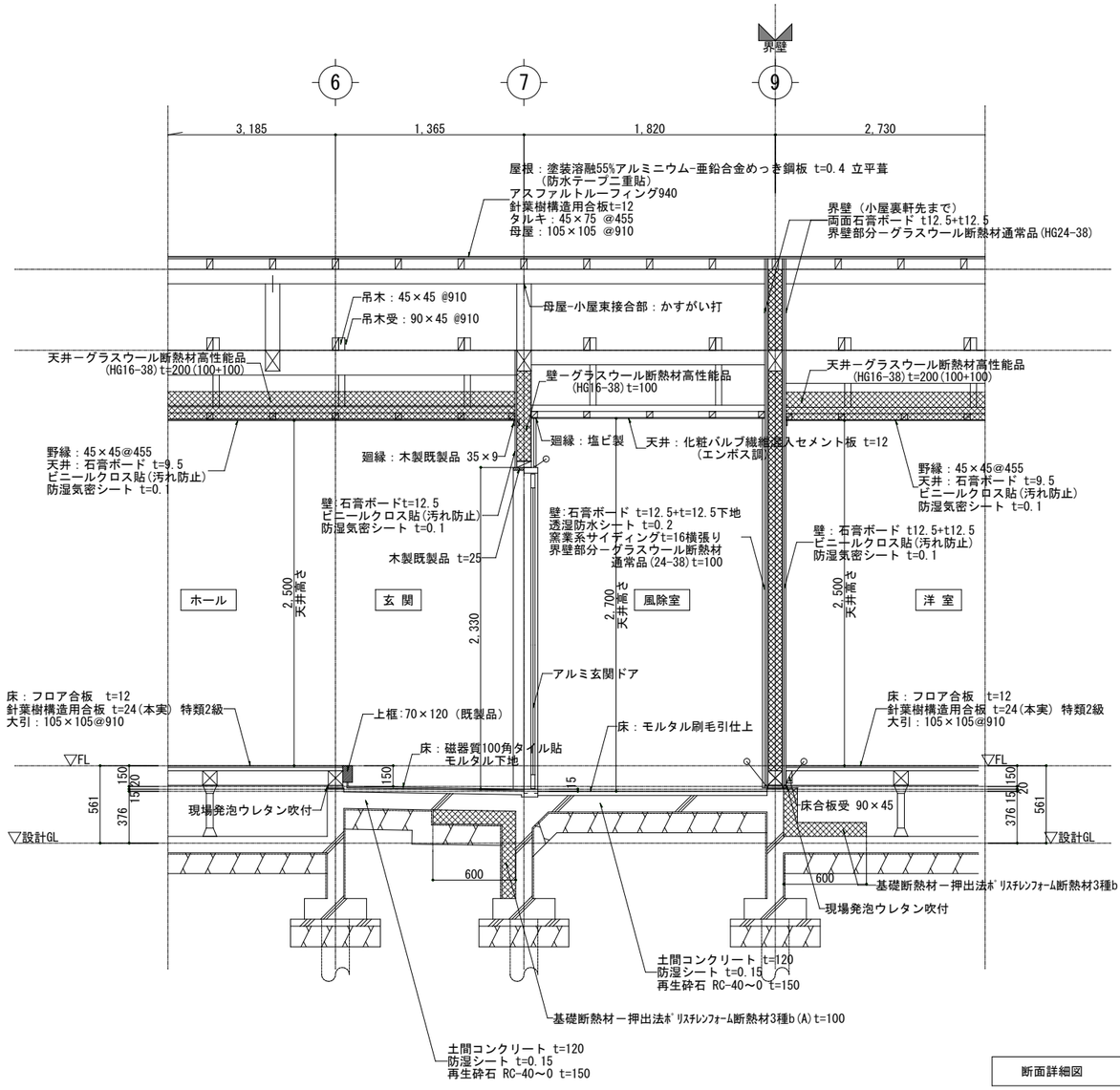


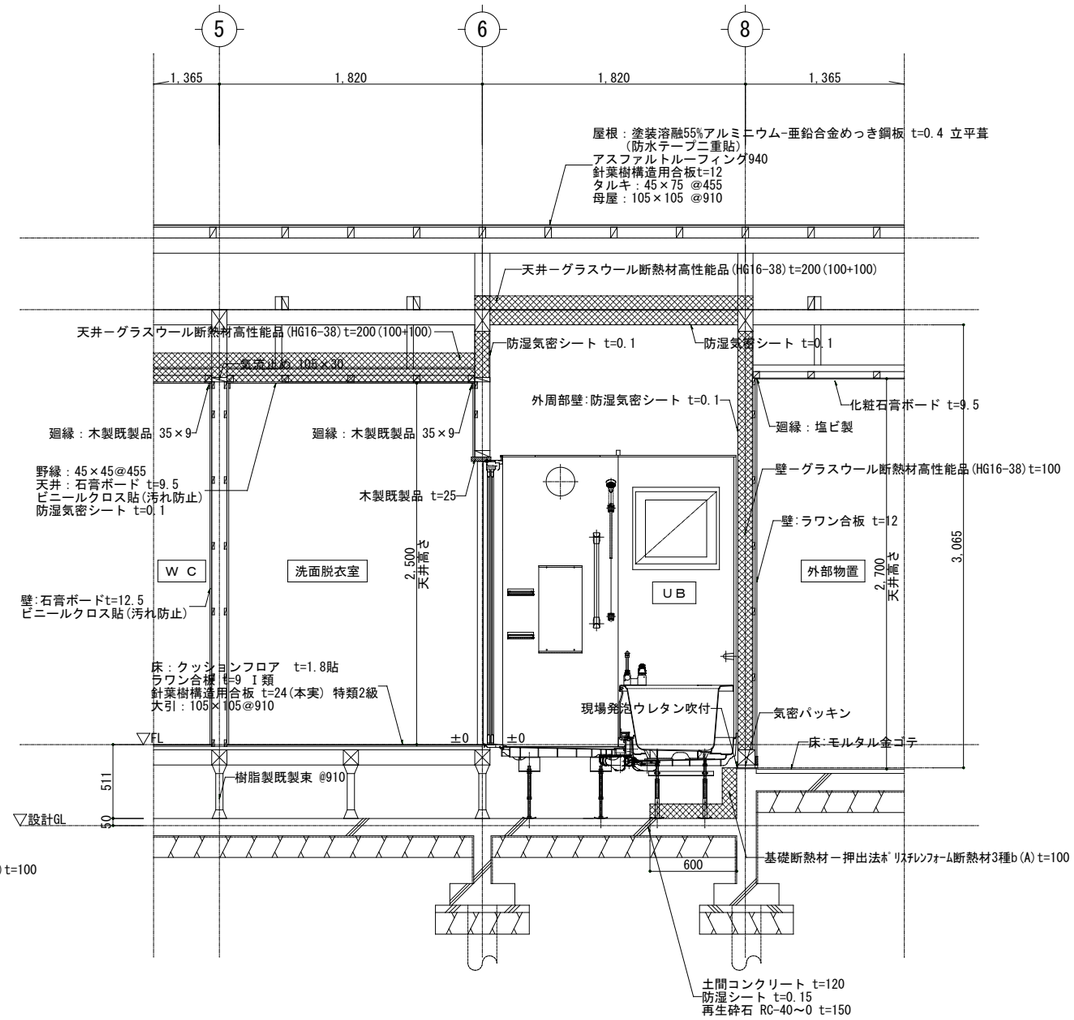


矩 計 図 1/30

・設備配管等による断熱欠損部は現場発泡ウレタン吹付すること
(現場発泡ウレタンはλ=0.028)
・木部:GL+1,000まで、薬剤処理 2回塗（エコボロンＰＲＯ同等品）

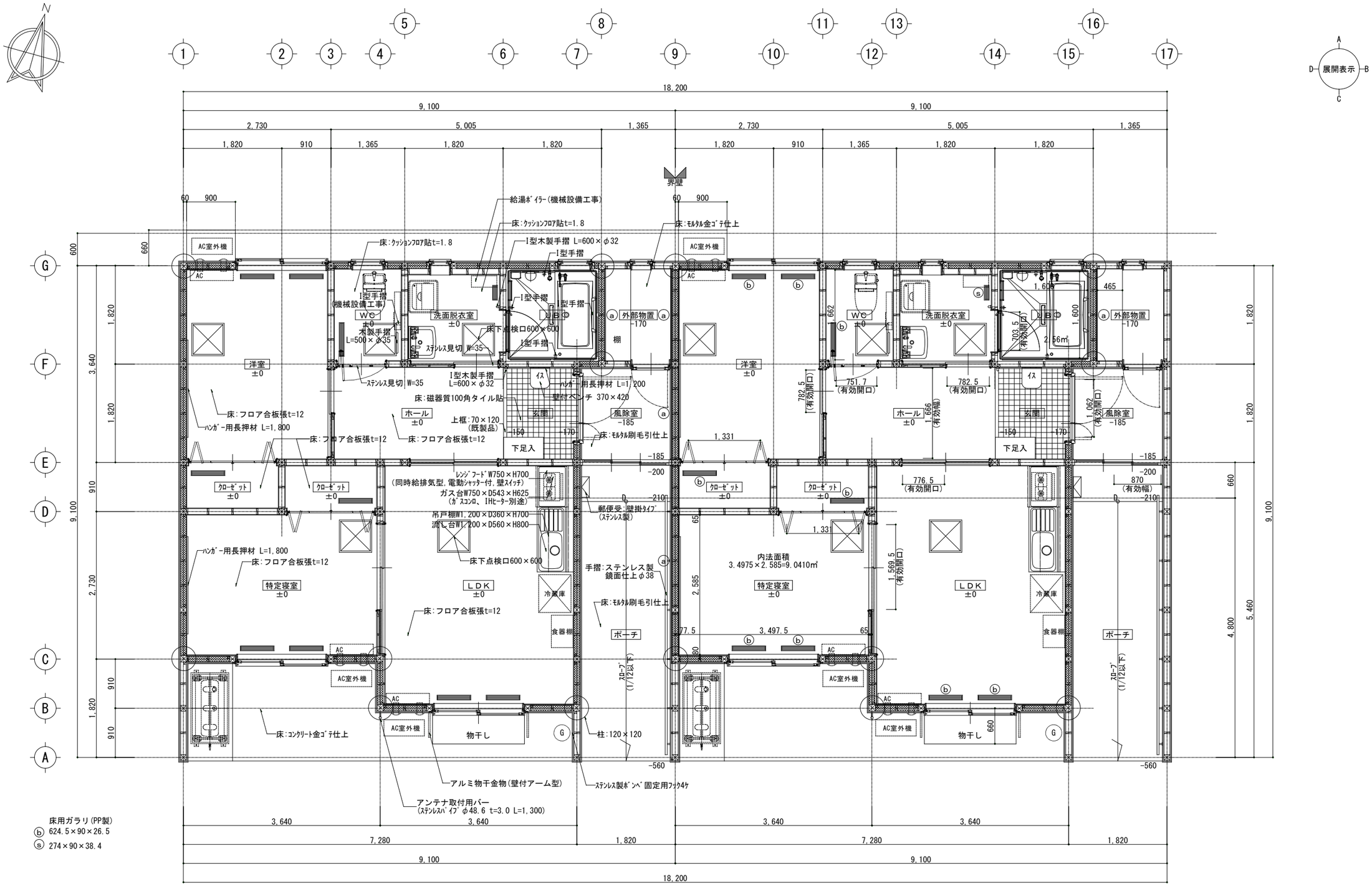
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-19
DATE R07.05	矩計図 SCALE (A2) 1/30 (A3) 1/42.4
	舘山建築
	株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子





断面詳細図　1/30

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-20
DATE R07.05	断面詳細図　SCALE (A2) 1/30 (A3) 1/42.4
	館山良子
	株式会社 青 和 設 計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号　管理建築士 館 山 良 子



床用ガラリ(PP製)
ⓑ 624.5×90×26.5
ⓢ 274×90×38.4

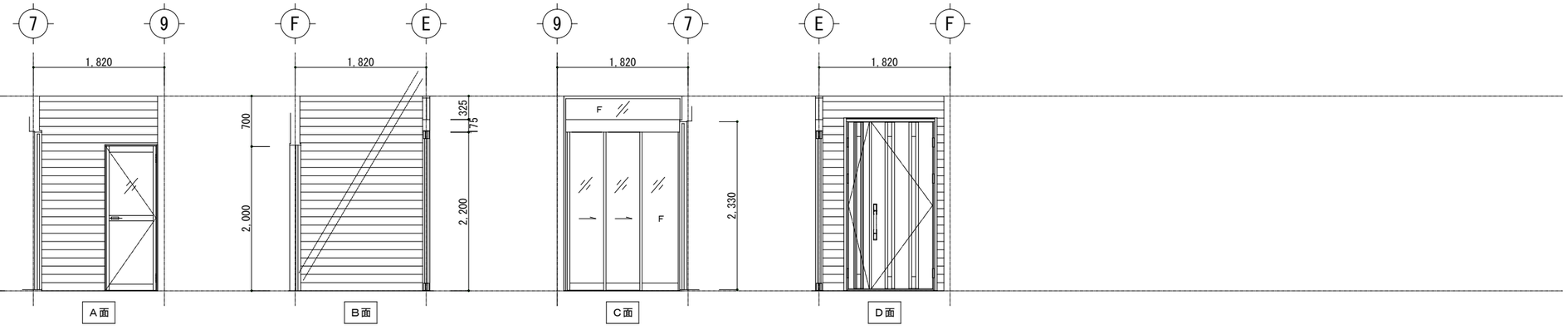
平面詳細図	1/50

ⓐ 通気層除外規定適用箇所
室内側に透湿抵抗値0.082㎡・S・Pa/ng以上の防湿気密シートを施工する。

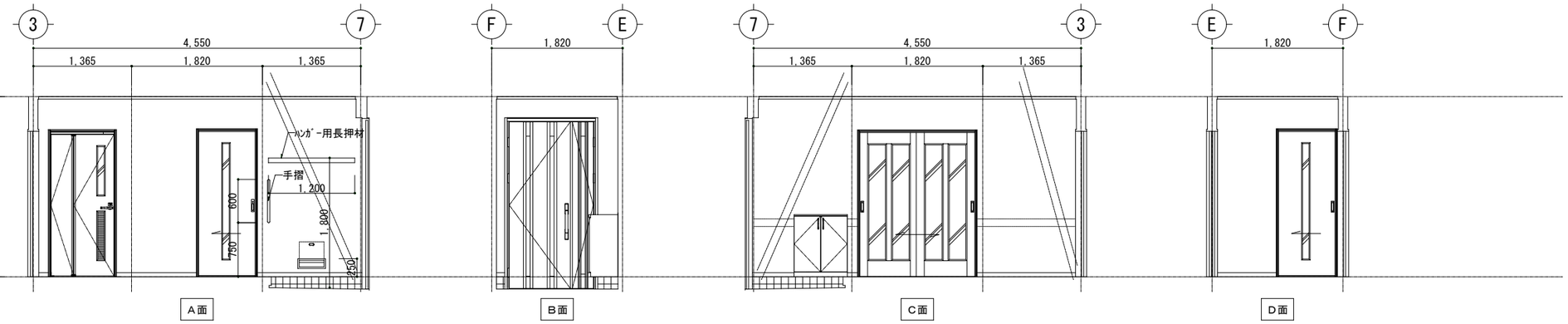
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR. NO. A-21
DATE R07.05	平面詳細図　SCALE (A2)1/50 (A3)1/70.7

株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘山良子

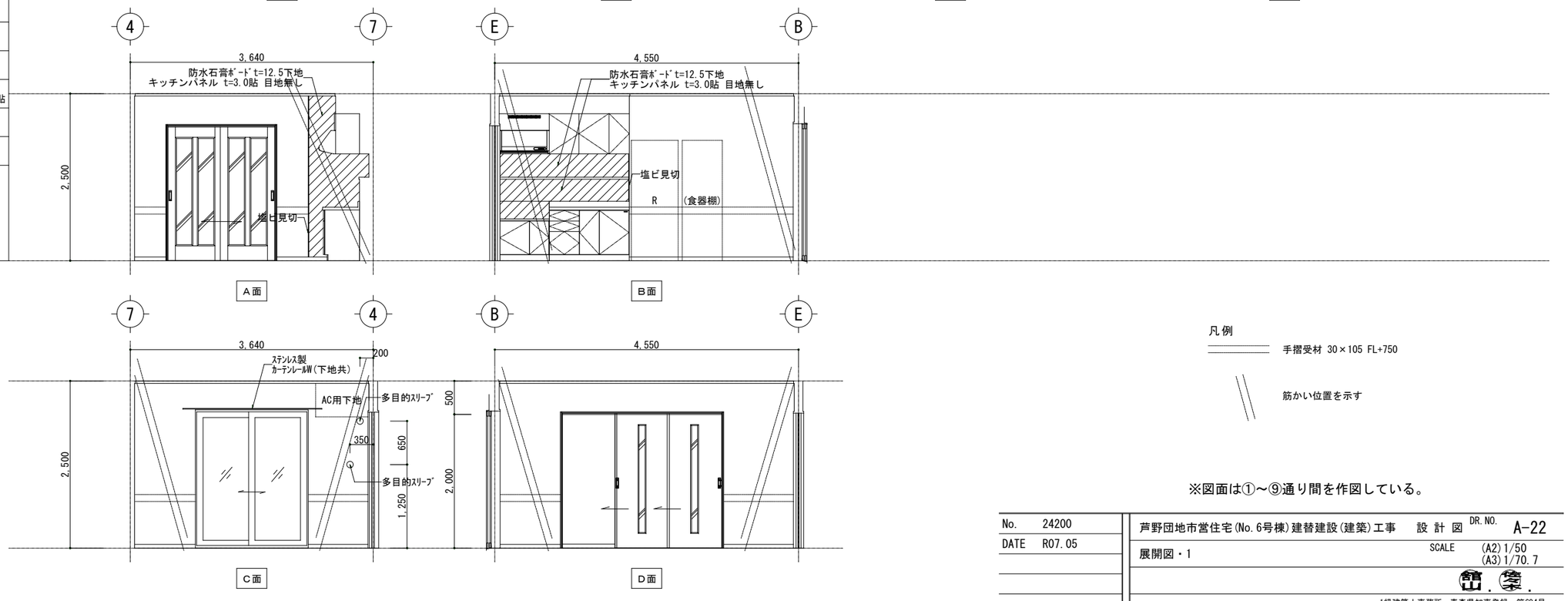
風除室	CH=2,700
床	モルタル刷毛引仕上
巾木	基礎立上り
壁	窯業系サイディング t=16 横張 金具止（塗装品）
天井	化粧パルプ繊維混入セメント板(ｴﾝﾎﾞｽ調) t=12.0
廻縁	塩ビ製
備考	天井点検口 450×450 ｱﾙﾐ製(一般ﾀｲﾌﾟ)



玄関・ホール	CH=2,650～2,670 CH=2,500
床	玄関：モルタル下地 床用磁器タイル貼 100角 ホール:針葉樹構造用合板 t=24(本実)特類2級下地 フロア合板 t=12
巾木	玄関：タイル貼 H=150 木製既製品 H=57 ホール：木製既製品 H=57
壁	石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	木製下駄箱 (既製品) W740×D400×H800 壁付ベンチ(既製品)370×420 (壁付ベンチ取付用下地共) 上框(既製品)70×120 天井点検口 600×600 ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ) I型木製手摺 L=600×φ32 (取付用下地共) ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品)



ＬＤＫ	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実)特類2級下地 ﾌﾛｱ合板 t=12
巾木	木製既製品 H=57
壁	石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止) 流し台廻り:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5下地ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ t=3.0貼
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	流し台,ガス台,吊戸棚(ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ側不燃ﾀｲﾌﾟ),ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ, 床下ｶﾞﾗﾘ624.5×90(PP製) ,ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW 多目的ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(内,外)φ135(107×114 ABS樹脂) 床下点検口アルミ製600×600 天井点検口 600×600 ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)



凡例

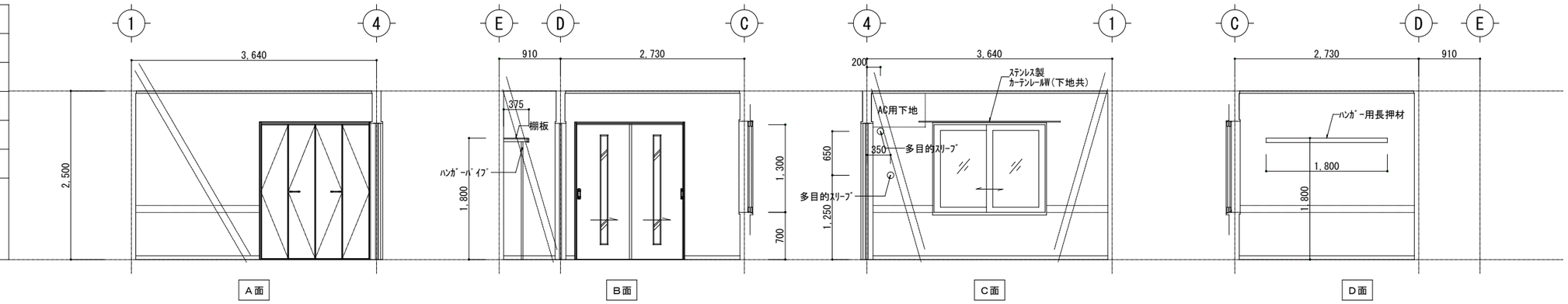
手摺受材 30×105 FL+750

筋かい位置を示す

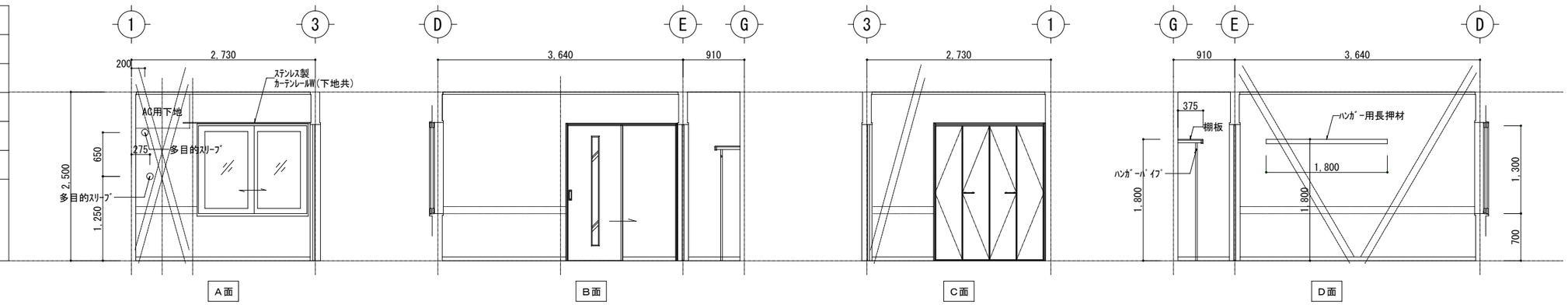
※図面は①～⑨通り間を作図している。

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-22
DATE R07.05	展開図・1 SCALE (A2)1/50 (A3)1/70.7
	館.築.
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子

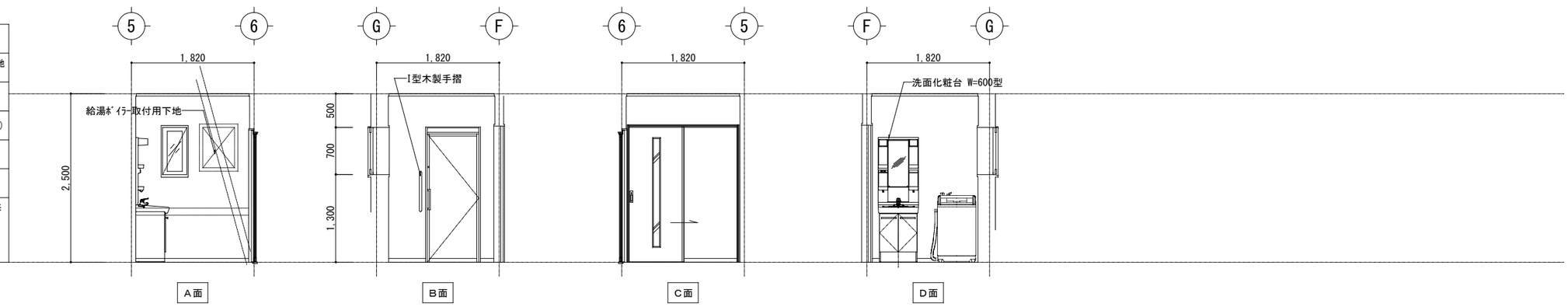
特定寝室	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実)特類2級下地 ﾌﾛｱ合板 t=12
巾木	木製既製品 H=57
壁	石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	床下ｶﾞﾗﾘ624.5×90(PP製) ,ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW 多目的ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(内,外)φ135(107×114 ABS樹脂) ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品) 枕棚,ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ(ｸﾛｰｾﾞｯﾄ) 床下点検口 アルミ製 600×600 天井点検口 600×600 ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)



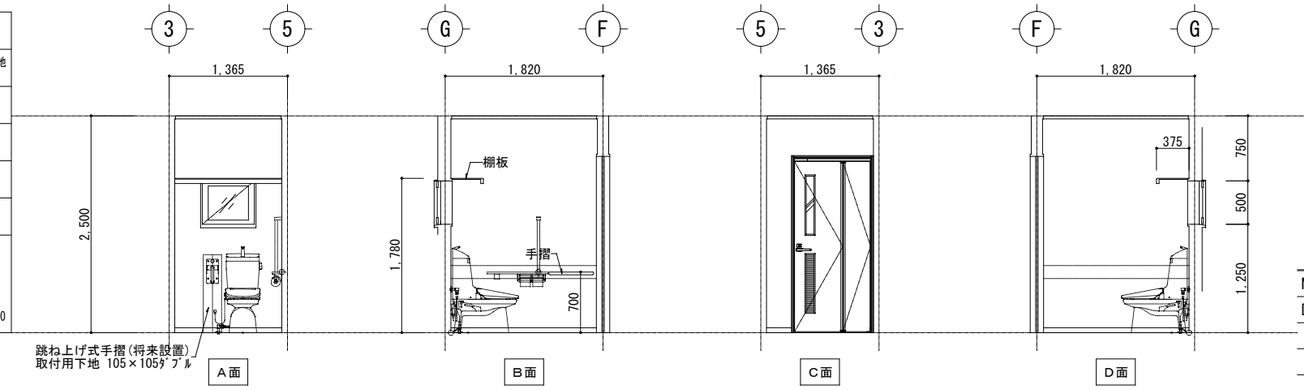
洋室	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実)特類2級下地 ﾌﾛｱ合板 t=12
巾木	木製既製品 H=57
壁	石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	床下ｶﾞﾗﾘ624.5×90(PP製) ,ｽﾃﾝﾚｽ製ｶｰﾃﾝﾚｰﾙW 多目的ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(内,外)φ135(107×114 ABS樹脂) ﾊﾝｶﾞｰ用長押材(既製品) 枕棚,ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ(ｸﾛｰｾﾞｯﾄ) 床下点検口 アルミ製 600×600 天井点検口 600×600 ｱﾙﾐ製(断熱ﾀｲﾌﾟ)



洗面脱衣室	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級+ラワン合板t=9Ⅰ類下地 ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ t=1.8貼
巾木	木製既製品 H=57
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (汚れ防止)
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	洗面化粧台 W=600 (ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ水栓,下扉：両開き型,止水栓×2個共ﾌﾙｷｬﾌﾞﾘｮｲﾝﾄ込) 、天井点検口 450×450 ｱﾙﾐ製(一般ﾀｲﾌﾟ) Ⅰ型木製手摺 L=600×φ32 (取付用下地共) 床下点検口 アルミ製 600×600 床下ｶﾞﾗﾘ274×90(PP製) 給湯ボイラー取付用下地



WC	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級+ラワン合板t=9Ⅰ類下地 ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ t=1.8貼
巾木	木製既製品 H=57
壁	石膏ボード t=12.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (汚れ防止)
天井	石膏ボード t=9.5下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
廻縁	木製既製品 30×9
備考	棚付I型手摺 (機械設備工事) 取付用下地 跳ね上げ式手摺取付用下地 棚板 木製手摺 φ35 L=400 (取付用下地共) 床下ｶﾞﾗﾘ624.5×90(PP製) 床下点検口 アルミ製 600×600



凡例

手摺受材 30×105 FL+750

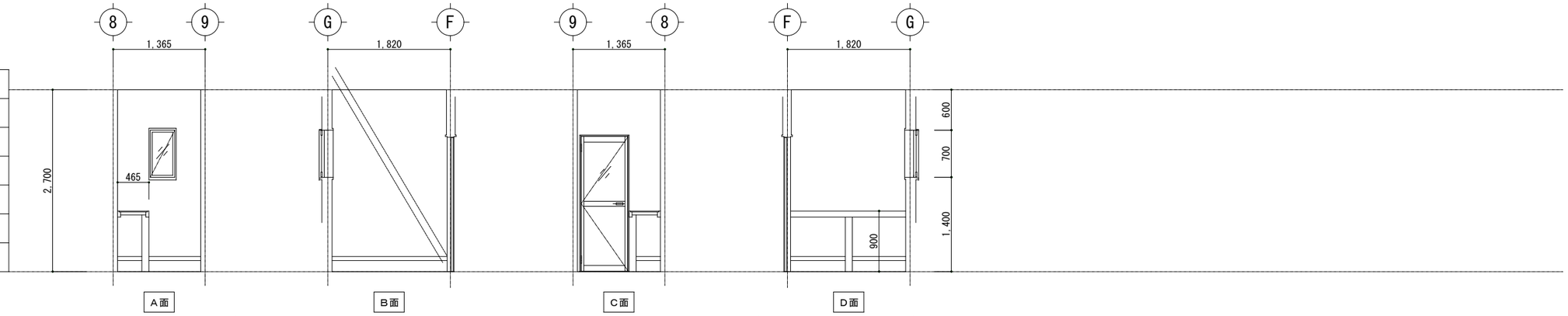
筋かい位置を示す

※図面は①～⑨通り間を作図している。

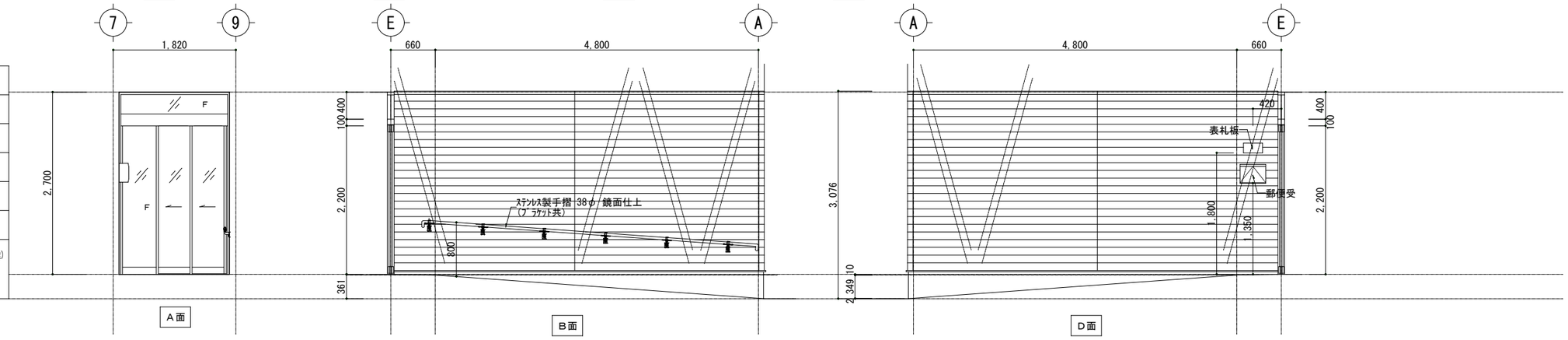
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-23
DATE R07.05	展開図・2 SCALE (A2)1/50 (A3)1/70.7

株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘山良子

外部物置	CH=2,700
床	モルタル金ゴテ仕上
巾木	基礎立上り
壁	ラワン合板 t=12
天井	化粧石膏ボード t=9.5
廻縁	塩ビ製
備考	中段

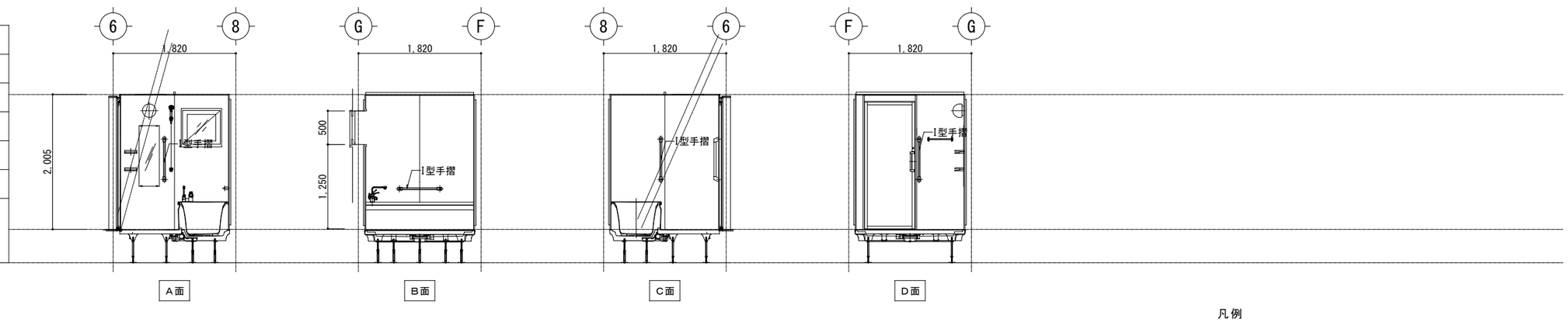


ポーチ	CH=2,715～3,076
床	モルタル刷毛引仕上
巾木	コンクリート打放し補修
壁	窯業系サイディング t=16 横張 金具止（塗装品）
天井	化粧パルプ繊維混入セメント板(ｴﾝﾎﾞｽ調)t=12.0
廻縁	塩ビ製
備考	郵便受:ｽﾃﾝﾚｽ製防滴型 H280×W380×D145 ﾗｯﾁ錠付(南京錠別途) ｽﾃﾝﾚｽ製手摺 H=800 38φ鏡面仕上(ﾌﾞﾗｹｯﾄ共) 表札板:ｽﾃﾝﾚｽ製 282×145 住戸番号表示



※参考図（各メーカー仕様による）

ＵＢ	CH=2,005
床	ユニットバス 1616
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	断熱仕様:床-高断熱ﾌﾛｱ7、片開戸(ｱｸﾘﾙ板ｶｽﾐ、救出機能付) JIS A4416試験品 補助手摺：Ｉ型600 4ヶ所 親子換気扇、ｼｬﾜｰ付ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ混合栓(ﾃﾞｯｷ型)(寒冷地仕様) 化粧鏡、照明器具 共



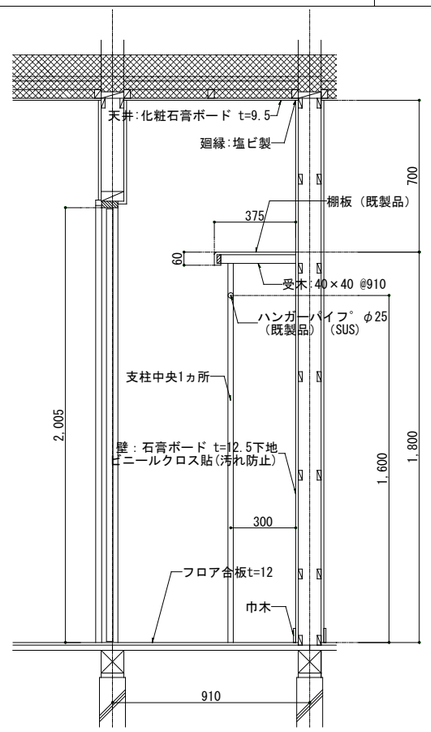
凡例

筋かい位置を示す

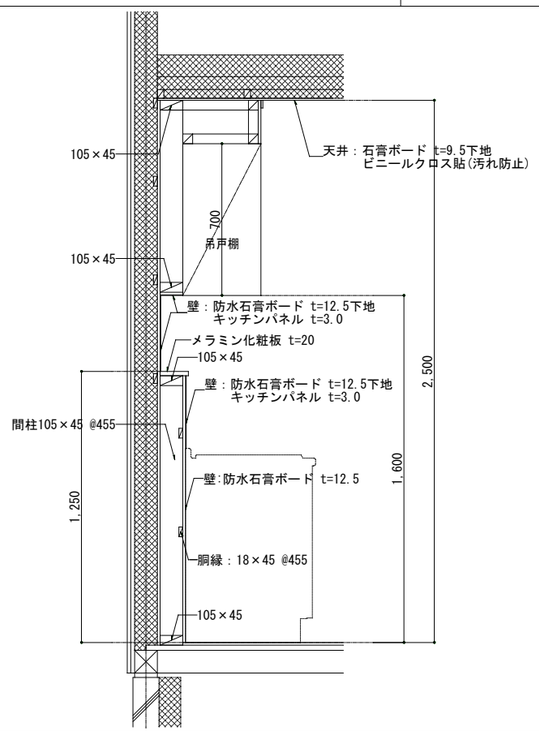
※図面は①～⑨通り間を作図している。

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR. NO. A-24
DATE R07.05	展開図・3　SCALE (A2) 1/50 (A3) 1/70.7
	館山良子
	株式会社 青和設計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子

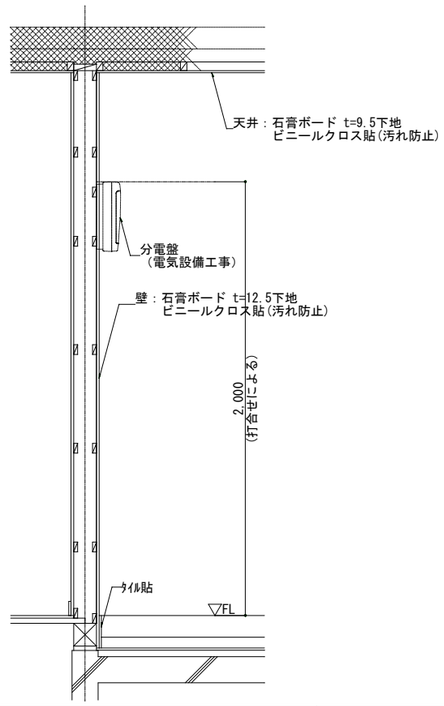
クローゼット断面詳細図　S=1/20



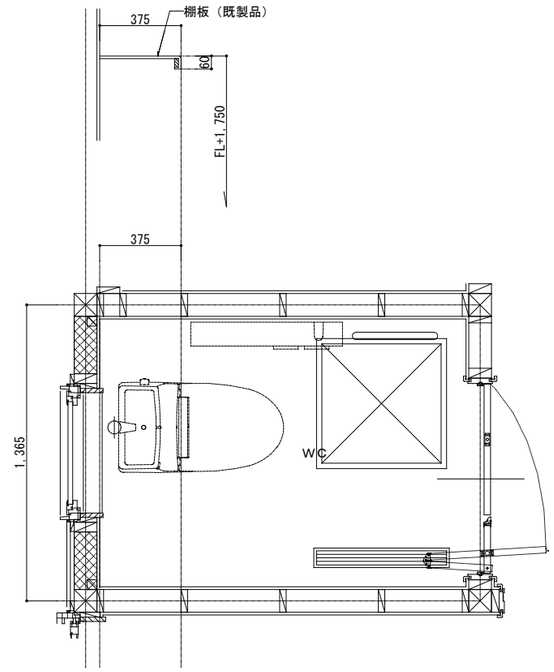
台所断面詳細図　S=1/20



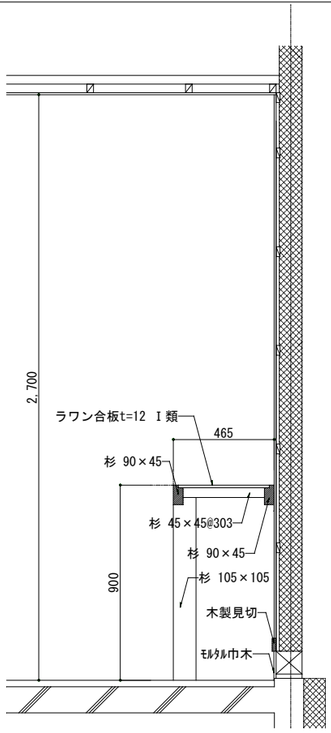
玄関分電盤位置詳細図　S=1/20



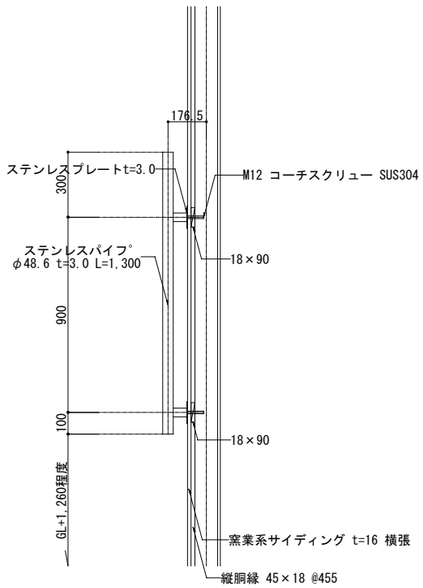
トイレ棚詳細図　S=1/20



外部物置中段詳細図　S=1/20

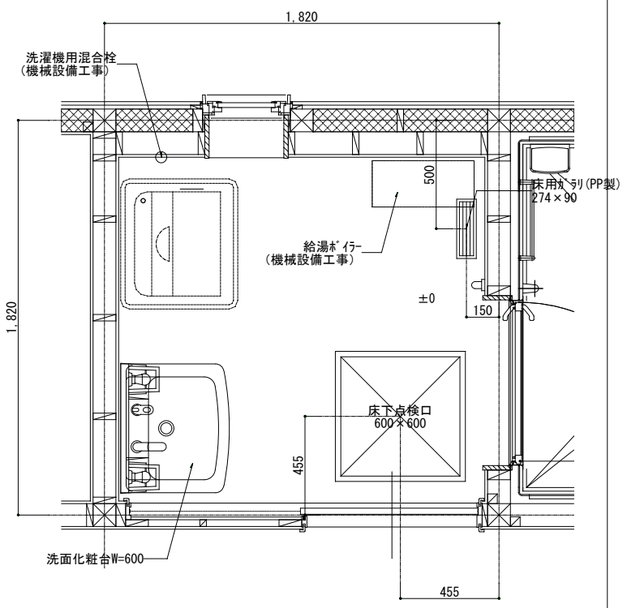


アンテナ取付用バー詳細図　S=1/20

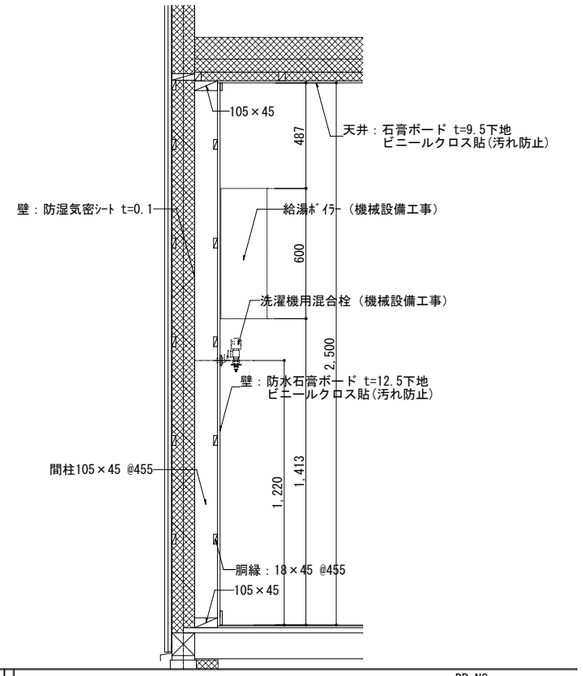


※アンテナ取付用バー上端は、隣接する建具上端に合わせること。

脱衣室平面詳細図　S=1/20



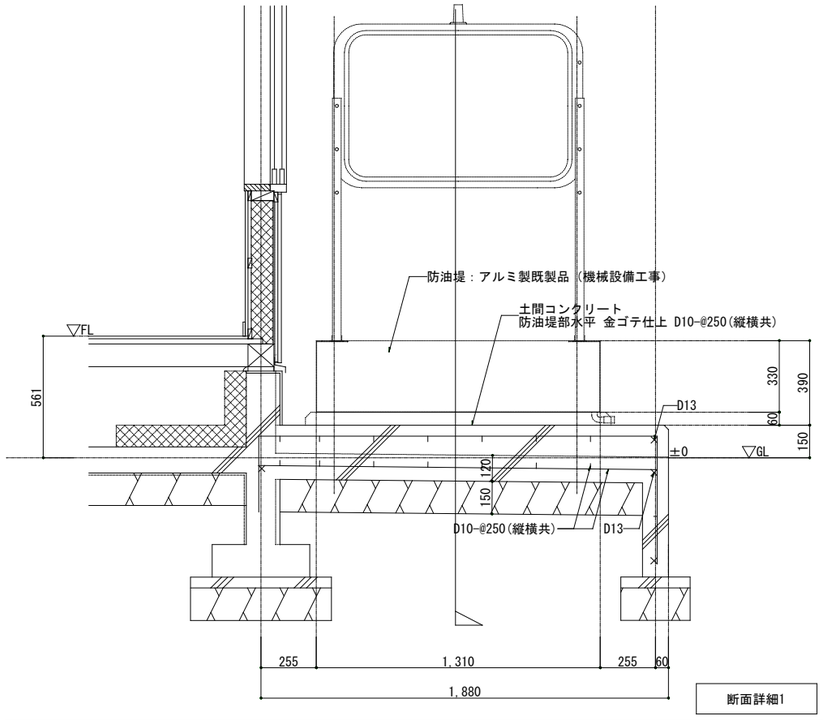
脱衣室断面詳細図　S=1/20



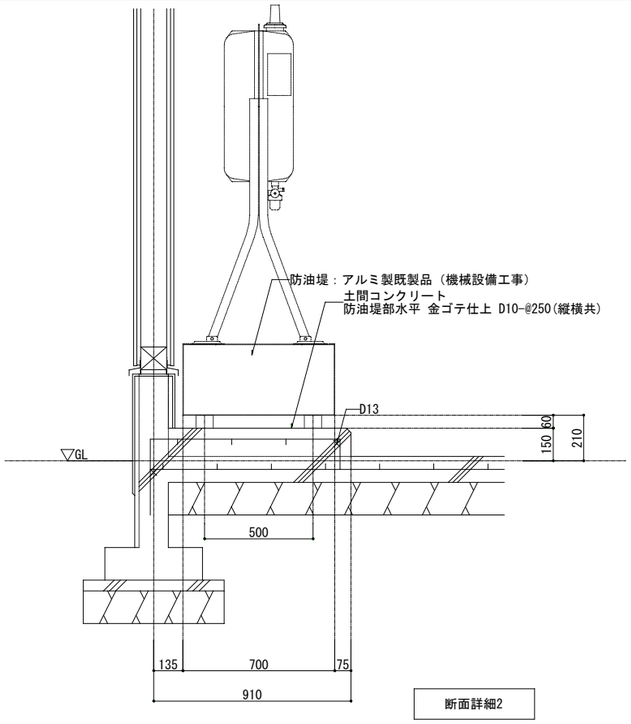
No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-25
DATE R07.05	部分詳細図・1　SCALE (A2) 1/20 (A3) 1/28.3
	舘.築.
	株式会社 青 和 設 計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　管理建築士 舘 山 良 子

防油堤詳細図

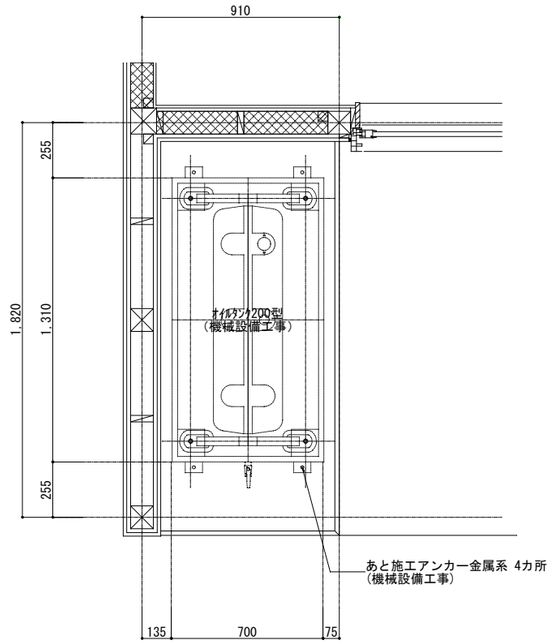
S=1/20



断面詳細1



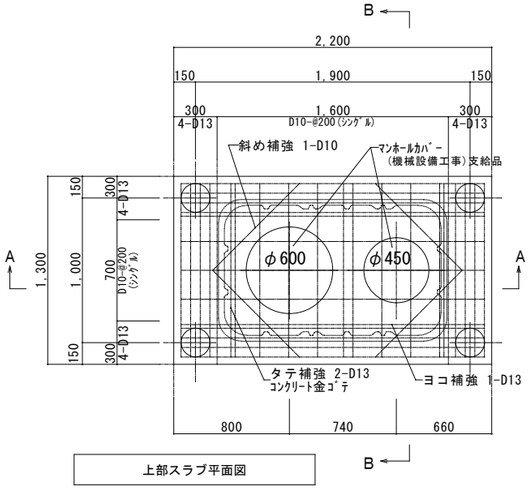
断面詳細2



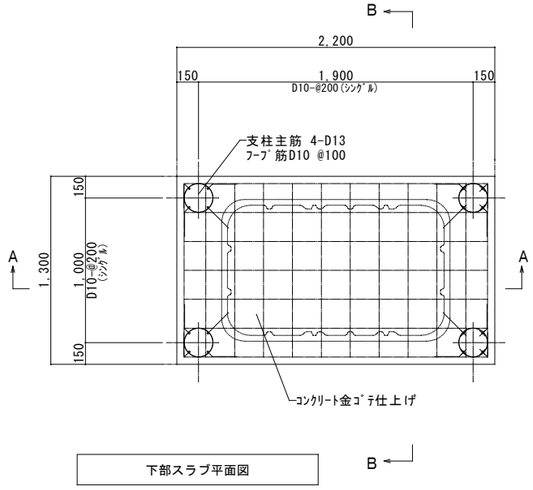
平面詳細

浄化槽躯体詳細図

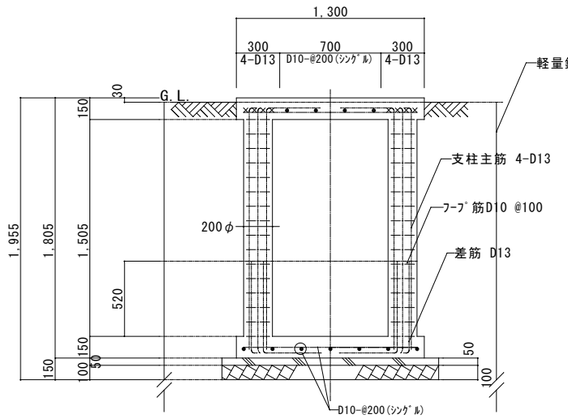
S=1/30



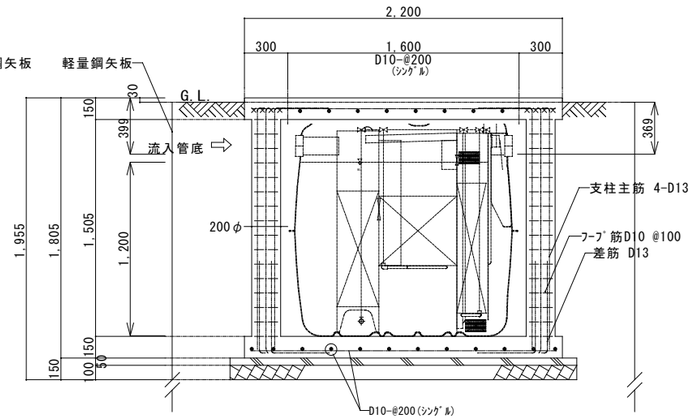
上部スラブ平面図



下部スラブ平面図



B－B 断 面 図



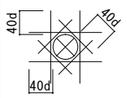
※浄化槽周りの砂充てんは建築工事とする

A－A 断 面 図

注） 斜め補強筋どおしは交差させない。

配筋仕様表

名 称	記 号	寸法 mm	配 筋 仕 様	開口部補強筋
スラブ		厚150	主筋 D10 @200 配力筋 D10 @200	
底 版		厚150	主筋 D10 @200 配力筋 D10 @200	
支 柱		φ200	主筋 4-D13 フープ D10 @100	



ヨコ筋 1－D13
タテ筋 2－D13
斜 筋 1－D10

使用材料共通事項

材料名称	強度 または 種類
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc: 24 N/mm2
捨ﾃｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc: 18 N/mm2
鉄 筋	SD295

上蓋仕様表

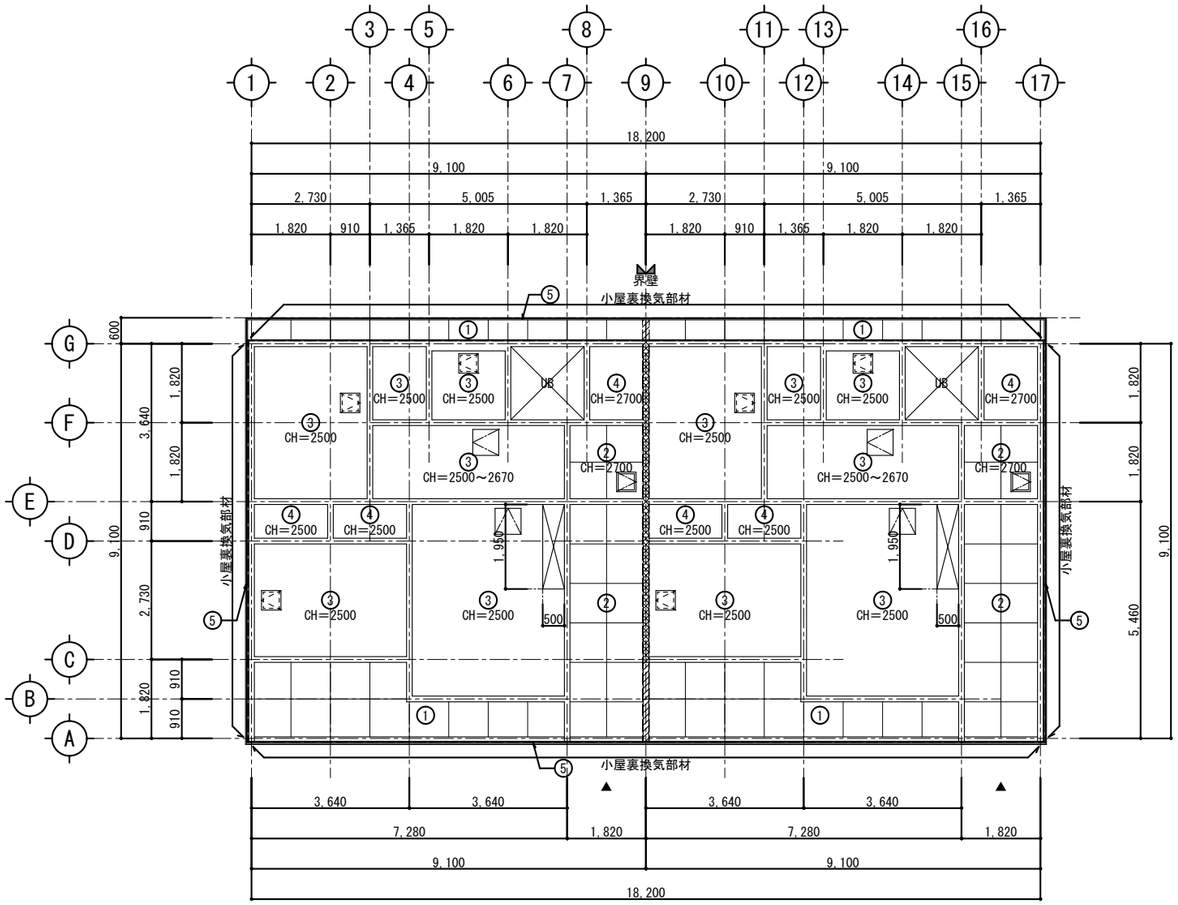
名称	寸法	数量	材質	安全荷重	備考
ﾏﾝﾎｰﾙｶﾊﾞｰ支給	φ600	1	樹脂	1.5kN	
(機械設備工事)	φ450	1			

軽量鋼矢板

3．00H＝11．00m

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-26
DATE R07.05	部分詳細図・2 SCALE (A2)1/30 1/20 (A3)1/42.4 1/28.3

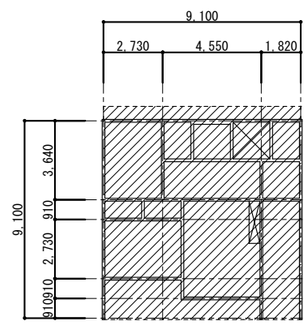
株式会社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子



天井伏図 1/100

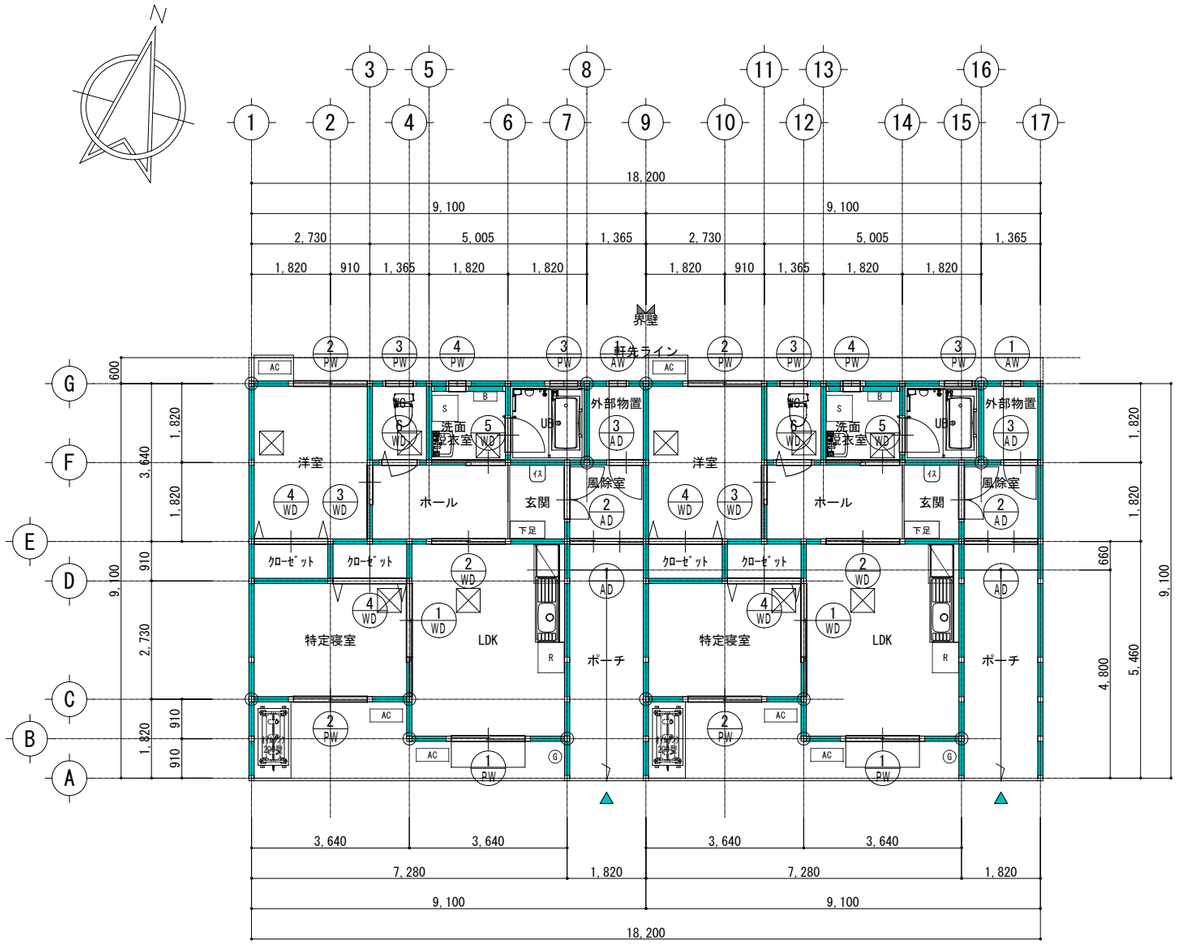
凡　例	
①	化粧パルプ繊維混入セメント板(木目調)t=12.0
②	化粧パルプ繊維混入セメント板(エンボス調)t=12.0
③	石膏ボードt=9.5　ビニール壁紙張り(汚れ防止)
④	化粧石膏ボードt=9.5
⑤	破風・唐草：塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ- 亜鉛合金めっき鋼板 t=0.4 包
▷	天井点検口 600×600 アルミ製(断熱タイプ)　4ヶ所
⊠	天井点検口 450×450 アルミ製(断熱タイプ)　6ヶ所
⊠	天井点検口 450×450 アルミ製(一般タイプ)　2ヶ所
═══	小屋裏換気部材　18×40×1820 有効開口面積 142.0cm²/m (イーヴスベンツ585同等品)
▩	界壁
▨	界壁(小屋裏)

小屋裏換気計算 (天井面積1/250)		※界壁にて分けるものとする
換気種類		小屋裏換気部材 有効換気量 0.0142㎡/m
軒裏換気		
天井面積		必要面積=天井面積/250
天井面積：	9.100 × (9.100 ＋ 0.600) ＝ 88.2700	
	＝ 88.27 ㎡	88.27 / 250 ＝ 0.353㎡
	有効面積	判定
有効面積：	0.0142 × 27.300ｍ ＝ 0.3876　＝ 0.387 ㎡	0.387 ＞ 0.353 (1.09/250) OK



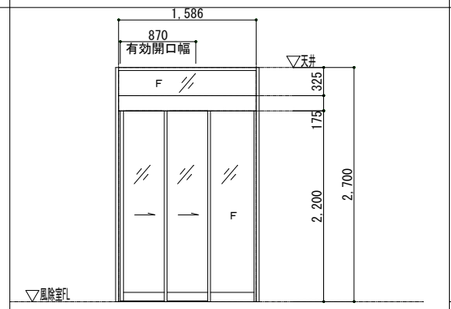
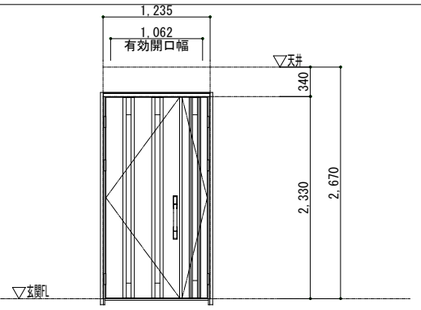
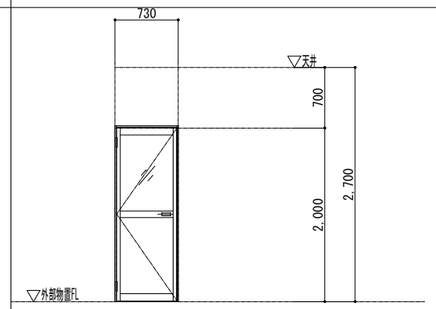
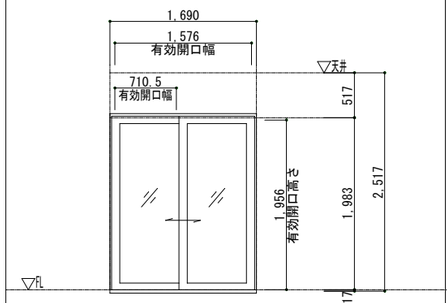
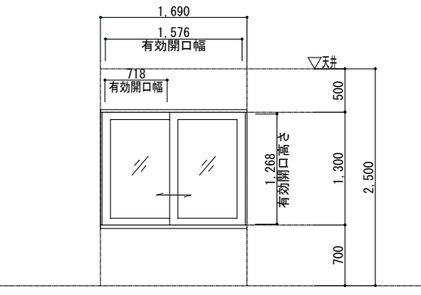
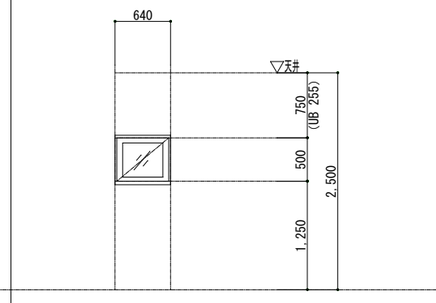
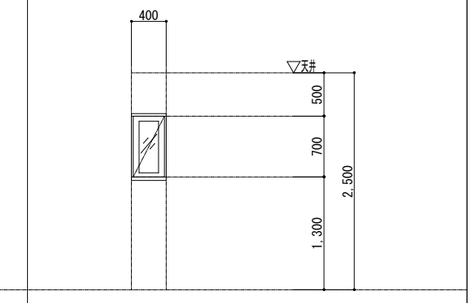
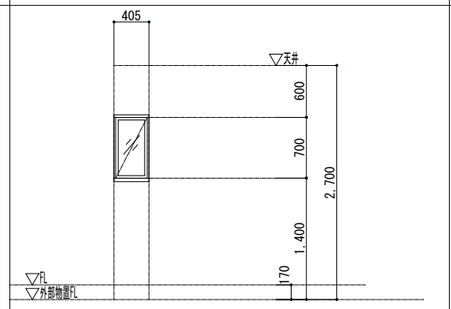
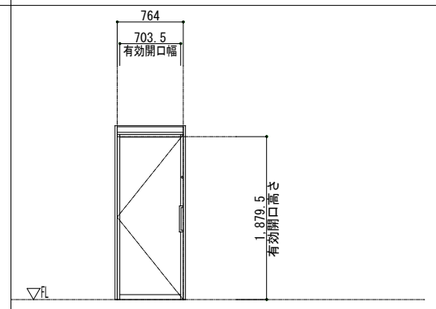
天井面積算定図 1/200

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. A-27
DATE R07.05	天井伏図　SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	館.愛.
	株式会社 青 和 設 計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
	管理建築士 館 山 良 子

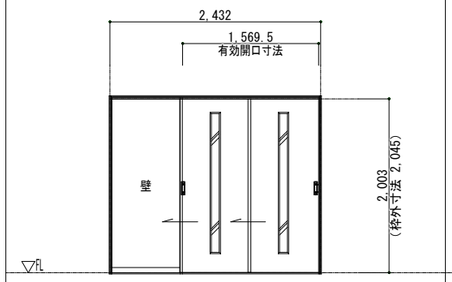
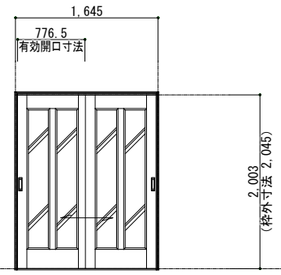
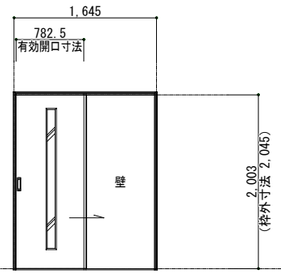
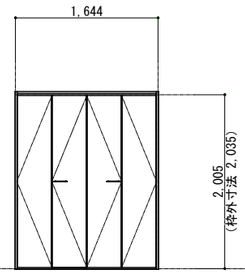
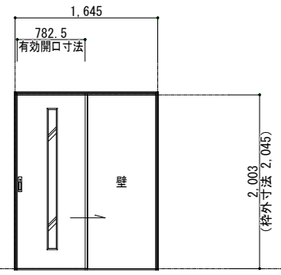
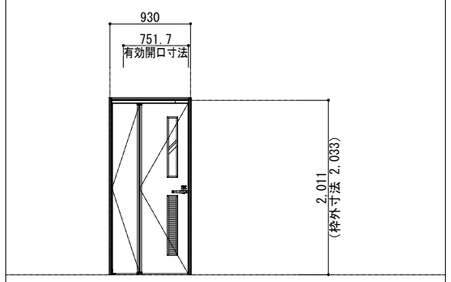


建具キープラン　1/100

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. A-28
DATE R07.05	建具キープラン　SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	舘.築.
	株式会社 青和設計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)

記号・ヶ所	AD-1　2ヶ所	AD-2　2ヶ所	AD-3　2ヶ所		
姿　図					
使用箇所	風除室	玄関　日射熱所得率0.08	外部物置		
見込・形式	住宅用　ランマ付上吊式ハンガー2枚引込戸（YKKAP セフターⅢ同等以上）	住宅用　親子ドア　（三協立山㈱ﾌｧﾉｰﾊﾞ2同等以上）	住宅用　片開きドア（半外付）　（三協立山㈱MTﾄﾞｱ同等以上）		
硝子・仕上	透明ガラス t=5　アルミ製（ブラック）	複層ガラスLow-E t=3 + A16 + 型板ガラス t=4　アルミ製	型板ガラス t=4　腰：アルミパネル t=3　アルミ製（ブラック）		
金　物	戸先錠、他必要金物一式	シリンダー錠、サムターン、ＤＣ、フランス落し、ハンドル、他必要金物一式	レバーハンドル、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ＤＣ、ｽﾃﾝﾚｽ下枠		
備　考	ー	耐風圧性 S-3等級、気密性 A-4等級、水密性 W-2等級 遮音性 音環境透過損失等級(外壁開口部) 等級2 熱貫流率2.29W/(㎡・K)以下　Ｋ２仕様			
記号・ヶ所	PW-1　2ヶ所	PW-2　4ヶ所	PW-3　4ヶ所	PW-4　2ヶ所	
姿　図					
使用箇所	LDK　日射熱所得率0.29 日射遮蔽型	特定寝室、洋室　日射熱所得率0.29 日射遮蔽型	WC、UB　日射熱所得率0.29 日射遮蔽型	洗面脱衣室　日射熱所得率0.29 日射遮蔽型	
見込・形式	住宅用　樹脂引違いテラス戸（半外付）（三協立山㈱ｽﾏｰｼﾞｭⅡ同等以上）	住宅用　樹脂引違い窓（半外付）　（三協立山㈱ｽﾏｰｼﾞｭⅡ同等以上）	住宅用　すべり出し窓（半外付）　（三協立山㈱ｽﾏｰｼﾞｭⅡ同等以上）	住宅用　すべり出し窓（半外付）　（三協立山㈱ｽﾏｰｼﾞｭⅡ同等以上）	
硝子・仕上	複層ガラスLow-E t=3 + G16 + 透明ガラス t=3　樹脂製（ﾌﾞﾗｯｸ/ﾎﾜｲﾄ）	複層ガラスLow-E t=3 + G16 + 透明ガラス t=3　樹脂製（ﾌﾞﾗｯｸ/ﾎﾜｲﾄ）	複層ガラスLow-E t=3 + G15 + 型板ガラス t=4　樹脂製（ﾌﾞﾗｯｸ/ﾎﾜｲﾄ）	複層ガラスLow-E t=3 + G15 + 型板ガラス t=4　樹脂製（ﾌﾞﾗｯｸ/ﾎﾜｲﾄ）	
金　物	クレセント、大型ハンドル、他必要金物一式	クレセント、他必要金物一式	ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾛｰﾙ網戸、他必要金物一式	ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾛｰﾙ網戸、他必要金物一式	
備　考	耐風圧性 S-3等級、気密性 A-4等級、水密性 W-4等級 遮音性 音環境透過損失等級(外壁開口部) 等級2　熱貫流率1.35W/(㎡・K)以下	耐風圧性 S-3等級、気密性 A-4等級、水密性 W-4等級 遮音性 音環境透過損失等級(外壁開口部) 等級2　熱貫流率1.35W/(㎡・K)以下	耐風圧性 S-3等級、気密性 A-4等級、水密性 W-4等級 遮音性 音環境透過損失等級(外壁開口部) 等級2　熱貫流率1.27W/(㎡・K)以下	耐風圧性 S-3等級、気密性 A-4等級、水密性 W-4等級 遮音性 音環境透過損失等級(外壁開口部) 等級2　熱貫流率1.27W/(㎡・K)以下	
記号・ヶ所	AW-1　2ヶ所		（UB参考）　（2ヶ所）		
姿　図					
使用箇所	外部物置		UB		
見込・形式	住宅用　すべり出し窓（半外付）　（三協立山㈱ﾏﾃﾞｨｵS同等以上）		UB用　片開戸		
硝子・仕上	型板ガラス t=4　アルミ製（ﾌﾞﾗｯｸ）		ー（ｱｸﾘﾙ板）　樹脂製		
金　物	ｶﾑﾗｯﾁﾊﾝﾄﾞﾙ、他必要金物一式		引手、他必要金物一式		
備　考					

No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. A-29
DATE　R07.05	建具表・1　SCALE (A2) 1/50 (A3) 1/70.7
	株式会社　青和設計　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号 管理建築士　舘山良子

記号・ヶ所	WD-1　2ヶ所	WD-2　2ヶ所	WD-3　2ヶ所	WD-4　4ヶ所	WD-5　2ヶ所
姿　図					
使用箇所	LDK	LDK	洋室	クローゼット	洗面脱衣室
見込・形式	28.4　木製２枚片引き戸	28.4　木製引違い戸	28.4　木製片引き戸	25.4　木製折戸	28.4　木製片引き戸
硝子・仕上	スチレン系樹脂(ﾐｽﾄ調半透明)　樹脂化粧シート貼	熱処理型板ガラス(ﾐｽﾄ調半透明)　樹脂化粧シート貼	スチレン系樹脂(ﾐｽﾄ調半透明)　樹脂化粧シート貼	ー　樹脂化粧シート貼	スチレン系樹脂(ﾐｽﾄ調半透明)　樹脂化粧シート貼
金　物	引手、戸車、敷居(ﾌﾞﾛﾝｽﾞﾚｰﾙ)、見切枠	引手、戸車、敷居(ﾌﾞﾛﾝｽﾞﾚｰﾙ)、見切枠	引手、戸車、敷居(ﾌﾞﾛﾝｽﾞﾚｰﾙ)、見切枠	ﾊﾝﾄﾞﾙ、付属金物一式、見切(B)枠(三方枠)	引手(鍵付き)、戸車、敷居(ﾌﾞﾛﾝｽﾞﾚｰﾙ)、見切枠
備　考	既成建具Ｆ☆☆☆☆	既成建具Ｆ☆☆☆☆	既成建具Ｆ☆☆☆☆	既成建具Ｆ☆☆☆☆	既成建具Ｆ☆☆☆☆
記号・ヶ所	WD-6　2ヶ所				
姿　図					
使用箇所	WC				
見込・形式	30　木製折れ戸				
硝子・仕上	スチレン系樹脂(ﾐｽﾄ調半透明)　樹脂化粧シート貼				
金　物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、表示錠、丁番、見切枠				
備　考	既成建具Ｆ☆☆☆☆				
記号・ヶ所					
姿　図					
使用箇所					
見込・形式					
硝子・仕上					
金　物					
備　考					

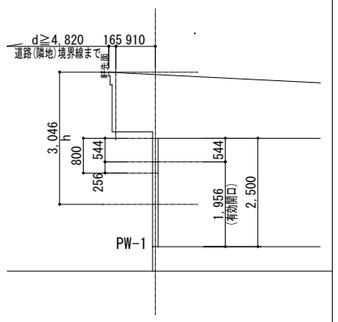
No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO.　A-30
DATE　R07.05	建具表・2　SCALE　(A2)1/50　(A3)1/70.7
	館山良子
	株式会社　青和設計　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号 管理建築士　館山良子 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)

算 定 図　S=1/100

LDK

採光補正係数 (d/h)×10-1.0
(4.82 /3.046)×10-1.0= 14.8240

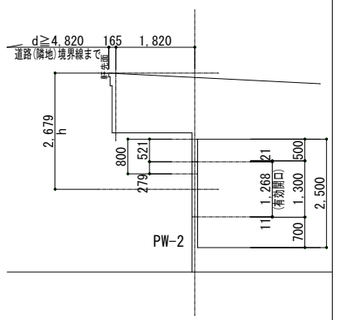
∴ 3.0



特定寝室

採光補正係数 (d/h)×10-1.0
(4.82 /2.679)×10-1.0= 16.9917

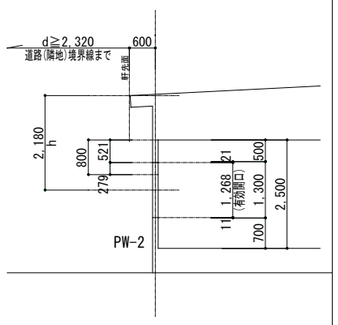
∴ 3.0



洋室

採光補正係数 (d/h)×10-1.0
(2.32 /2.679)×10-1.0= 7.6599

∴ 3.0

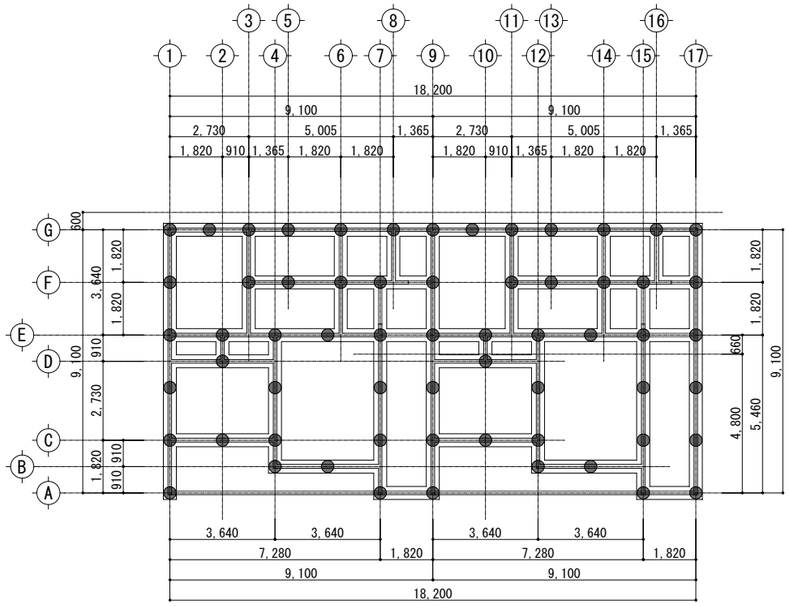


室名･面積	採光計算	排煙計算	換気計算
LDK　(PW-1) 床面積 3.640×4.550＝16.5620 計16.5620 16.56 ㎡	必要面積 16.56 × 1/7 ＝2.3657 2.37 ㎡	必要面積 16.56 × 1/50 ＝0.3312 0.34 ㎡	必要面積 16.56 × 1/20 ＝0.8280 0.83 ㎡
	有効面積 1.576 × 1.956 × 3.0 ＝9.2479 9.24 ㎡	有効面積 0.710 × 0.256＝0.1817 0.18 ㎡	有効面積 0.710 × 1.956＝1.3887 1.38 ㎡
	判定 2.37 ＜ 9.24　ＯＫ	判定 0.34 ＞ 0.18　ＮＧ ※令116条の2 1項二号の開口部なし → 令126条の2 1項五号、建告H12年1436号1項四号イより排煙設備は設置免除	判定 0.83 ＜ 1.38　ＯＫ
特定寝室 (PW-2) 床面積 3.640×2.730＝ 9.9372 9.93 ㎡	必要面積 9.93 × 1/7 ＝1.4185 1.42 ㎡	必要面積 9.93 × 1/50 ＝0.1986 0.20 ㎡	必要面積 9.93 × 1/20 ＝0.4965 0.50 ㎡
	有効面積 1.576 × 1.268 × 3.0 ＝5.9951 5.99 ㎡	有効面積 0.718 × 0.279＝0.2003 0.20 ㎡	有効面積 0.718 × 1.268＝0.9104 0.91 ㎡
	判定 1.42 ＜ 5.99　ＯＫ	判定 0.20 ＜ 0.20　ＯＫ	判定 0.50 ＜ 0.91　ＯＫ
洋室　(PW-2) 床面積 2.730×3.640＝ 9.9372 9.93 ㎡	必要面積 9.93 × 1/7 ＝1.4185 1.42 ㎡	必要面積 9.93 × 1/50 ＝0.1986 0.20 ㎡	必要面積 9.93 × 1/20 ＝0.4965 0.50 ㎡
	有効面積 1.576 × 1.268 × 3.0 ＝5.9951 5.99 ㎡	有効面積 0.718 × 0.279＝0.2003 0.20 ㎡	有効面積 0.718 × 1.268＝0.9104 0.91 ㎡
	判定 1.42 ＜ 5.99　ＯＫ	判定 0.20 ＜ 0.20　ＯＫ	判定 0.50 ＜ 0.91　ＯＫ

※火気使用室の換気設備の検討
Ｖ＝３０ＫＱ
Ｖ：有効換気量［m3/時］
Ｋ：理論廃ガス量［m3］　0.93（ＬＰガス）
Ｑ：燃焼器具の燃料消費量［KW･kg/時］　8.6（2口コンロで仮定）

Ｖ＝30×0.93×8.6＝239.94m3/ｈのレンジフード使用
レンジフード　風量480m3/h
239.94m3/h＜480m3/h　ＯＫ

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. A-31
DATE R07.05	採光･排煙･換気検討書　SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	館山良子
	株式会社 青和設計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子



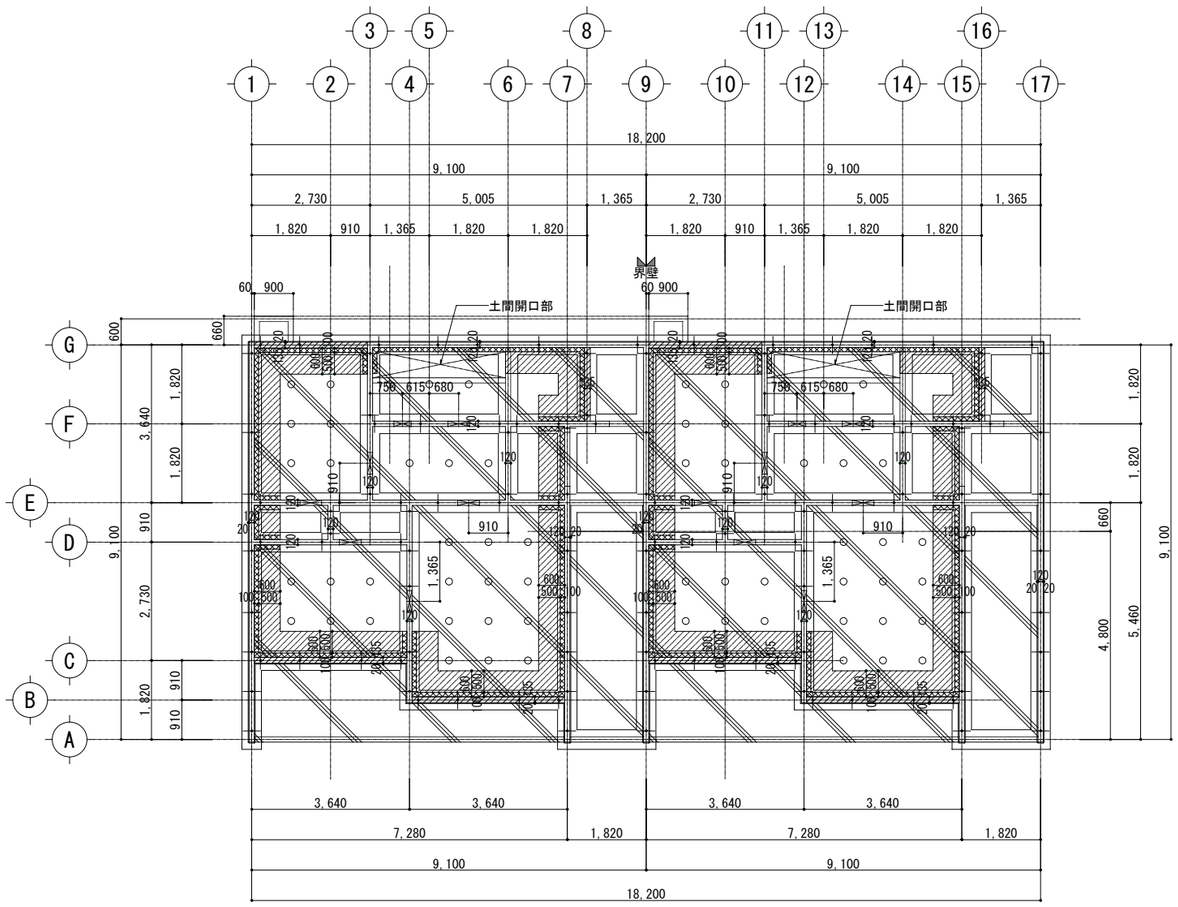
杭伏図　　1/150

杭要領（6号棟）

工　法	オーガ併用圧入工法（H-CP工法同等以上）			
杭　種	Ｈ型ＰＣパイル　200×200			
記　号	杭　長		支持力	杭本数
●	6.5 m	62 本	45.0 kN/本	62 本

（地盤補強として打設）

・高止まりした場合は精度よく切断すること。
・杭位置を施工前に監督員立会いのもと確認すること。
・ベース方向と垂直に芯ずれ100mmを超えた場合、監督員と協議しベース補強すること。
・設計深度に致達しても設計支持力を満たさない場合設計支持力を確認できる深度まで圧入し打止め完了すること。
・杭頭レベルが−50mmを超えた場合、監督員と協議し杭頭補強すること。



基礎伏図　　1/100

特記外事項

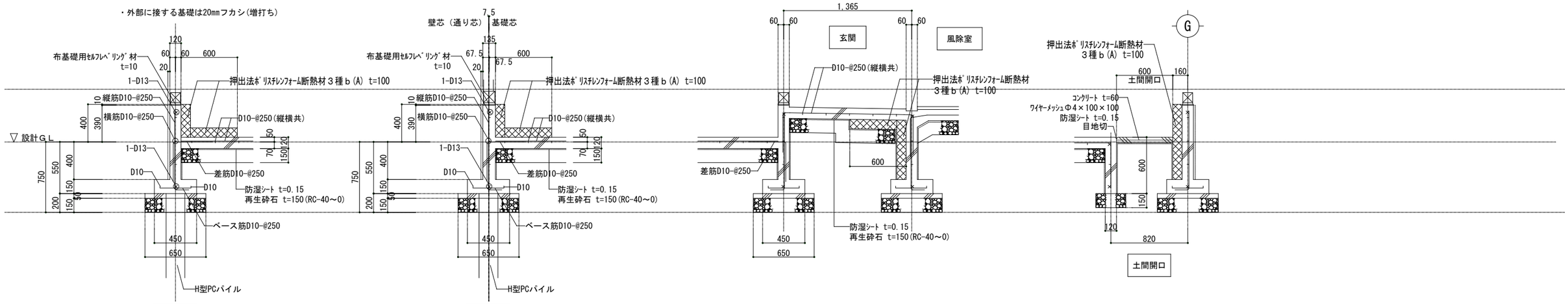
1，　：フーチング付布基礎 W=120
2，　：フーチング付布基礎 W=135
3，　：フーチング付布基礎
4，　：樹脂製既製束　H=370　60ヶ所
5，　：通気口（H350×W400、500）
6，　：土間コンクリート　ｔ＝１２０
7，　：土間開口部 防湿コンクリート t=60
　　（ワイヤーメッシュ φ4×100×100）
8，　：基礎立上 内側断熱材
　　押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂ(A) t=100
9，　：土間底板 敷込み断熱材　W=600
　　押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂ(A) t=100

設計図書に記されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「木造建築工事標準仕様書」及び同監修「鉄筋コンクリート構造配筋要領」による。

Ⅰ　使　用　材　料	
基礎コンクリート	ＦＣ＝２４Ｎ／mm^2（ＳＬ＝１５）
土間コンクリート	ＦＣ＝２４Ｎ／mm^2（ＳＬ＝１５）
捨てコンクリート	ＦＣ＝１８Ｎ／mm^2（ＳＬ＝１５）
鉄　筋	ＳＤ２９５Ａ(重ね継手40d､コーナー40d) @250
砕石(基礎･土間下)	再生砕石（ＲＣ－４０～０） ソイルコンパクター又はランマーにて十分締め固める。
アンカーボルト	Ｍ１２　Ｌ＝４００　品質:亜鉛メッキ処理 JIS B 1180　　埋込み長さ:250mm
布基礎立上り外周部(ﾎﾞｰﾁ)	コンクリート増打ち t=20

アンカーボルトの設置位置
・筋違いを設けた耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近隣下位置に柱から20ｃｍ程度の位置に設けること。
・土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の上木端部に設けること。
・上記以外部分においては、間隔2.73m以内に設けること。
・配置取付けは、墨出しをし精度良くｺﾝｸﾘｰﾄ打設前に、予め固定しておくこと。
・鉄筋の配筋については@250を厳守すること。

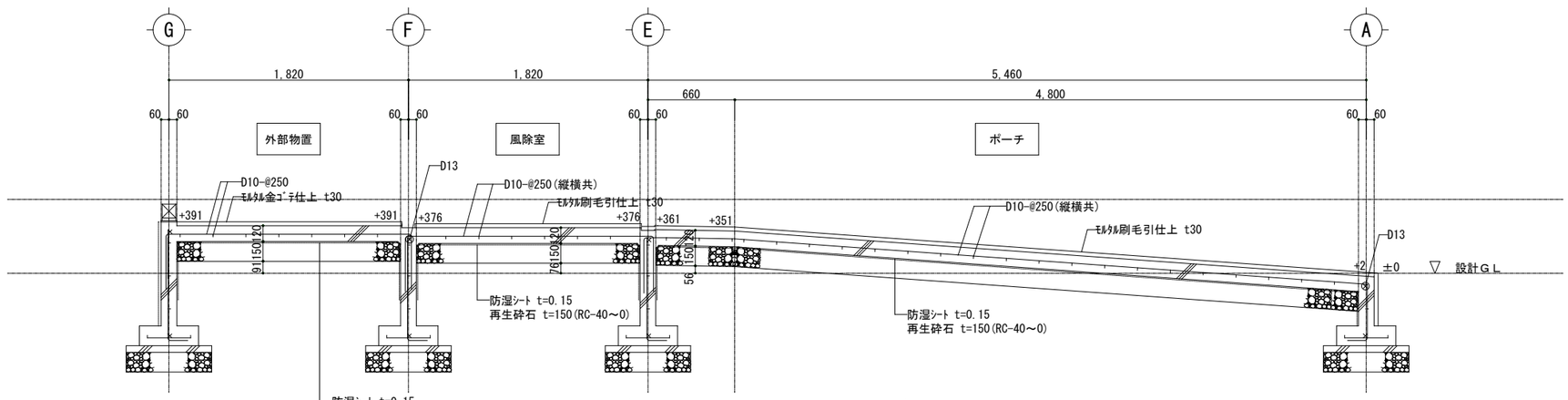
No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. S-01
DATE　R07.05	杭伏図･基礎伏図　SCALE (A2) 1/100　1/150 (A3) 1/141.4　1/212.1
	館山・加藤
	株式会社　青 和 設 計　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号 管理建築士　館 山 良 子



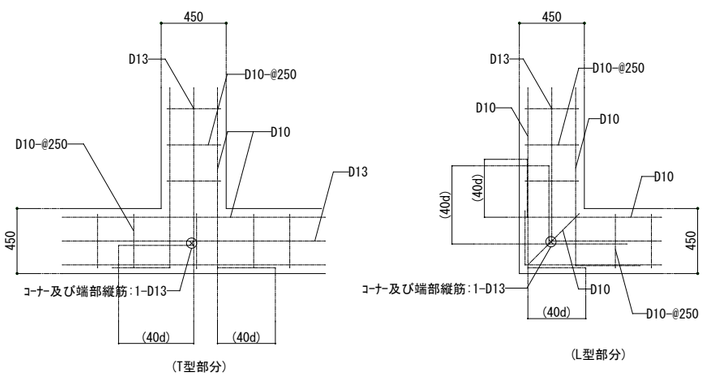
基礎詳細図 1/30

玄関土間断面図 1/30

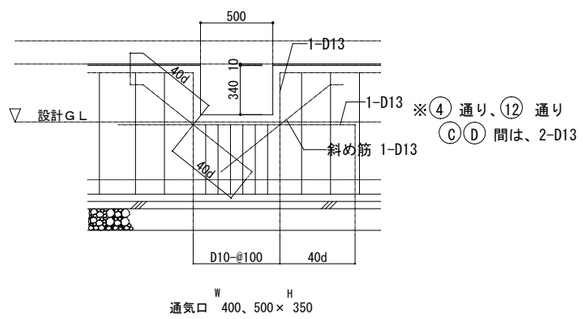
土間開口断面図 1/30



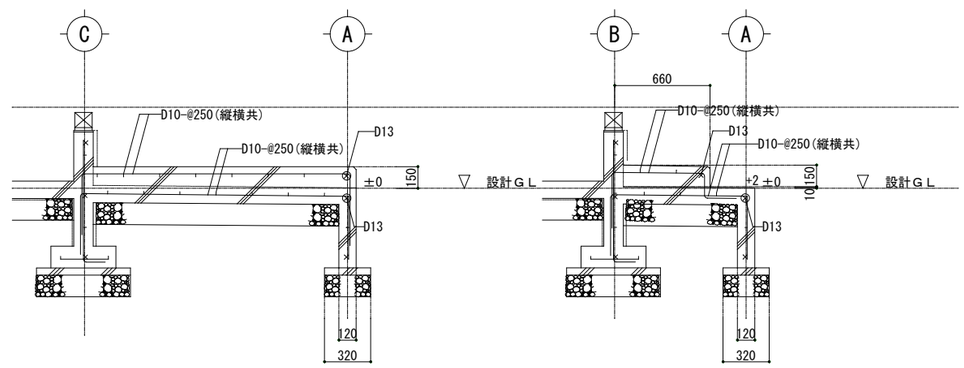
ポーチ・風除室 土間断面図 1/30



基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞ配筋図 1/30



通気口開口補強図 1/30

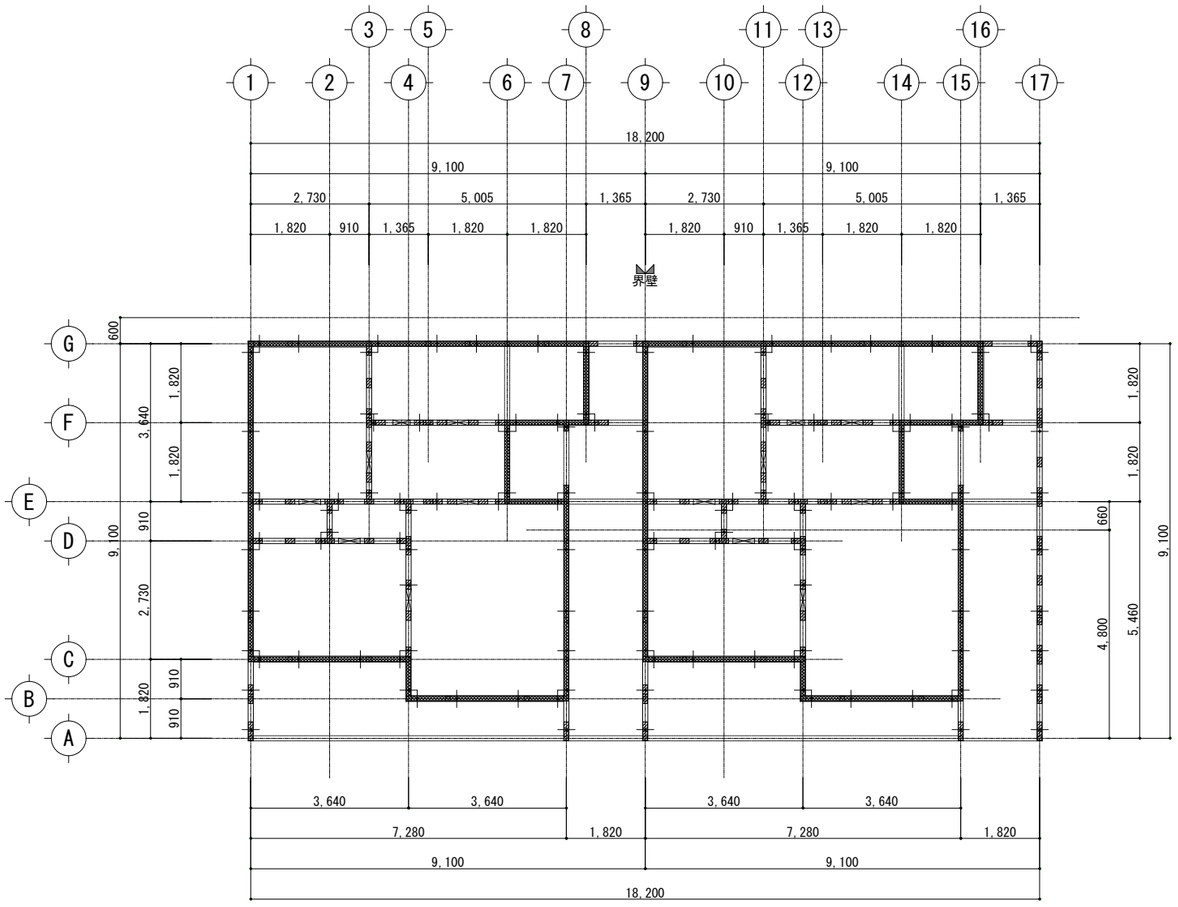


南側防油堤土間図 1/30

南側LDK出入り土間図 1/30

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. S-02
DATE R07.05	基礎詳細図　SCALE (A2) 1/30 (A3) 1/42.4

株式会社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子



土台パッキン伏図　1/100

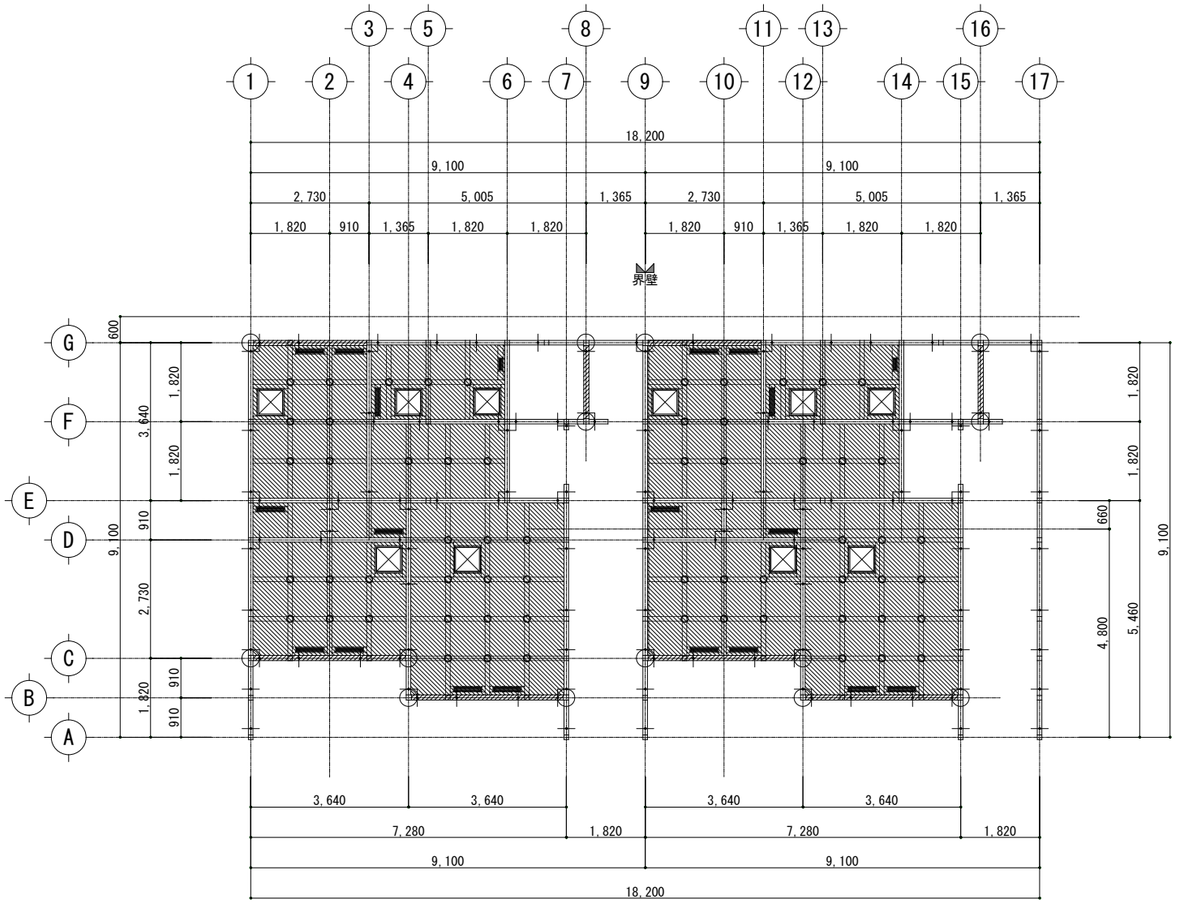
※凡例

気密ﾊﾟｯｷﾝ敷部分を示す。

基礎ﾊﾟｯｷﾝ敷部分を示す。

基礎ﾊﾟｯｷﾝは、柱下部･ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ据付部
土台継手部に設け、その他に@910以下
となるように設置すること。

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. S-03
DATE R07.05	土台パッキン伏図　SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	館山・加藤
	株式会社 青和設計　1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号　管理建築士 館山良子



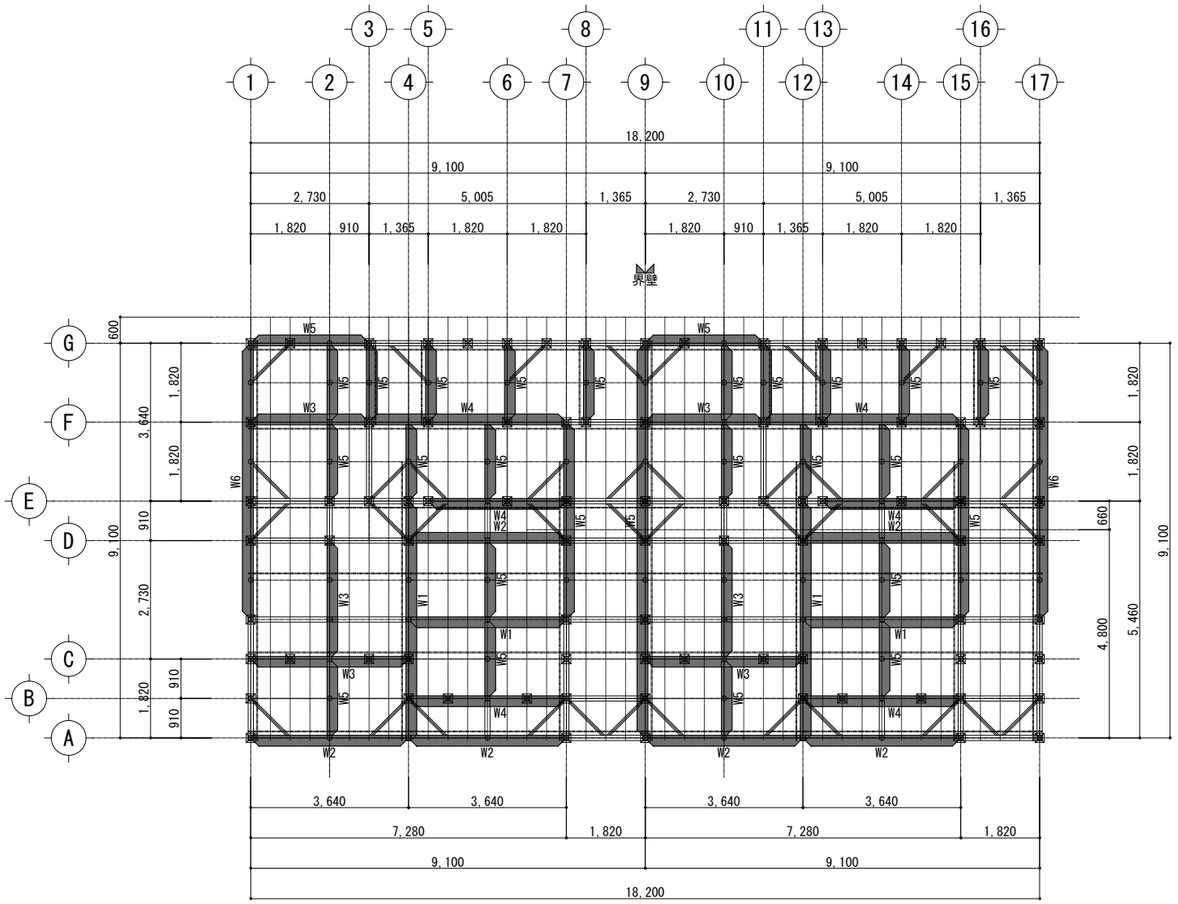
床伏図　1/100

柱の有効細長比の検討					
柱105角			柱120角		
断面積	A=	10.5×10.5＝110.25cm2	断面積	A=	12.0×12.0＝144.00cm2
断面二次半径	I=	10.5×10.5^3／12＝1012.92cm4	断面二次半径	I=	12.0×12.0^3／12＝1728.00cm4
	i=	√1012.92／110.25＝3.03cm		i=	√1728.00／144.00＝3.46cm
座屈長さ	Lk=	315－10.5－10.5＝294cm	座屈長さ	Lk=	315－10.5－10.5＝294cm
有効細長比	λ=	294.0／3.03　＝97.03＜150　∴OK	有効細長比	λ=	294.0／3.46　＝84.97＜150　∴OK

※ 凡　例

1. ：土台　105×105（ヒバ、青森県産材を使用）
2. ：土台　120×105（ヒバ、青森県産材を使用）
3. ：大引　105×105（ヒバ、青森県産材を使用）
4. ：床下ガラリ受・床合板受　90×45（ヒバ、青森県産材を使用）
5. ：管柱　105×105（ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材(E95-F315)）
6. ：隅柱　120×120（ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材(E95-F315)）
7. ：樹脂製既製束　H=370　60ヶ所
8. ：針葉樹構造用合板t=24張(本実) 特類2級
9. ：床下点検口　600×600
10. ：床用ガラリ　624.5×90 274×90

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図	DR. NO. S-04
DATE R07.05	床伏図	SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	株式会社 青 和 設 計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)	



小屋伏図　1/100

※ 凡　例

1．　：母屋　105×105@910（ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材）
2．　：垂木　45×75@455（ｽﾌﾟﾙｰｽ）
3．　：小屋筋違　105×18（杉）
4．　：小屋束　105×105@910（ｽﾌﾟﾙｰｽ）
5．　：火打金物 HB Zマーク品
6．　：105×105（ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材）
7．　：柱の位置を示す。
8．梁寸法は、部材リスト参照。

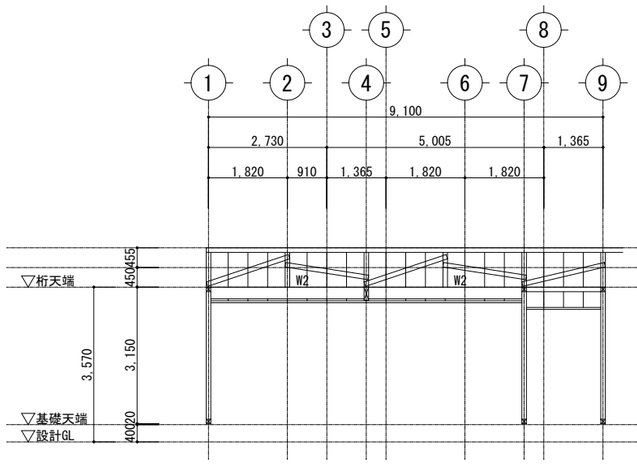
部材リスト

名称	寸法	材種	等級	備考	名称	寸法	材種	等級	備考
土台	１０５×１０５	ヒバ	特１等	JAS規格品 甲種２級（青森県産材を使用）	筋かい	９０×４５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
土台	１２０×１０５	〃	〃	〃	小屋筋違	１０５×１８　@１，８２０	杉	特１等	無等級（青森県産材を使用）
大引	１０５×１０５	〃	〃	〃	胴縁	４５×１８　@４５５	〃	〃	〃 〃
床合板受	９０×４５	〃	〃	〃	胴縁受(片面)	４５×４５	〃	〃	〃 〃
床下ガラリ受	９０×４５	〃	〃	〃	胴縁受(両面)	１０５×３０	〃	〃	〃 〃
柱	１０５×１０５	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E95-F315 同一等級構成集成材	野縁	４５×４５　@４５５	〃	〃	〃 〃
隅柱	１２０×１２０	〃	〃	〃	吊り木	４５×４５　@９１０	〃	〃	〃 〃
軒桁・つなぎ	１０５×１０５	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材	吊り木受	９０×４５　@９１０	〃	〃	〃 〃
小屋束	１０５×１０５　@９１０	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級	梁　W1	１０５×３００	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材
母屋	１０５×１０５　@９１０	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材	梁　W2	１０５×２７０	〃	〃	〃
垂木	４５×７５　@４５５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級	梁　W3	１０５×２４０	〃	〃	〃
間柱	１０５×３０　@４５５	〃	〃	〃	梁　W4	１０５×１８０	〃	〃	〃
マグサ	１０５×４５	〃	〃	〃	梁　W5	１０５×１５０	〃	〃	〃
窓台	１０５×４５	〃	〃	〃	梁　W6	１０５×１２０	〃	〃	〃
窓枠縦材	１０５×４５	〃	〃	〃					

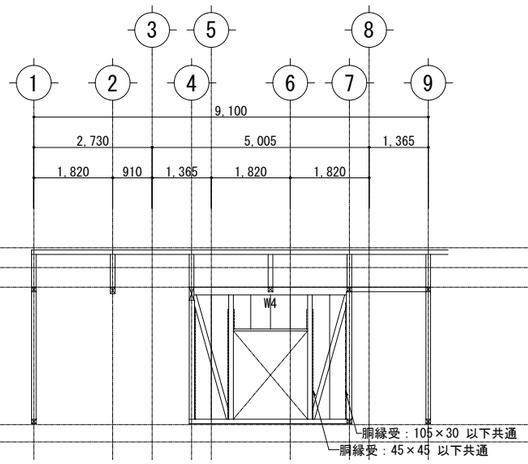
特記事項

1．材料の検査は使用予定材を使用部材別に揃え監督員の検査を受け、合格品を使用する。
2．材料加工は、監督員の検査後、合格した材料のみ使用すること。
3．材料の加工方法は、その部位毎に協議し監督員の承諾を得ること。
4．材料の仕口､継手は通常慣行方法によるが､必要に応じ金物を併用して堅固に取付ける。
　また 不要な欠込みは､絶対しない事。
5．その他疑意がある時は、事前に協議し監督員の承諾を得ること。
6．継手及び仕口部は、腰掛蟻継ぎ、若しくは大入れ蟻掛け＋羽子板ボルトまたは短冊金物とする。
　又、梁成300以上の梁は、羽子板ボルトまたは短冊金物を2枚使いとする。
7．小屋筋違は桁行方向@1,820、張間方向@3,640以内で設置し小屋束にN50-4本で留め付けること。
　X9通りは、界壁のため、小屋束を欠き込みして留め付けること。
8．設計ＧＬ＋１，０００mm迄、薬剤処理(JIS K 1571適合品を現場塗布) ２回塗(エコポロンＰＲＯ同等品)
　(土台、柱、間柱、筋違、大引、床合板受、床ガラリ受、通気胴縁)

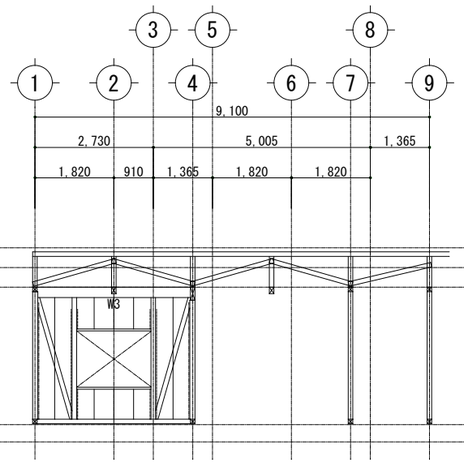
No.　24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. S-05
DATE　R07.05	小屋伏図･部材リスト　SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	館山・加藤・
	株式会社　青 和 設 計　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)　1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号　管理建築士　館 山 良 子



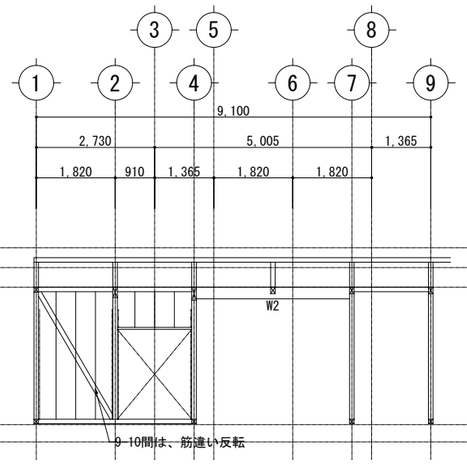
A通り軸組図 1/100



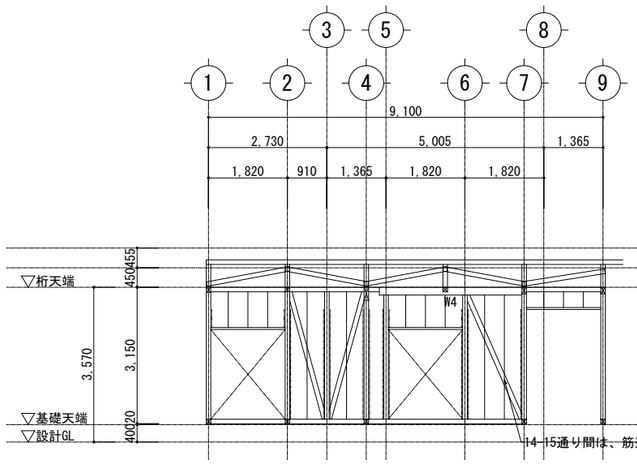
B通り軸組図 1/100



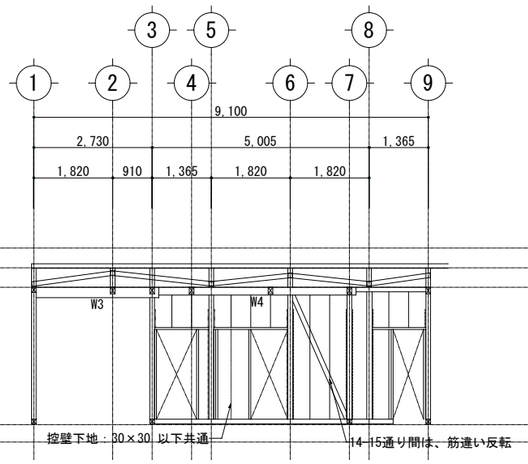
C通り軸組図 1/100



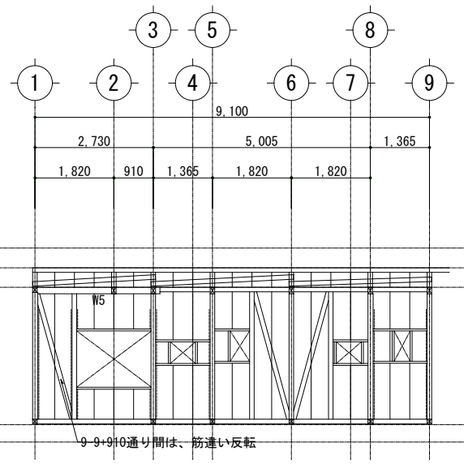
D通り軸組図 1/100



E通り軸組図 1/100

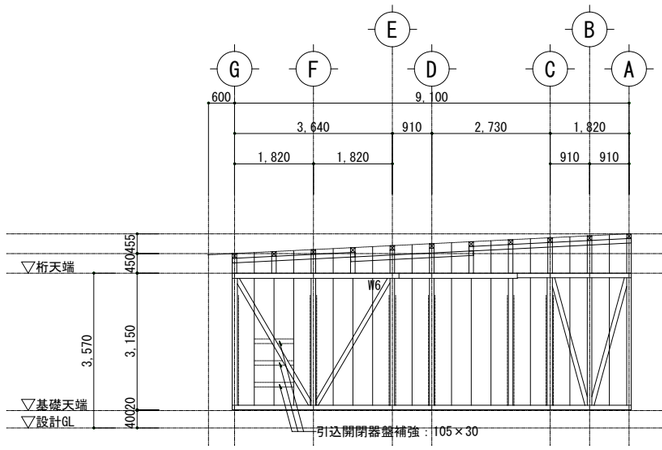


F通り軸組図 1/100

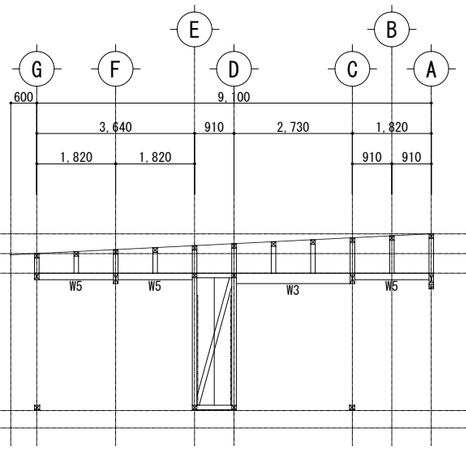


G通り軸組図 1/100

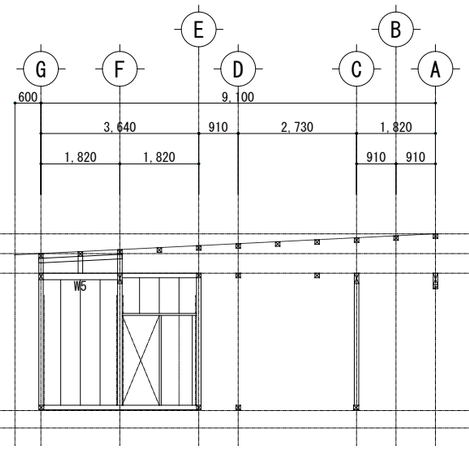
図は、① ～ ⑨通りまで作図している



1通り軸組図 1/100



2・10通り軸組図 1/100



3・11通り軸組図 1/100

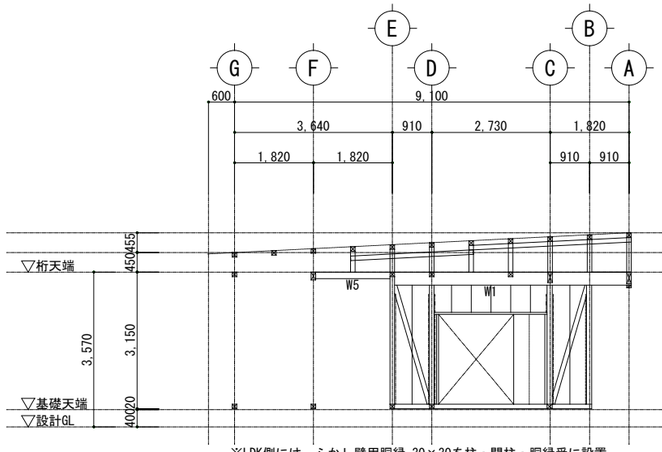
No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設計図　DR.NO. S-06

軸組図・1　SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4

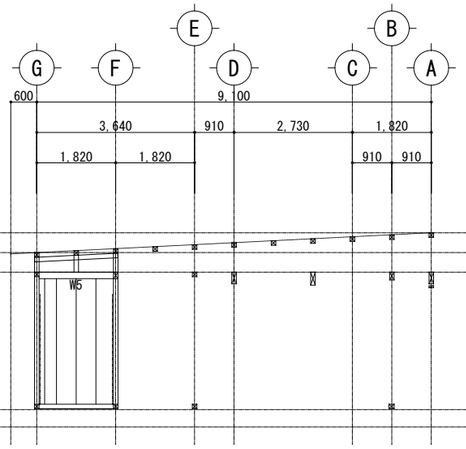
館山・加藤

株式会社 青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 館山良子

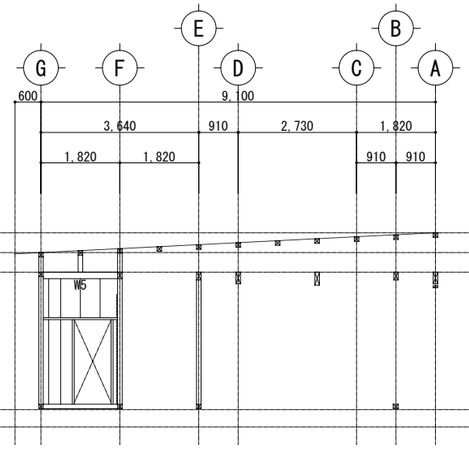


※LDK側には、ふかし壁用胴縁 30×30を柱・間柱・胴縁受に設置

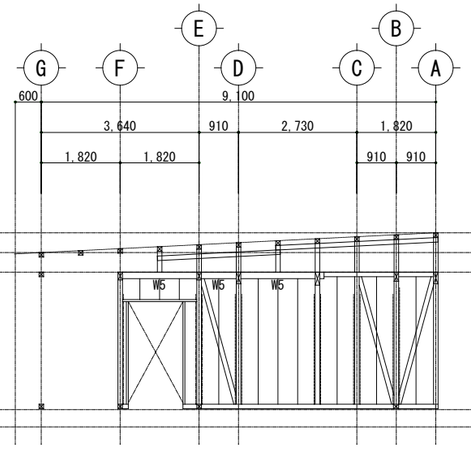
4・12通り軸組図 1/100



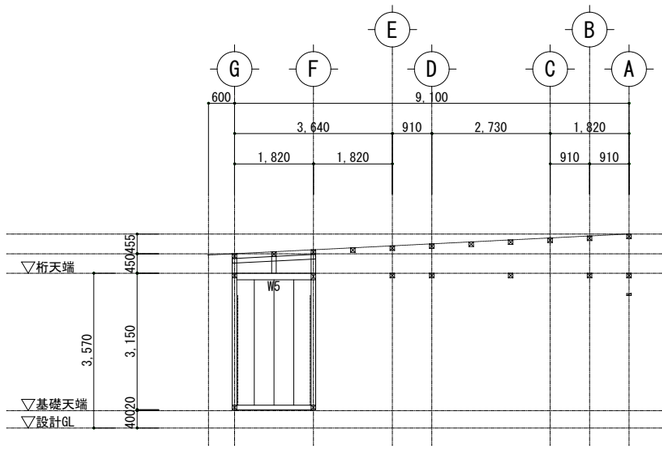
5・13通り軸組図 1/100



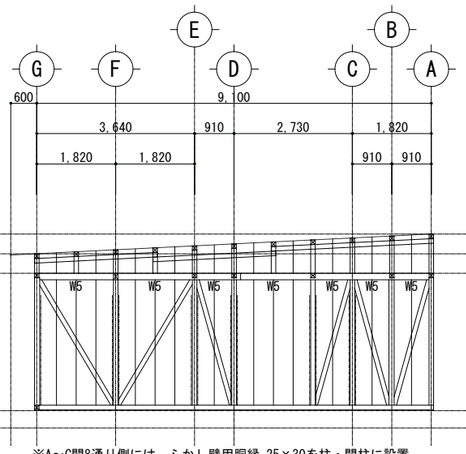
6・14通り軸組図 1/100



7・15通り軸組図 1/100

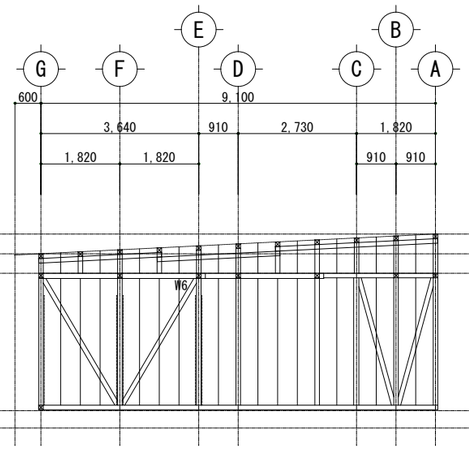


8・16通り軸組図 1/100



※A～C間8通り側には、ふかし壁用胴縁 25×30を柱・間柱に設置

9通り軸組図 1/100



17通り軸組図 1/100

No. 24200	芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. S-07
DATE R07.05	軸組図・2 SCALE (A2)1/100 (A3)1/141.4
	館山・加藤
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館山良子
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)

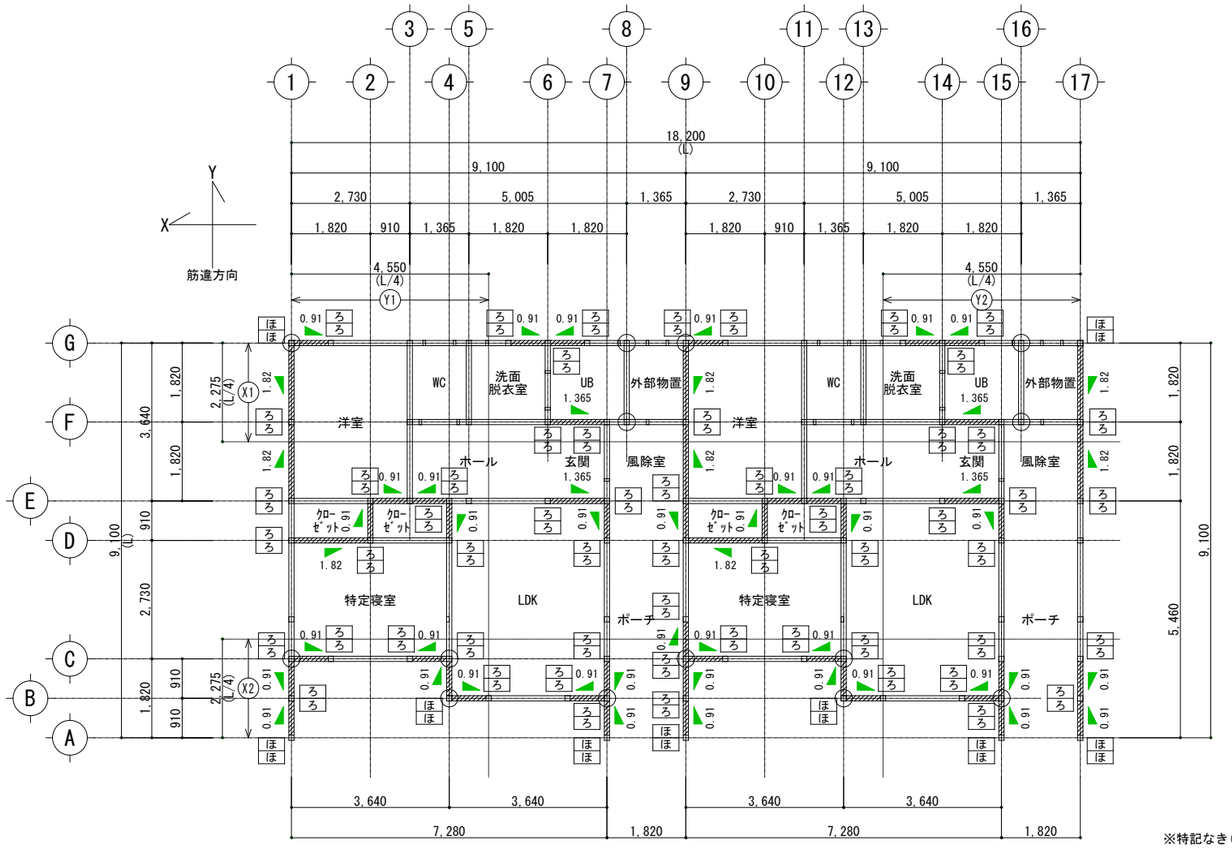
耐力壁となる軸組の柱と横架材の仕口の仕様（告示表三に対応）		
記号	必要耐力(kN)	金物等　　※同等認定金物も可
い	0.0	短ほぞ差し、かすがい打
ろ	3.4	長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物くぎCN65×5本
は	5.1	Ｔ字型かど金型くぎCN65×5本、山形プレート金物くぎCN90×8本
に	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
ほ	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリュー釘
へ	10.0	10kN用引き寄せ金物
と	15.0	15kN用引き寄せ金物
ち	20.0	20kN用引き寄せ金物
り	25.0	25kN用引き寄せ金物
ぬ	30.0	15kN用引き寄せ金物×2枚

筋かい端部の仕口の仕様　　※同等認定金物も可

※９０×４５mmの筋かいの場合
筋違の端部における仕口は、厚さ２．３mm以上の鋼板添え板を、
筋違に対し径１２mmのボルト締め及び長さ５０mm径４．５mmの
スクリュー釘７本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ
５０mm径４．５mmのスクリュー釘５本平打ちとする。

・接合金物は、柱の柱頭・柱脚の両方に取付けること
・筋かいが取付く壁面内には梁の継手を設けないこと

凡　例	
◎	柱　１２０×１２０mm
□	柱　１０５×１０５mm
	耐力壁
柱頭 柱脚	筋かい　９０×４５Ｓ　壁倍率　２．０
柱頭 柱脚	柱と横架材(耐力壁)の仕口 接合金物



耐力壁配置図　　1/100

※特記なき(耐力壁以外)柱と横架材の仕口は
住宅金融支援機構仕様書による（ ろ 等）

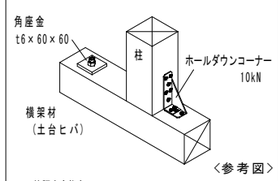
※座金は耐力に応じたものを使用（公庫仕様 参照 ）

※柱頭・柱脚の仕口は告示1460号　表1による

筋かい検討表

地震力による必要長さ	建築面積 165.62 × 0.15＝ 24.84	
風圧力による必要長さ	Ｘ方向　22.81 × 0.5 ＝ 11.40	＜ 24.84
	Ｙ方向　49.17 × 0.5 ＝ 24.59	＜ 24.84
設計壁量	Ｘ方向　0.91 × 18 × 2.0 ＝ 32.76 1.365 × 4 × 2.0 ＝ 10.92 1.82 × 2 × 2.0 ＝ 7.28	50.96 ＞ 24.84 ＯＫ（判定）
	Ｙ方向　0.91 × 20 × 2.0 ＝ 36.40 1.82 × 6 × 2.0 ＝ 21.84	58.24 ＞ 24.84 ＯＫ（判定）

ほ へ　ホールダウンコーナー１０ｋＮ用 ＋ 座金６０
（参考メーカー：タナカ）

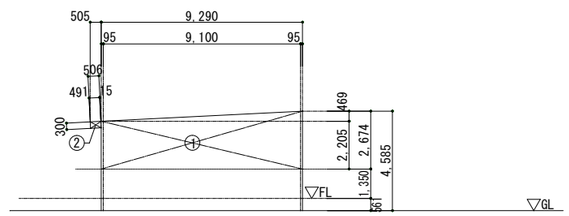


〈参考図〉

※同等認定金物も可
近接したアンカーボルトには、柱脚または柱頭接合部の
短期許容引張耐力に 応じた座金を使用すること

端部（1/4）の床面積

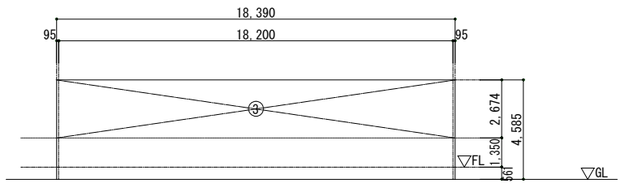
Ｘ１	18.200 × 2.275	＝ 41.4050
Ｘ２	18.200 × 2.275	＝ 41.4050
Ｙ１	4.550 × 9.100	＝ 41.4050
Ｙ２	4.550 × 9.100	＝ 41.4050



X方向見付面積　　1/200

Ｘ方向 見付面積

	計算式(m)	見付面積(㎡)
①	（2.674 ＋ 2.205） × 9.290 ／ 2 ＝	22.6629
②	（0.506 ＋ 0.491） × 0.300 ／ 2 ＝	0.1495
	計	22.8124 → 22.81



Y方向見付面積　　1/200

Ｙ方向 見付面積

	計算式(m)	見付面積(㎡)
③	18.390 × 2.674 ＝	49.1749
	計	49.1749 → 49.17

壁量充足率検討表

	床面積 (a)	床面積に乗ずる数値 (b)	必要壁量 (c)	長さ	倍率	存在壁量 (d)	存在壁量 (d)	必要壁量 (c)	壁量充足率 (e)	割合≧0．5 (e)小／(e)大	判定	(e)＞1	判定
Ｘ１	41.41	× 0.15 ＝	6.21	0.91 × 6	× 2.0 ＝	10.92	16.38	16.38 ／ 6.21 ＝	2.63	0.66	ＯＫ	2.63	ＯＫ
				1.365 × 2	× 2.0 ＝	5.46							
Ｘ２	41.41	× 0.15 ＝	6.21	0.91 × 8.	× 2.0 ＝	14.56		10.92 ／ 6.21 ＝	1.75			1.75	ＯＫ
Ｙ１	41.41	× 0.15 ＝	6.21	0.91 × 5	× 2.0 ＝	9.10	16.38	16.38 ／ 6.21 ＝	2.63	1.00	ＯＫ	2.63	ＯＫ
				1.82 × 2	× 2.0 ＝	7.28							
Ｙ２	41.41	× 0.15 ＝	6.21	0.91 × 5	× 2.0 ＝	9.10	16.38	16.38 ／ 6.21 ＝	2.63			2.63	ＯＫ
				1.82 × 2	× 2.0 ＝	7.28							

No.	24200
DATE	R07.05

芦野団地市営住宅(No.6号棟)建替建設(建築)工事　設 計 図　DR. NO. S-08

壁量計算書　SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4

館山・加藤

株式会社　青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　館 山 良 子